

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	社会科学(政治 I A)	担当者	阿波根 剛史	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	これまで複数の大学で「政治学」、「地方自治論」、「福祉社会論」の講義を行い、通信教育インストラクターとして学生のレポート指導・添削を行ってきました。さらに、民間シンクタンクである「財団法人地方自治総合研究所」にて準メンバーとして政治関連の新聞記事の収集分析などの実務に携わってきました。これらの経験を踏まえ、公務員試験の教養、専門、論文、面接すべての試験への実践的指導に寄与できるものと考えています。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の卒業基準2、③に関連								
授業の 到達目標	初級公務員試験合格に必要な政治科目の基礎知識を養います。								
授業概要	政治分野を学んでいきます。高校時代、商業科・工業科など学科の特性上、きちんと学んでいない者もいることから、この授業では、教科書を丁寧に読み込んでいく作業を中心にを行います。併せて、単元終了ごとに問題演習を織り込んでいきます。								
授業 計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )	1回 民主政治の基本原則、思想、政治制度① 2回 民主政治の基本原則、思想、政治制度②、まとめテスト 3回 日本国憲法の基本原則、自由権・平等権 4回 参政権・請求権・社会権、新しい人権・国民の義務、まとめテスト 5回 三権分立、内閣・国会・裁判所① 6回 三権分立、内閣・国会・裁判所②、地方自治・財政、まとめテスト 7回 その他の政治的課題、まとめテスト 8回 国際政治の諸問題、まとめテスト								
テキスト	オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ①政治・経済・社会 2021年度								
参考資料	授業内で随時配布します。								
授業の評価 方法・基準	基本は出席率となりますが、授業態度も加味します。								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ	社会科学(政治 I B)								
受講生への メッセージ	1年次前期担当の政治分野ですので、教科書中心の授業を展開していきます。高校の「政治経済」とかぶる部分も多くありますが、手を抜かずの一つ一つ理解していきましょう。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	社会科学(政治ⅠB)	担当者	阿波根 剛史	授業時数	15	配当年次 学期	1年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	これまで複数の大学で「政治学」、「地方自治論」、「福祉社会論」の講義を行い、通信教育インストラクターとして学生のレポート指導・添削を行ってきました。さらに、民間シンクタンクである「財団法人地方自治総合研究所」にて準メンバーとして政治関連の新聞記事の収集分析などの実務に携わってきました。これらの経験を踏まえ、公務員試験の教養、専門、論文、面接すべての試験への実践的指導に寄与できるものと考えています。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	社会科学(政治ⅠA)に引き続き、初級公務員試験合格に必要な政治科目の応用理解を目指します。								
授業概要	社会科学(政治ⅠA)の授業からかなり時間が経過しているので、政治分野の総復習を行います。基本的には担当者が用意した穴埋めプリントを用いて、演習、解答解説、さらに練習問題を実施します。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 民主政治の基本原則、思想、主要国の政治制度の演習 2回 日本国憲法の基本原則と基本的人権の演習 3回 統治機構(立法・行政)の演習 4回 統治機構(司法)、地方自治の演習 5回 政治の諸問題、選挙制度の演習 6回 国際政治の演習 7回 時事問題関連の演習 8回 総合的復習の時間								
テキスト	オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ①政治・経済・社会 2021年度								
参考資料	授業内で随時配布します。								
授業の評価方法・基準	出席率を重視します。これに授業態度を加味します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	社会科学(政治Ⅱ)								
受講生へのメッセージ	2回目の「政治」分野の授業となりますので、1回目の授業でわからなかったこと、覚えきれなかったことは、この授業で知識を確実なものにしてください。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	社会科学(政治Ⅱ)	担当者	阿波根 剛史	授業時数	30	配当年次 学期	2年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	これまで複数の大学で「政治学」、「地方自治論」、「福祉社会論」の講義を行い、通信教育インストラクターとして学生のレポート指導・添削を行ってきました。さらに、民間シンクタンクである「財団法人地方自治総合研究所」にて準メンバーとして政治関連の新聞記事の収集分析などの実務に携わってきました。これらの経験を踏まえ、公務員試験の教養、専門、論文、面接すべての試験への実践的指導に寄与できるものと考えています。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業の 到達目標	社会科学(政治ⅠB)に引き続き、初級公務員試験合格に必要な政治科目の総仕上げを行うとともに、さらに高度な内容まで理解して上級試験への橋渡しを行います。								
授業概要	1年次から引き続き政治分野は3回目の授業となるので、公務員試験本番に備えて、政治分野の全内容の最終確認と総合演習、過去問演習を行います。また、上級試験への橋渡しを考慮して、上級試験の教養向けテキストを使用します。								
授業計画 及び 時間 外学習 (時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回 法学概論、日本国憲法、基本的人権</li> <li>2回 法の下での平等、精神的自由権、経済的自由権</li> <li>3回 人身の自由、社会権、参政権、受益権</li> <li>4回 国会、内閣、裁判所</li> <li>5回 財政、地方自治、政党と圧力団体</li> <li>6回 選挙制度、行政組織、民主政治の基本原則</li> <li>7回 主要国の政治制度、国際社会と国際法</li> <li>8回 平和維持と国際連合、国際政治、国際社会と日本</li> </ul>								
テキスト	大卒程度公務員試験準拠テキスト 教養科目 社会科学 2021年度版 東京アカデミー								
参考資料	授業内で随時配布します。								
授業の評価 方法・基準	出席率を重視します。これに授業態度を加味します。								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ	ニュース検定								
受講生への メッセージ	公務員試験本番前最後の政治科目の授業となります。これで知識を完璧なものにしましょう。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	社会科学(経済 I A)	担当者	阿波根 剛史	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	これまで複数の大学で「政治学」、「地方自治論」、「福祉社会論」の講義を行い、通信教育インストラクターとして学生のレポート指導・添削を行ってきました。さらに、民間シンクタンクである「財団法人地方自治総合研究所」にて準メンバーとして政治関連の新聞記事の収集分析などの実務に携わってきました。これらの経験を踏まえ、公務員試験の教養、専門、論文、面接すべての試験への実践的指導に寄与できるものと考えています。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	初級公務員試験合格に必要な経済科目の基礎知識を養います。								
授業概要	経済分野を学んでいきます。高校時代、商業科・工業科など学科の特性上、きちんと学んでいない者もいることから、この授業では、教科書を丁寧に読み込んでいく作業を中心にを行います。併せて、単元終了ごとに問題演習を織り込んでいきます。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 市場経済のしくみ① 2回 市場経済のしくみ②、まとめテスト 3回 国民経済の流れ① 4回 国民経済の流れ②、まとめテスト 5回 日本経済の発展、まとめテスト 6回 国際経済の動向① 7回 国際経済の動向②、まとめテスト 8回 総合的復習の時間								
テキスト	オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ①政治・経済・社会 2021年度								
参考資料	授業内で随時配布します。								
授業の評価方法・基準	基本は出席率となりますが、授業態度も加味します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	社会科学(経済 I B)								
受講生へのメッセージ	1年次前期担当の経済分野ですので、教科書中心の授業を展開していきます。高校の「政治経済」とかぶる部分も多くありますが、手を抜かずに一つ一つ理解していきましょう。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	社会科学(経済ⅠB)	担当者	阿波根 剛史	授業時数	15	配当年次 学期	1年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	これまで複数の大学で「政治学」、「地方自治論」、「福祉社会論」の講義を行い、通信教育インストラクターとして学生のレポート指導・添削を行ってきました。さらに、民間シンクタンクである「財団法人地方自治総合研究所」にて準メンバーとして政治関連の新聞記事の収集分析などの実務に携わってきました。これらの経験を踏まえ、公務員試験の教養、専門、論文、面接すべての試験への実践的指導に寄与できるものと考えています。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	社会科学(経済ⅠA)に引き続き、初級公務員試験合格に必要な経済科目の応用理解を目指します。								
授業概要	社会科学(経済ⅠA)の授業からある程度、時間が経過しているため、経済分野の総復習を行います。基本的には担当者が用意した穴埋めプリントを用いて、演習、解答解説、さらに練習問題を実施します。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 市場経済のしくみの演習① 2回 市場経済のしくみの演習② 3回 国民経済の流れの演習① 4回 国民経済の流れの演習② 5回 日本経済の発展の演習 6回 国際経済の動向の演習① 7回 国際経済の動向の演習② 8回 総合的復習の時間								
テキスト	オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ①政治・経済・社会 2021年度								
参考資料	授業内で随時配布します。								
授業の評価方法・基準	出席率を重視します。これに授業態度を加味します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	社会科学(経済Ⅱ)								
受講生へのメッセージ	2回目の「経済」分野の授業となりますので、1回目の授業でわからなかったこと、覚えきれなかったことは、この授業で知識を確実なものにしてください。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	社会科学(現社・倫理 I A)	担当者	阿波根 剛史	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の卒業基準2、③に関連								
授業の 到達目標	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業概要	現社・倫理分野を学んでいきます。高校時代、商業科・工業科など学科の特性上、きちんと学んでいない者もいることから、この授業では、教科書を丁寧に読み込んでいく作業を中心に行います。併せて、単元終了ごとに問題演習を織り込んでいきます。								
授業計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )	1回	労働問題①		17回	現代社会の特質、青年期のパーソナリティ①				
	2回	労働問題②		18回	現代社会の特質、青年期のパーソナリティ、まとめテスト				
	3回	労働問題、まとめテスト		19回	倫理(西洋思想)①				
	4回	消費者問題		20回	倫理(西洋思想)②				
	5回	消費者問題、まとめテスト		21回	倫理(西洋思想)、まとめテスト				
	6回	社会保障制度①		22回	倫理(東洋思想)①				
	7回	社会保障制度②		23回	倫理(東洋思想)②				
	8回	社会保障制度、まとめテスト		24回	倫理(東洋思想)、まとめテスト				
	9回	人口問題①		25回	時事問題関連①				
	10回	人口問題②		26回	時事問題関連②				
	11回	医療問題		27回	総合演習				
	12回	人口問題、医療問題、まとめテスト		28回	総合演習				
	13回	地球環境問題①							
	14回	地球環境問題②							
	15回	地球環境問題③							
	16回	地球環境問題、まとめテスト							
テキスト	オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ①政治・経済・社会 2021年度								
参考資料	授業内で随時配布します。								
授業の評価 方法・基準	基本は出席率となりますが、授業態度も加味します。								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ	社会科学(現社・倫理 I B)								
受講生への メッセージ	1年次前期配当の現社・倫理分野ですので、教科書中心の授業を展開していきます。高校の「現代社会」とかぶる部分も多くありますが、手を抜かずの一つ一つ理解していきましょう。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	社会科学(現社・倫理ⅠB)	担当者	阿波根 剛史	授業時数	30	配当年次 学期	1年・後期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の卒業基準2、③に関連								
授業の到達目標	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業概要	社会科学(現社・倫理ⅠA)の授業からある程度、時間が経過しているため、現社・倫理分野の総復習を行います。基本的には担当者が用意した穴埋めプリントを用いて、演習、解答解説、さらに練習問題を実施します。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	労働問題の演習①		16回	青年期のパーソナリティの演習②				
	2回	労働問題の演習②		17回	倫理(西洋思想)の演習①				
	3回	消費者問題の演習①		18回	倫理(西洋思想)の演習②				
	4回	消費者問題の演習②		19回	倫理(東洋思想)の演習①				
	5回	社会保障制度の演習①		20回	倫理(東洋思想)の演習②				
	6回	社会保障制度の演習②		21回	総合演習				
	7回	人口問題の演習①		22回	総合演習				
	8回	人口問題の演習②							
	9回	医療問題の演習①							
	10回	医療問題の演習②							
	11回	地球環境問題の演習①							
	12回	地球環境問題の演習②							
	13回	現代社会の特質の演習①							
	14回	現代社会の特質の演習②							
	15回	青年期のパーソナリティの演習①							
テキスト	オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級 ①政治・経済・社会 2020年度								
参考資料	授業内で随時配布します。								
授業の評価方法・基準	基本は出席率となりますが、授業態度も加味します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	社会科学(現社・倫理Ⅱ)								
受講生へのメッセージ	2回目の「現社・倫理」分野の授業となりますので、1回目の授業でわからなかったこと、覚えきれなかったことは、この授業で知識を確実にものにしてください。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	社会科学(現社・倫理Ⅱ)	担当者	阿波根 剛史	授業時数	15	配当年次 学期	2年・前期
卒業要件との 関連性		公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連							
授業の 到達目標		社会科学(現社・倫理ⅠB)に引き続き、初級公務員試験合格に必要な現社・倫理科目の総仕上げを行います。							
授業概要		公務員試験本番に備えて、現代社会・倫理分野の全内容の最終確認を行います。また、上級試験への橋渡しを考慮して、 上級試験の教養向けテキストを使用します。							
授業計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )		1回 人口問題・少子高齢化問題 2回 社会保障 3回 労働問題 4回 医療問題 5回 消費者問題 6回 食糧問題 7回 犯罪事情 8回 教育 9回 科学技術 10回 エネルギー・資源問題 11回 環境問題 12回 国民生活全般 13回 社会学 14回 総復習① 15回 総復習②							
テキスト		大卒程度公務員試験準拠テキスト 教養科目 社会科学 2021年度							
参考資料		授業内で随時配布します。							
授業の評価 方法・基準		基本は出席率となりますが、授業態度も加味します。							
資格試験									
関連科目・ 次のステージ		ニュース検定							
受講生への メッセージ		公務員試験本番前最後の現代社会・倫理科目の授業となります。これで知識を完璧なものにしましょう。							

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	事務適性演習基礎	担当者	阿波根 剛史	授業時数	45	配当年次 学期	1年・前期		
卒業要件との関連性		公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)(3)に関連									
授業の到達目標		制限時間15分で120問全問正解を目指す。									
授業概要		公務員採用試験(事務系職種)で実施される適性試験の過去問題演習を毎日行い、正確かつ迅速な作業能力を育成する。									
授業計画及び時間外学習(時間)		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①1997年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>②1998年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>③1999年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>④2000年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑤2001年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑥2002年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑦2003年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑧2004年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑨2005年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑩2006年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑪2007年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑫2008年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑬2009年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑭2010年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑮2011年 国家Ⅲ種適性問題</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑯2012年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑰2013年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑱2014年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑲2015年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑳2016年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> </ul> <p>21～64 ①からの繰り返し</p> </td> </tr> </table>								<ul style="list-style-type: none"> <li>①1997年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>②1998年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>③1999年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>④2000年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑤2001年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑥2002年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑦2003年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑧2004年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑨2005年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑩2006年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑪2007年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑫2008年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑬2009年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑭2010年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑮2011年 国家Ⅲ種適性問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑯2012年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑰2013年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑱2014年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑲2015年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑳2016年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> </ul> <p>21～64 ①からの繰り返し</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①1997年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>②1998年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>③1999年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>④2000年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑤2001年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑥2002年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑦2003年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑧2004年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑨2005年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑩2006年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑪2007年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑫2008年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑬2009年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑭2010年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑮2011年 国家Ⅲ種適性問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑯2012年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑰2013年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑱2014年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑲2015年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑳2016年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> </ul> <p>21～64 ①からの繰り返し</p>										
テキスト		1997年から2016年までの国家一般職(旧国家Ⅲ種)適性試験過去問題									
参考資料											
授業の評価方法・基準		出席率・授業態度50%、各回の点数50%									
資格試験											
関連科目・次のステージ		事務適性演習実践									
受講生へのメッセージ		勉強というより訓練ですので、欠かさず継続することが大切です。15分間集中力を切らさず、頑張ってください。									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	事務適性演習実践	担当者	阿波根 剛史	授業時数	45	配当年次 学期	2年・前期		
卒業要件との関連性		公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)(3)に関連									
授業の到達目標		制限時間15分で120問全問正解を目指す。									
授業概要		公務員採用試験(事務系職種)で実施される適性試験の過去問題演習を毎日行い、正確かつ迅速な作業能力を育成する。									
授業計画及び時間外学習(時間)		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①1997年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>②1998年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>③1999年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>④2000年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑤2001年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑥2002年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑦2003年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑧2004年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑨2005年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑩2006年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑪2007年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑫2008年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑬2009年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑭2010年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑮2011年 国家Ⅲ種適性問題</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑯2012年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑰2013年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑱2014年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑲2015年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑳2016年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> </ul> <p>21～64 ①からの繰り返し</p> </td> </tr> </table>								<ul style="list-style-type: none"> <li>①1997年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>②1998年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>③1999年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>④2000年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑤2001年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑥2002年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑦2003年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑧2004年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑨2005年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑩2006年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑪2007年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑫2008年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑬2009年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑭2010年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑮2011年 国家Ⅲ種適性問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑯2012年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑰2013年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑱2014年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑲2015年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑳2016年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> </ul> <p>21～64 ①からの繰り返し</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①1997年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>②1998年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>③1999年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>④2000年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑤2001年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑥2002年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑦2003年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑧2004年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑨2005年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑩2006年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑪2007年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑫2008年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑬2009年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑭2010年 国家Ⅲ種適性問題</li> <li>⑮2011年 国家Ⅲ種適性問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑯2012年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑰2013年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑱2014年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑲2015年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> <li>⑳2016年 国家一般職(高卒程度)適性問題</li> </ul> <p>21～64 ①からの繰り返し</p>										
テキスト		1997年から2016年までの国家一般職(旧国家Ⅲ種)適性試験過去問題									
参考資料											
授業の評価方法・基準		出席率・授業態度50%、各回の点数50%									
資格試験											
関連科目・次のステージ		事務適性演習基礎									
受講生へのメッセージ		勉強というより訓練ですので、欠かさず継続することが大切です。15分間集中力を切らさず、頑張ってください。									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	公務研究 I	担当者	阿波根 剛史	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	これまで複数の大学で「政治学」、「地方自治論」、「福祉社会論」の講義を行い、通信教育インストラクターとして学生のレポート指導・添削を行ってきました。さらに、民間シンクタンクである「財団法人地方自治総合研究所」にて準メンバーとして政治関連の新聞記事の収集分析などの実務に携わってきました。これらの経験を踏まえ、公務員試験の教養、専門、論文、面接すべての試験への実践的指導に寄与できるものと考えています。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業の到達 目標	国家公務員・地方公務員など各職種について研究し、自分の目指す公務員とは何かを調べ、公職に対する心構えを学ぶ。								
授業概要	まず、目指す職種を調べることから始まる。ホームページや各機関が発行している白書や資料から情報収集し、職種における取組をまとめる。また、目指す職種以外にどのような公職があるかを調べ、行政機関や司法機関、立法機関における業務をまとめる。そこから、各行政機関から職員(本校卒業生など)による出前講義を聴き、公務員について研究を深めていく。								
授業計画及 び時間外学 習(時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回－国家公務員(行政職)について調べる</li> <li>2回－国家公務員(公安職)について調べる</li> <li>3回－裁判所(裁判所事務官・書記官)について調べる</li> <li>4回－国会(衆議院事務局職員・参議院事務局職員)について調べる</li> <li>5回－独立行政法人の職員について調べる</li> <li>6回－地方公務員(都道府県行政職)について調べる</li> <li>7回－地方公務員(警察官・警察事務)について調べる</li> <li>8回－地方公務員(市町村行政職)について調べる</li> <li>9回－地方公務員(消防職・専門職)について調べる</li> <li>10回－国家公務員による職業講義①(税務署)</li> <li>11回－国家公務員による職業講義②(年金機構)</li> <li>12回－国家公務員による職業講義③(海上保安学校・大学)</li> <li>13回－地方公務員による職業講義①(行政機関)</li> <li>14回－地方公務員による職業講義②(警察官)</li> <li>15回－地方公務員による職業講義③(消防職)</li> <li>16回－公務研究まとめ(研究発表)</li> </ul>								
テキスト	オリジナル公務員職種概要説明テキスト								
参考資料	各行政機関刊行書籍及び政策・予算に関する資料等								
授業の評価 方法・基準	研究プランの提出と研究発表により評価								
資格試験	なし								
関連科目・ 次のステ ージ	公的機関を研究することで、憲法及び行政法、行政法各論、行政学について理解が深まる。								
受講生への メッセージ	私たちの生活を基盤から支え、より良い行政サービスを提供してくれる様々な行政機関の役割を調べ、自分が目指す公務員仕事を研究してみましょう！現職から聞く話は、職種の魅力や公務員としての心構え、理想とする公務員像が見えてきます！								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	選択	科目名	公務員試験対策 (政治学分野) Ⅲ	担当者	阿波根 剛史	授業時数	30	配当年次 学期	3年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	これまで複数の大学で「政治学」、「地方自治論」、「福祉社会論」の講義を行い、通信教育インストラクターとして学生のレポート指導・添削を行ってきました。さらに、民間シンクタンクである「財団法人地方自治総合研究所」にて準メンバーとして政治関連の新聞記事の収集分析などの実務に携わってきました。これらの経験を踏まえ、公務員試験の教養、専門、論文、面接すべての試験への実践的指導に寄与できるものと考えています。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	大卒程度の公務員試験科目である政治学の基礎知識を養い、理解を深めることをめざします。								
授業概要	政治学について基礎から学んでいきます。1、2年での政治、現代社会等と重なる部分もありますが、さらに内容が高度になっていますので、サブテキストを用いながら授業を行っていきます。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 政治学 政治学の基礎事項 2回 行政の組織② 3回 政治の制度② 4回 政治の動態 5回 政治の意識と行動① 6回 政治の意識と行動② 7回 政治の思想 8回 政治の理論① 9回 政治に理論② 10回 政治の歴史① 11回 政治の歴史② 12回 演習① 13回 演習②								
テキスト	大卒程度 公務員試験準拠テキスト 政治学 2021年度、東京アカデミー								
参考資料	サブテキストを配布します。								
授業の評価方法・基準	出席率に加え、授業態度を考慮します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	行政学								
受講生へのメッセージ	政治学の基礎から学んでいきますが、1、2年での政治、現代社会等の科目をきっちり理解していることが必要となります。また、日ごろから時事問題にもアンテナを張っておく必要があります。政治経済関連のニュースに目を通しましょう。いま、特に若い世代が読まなくなっている新聞を継続して読むことをおすすめします(これホント！)。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	選択	科目名	公務員試験対策 (政治学分野) IV	担当者	阿波根 剛史	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	これまで複数の大学で「政治学」、「地方自治論」、「福祉社会論」の講義を行い、通信教育インストラクターとして学生のレポート指導・添削を行ってきました。さらに、民間シンクタンクである「財団法人地方自治総合研究所」にて準メンバーとして政治関連の新聞記事の収集分析などの実務に携わってきました。これらの経験を踏まえ、公務員試験の教養、専門、論文、面接すべての試験への実践的指導に寄与できるものと考えています。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	大卒程度の公務員試験科目である行政学の基礎知識を養い、理解を深めることをめざします。								
授業概要	行政学について基礎から学んでいきます。1、2年での政治、現代社会等と重なる部分もありますが、さらに内容が高度になっていますので、サブテキストを用いながら授業を行っていきます。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 行政学 行政の組織① 2回 行政の組織② 3回 行政の管理① 4回 行政の管理② 5回 行政の活動と統制① 6回 行政の活動と統制② 7回 地方の行政 8回 行政学の理論① 9回 行政学の理論② 10回 演習① 11回 演習②								
テキスト	大卒程度 公務員試験準拠テキスト 行政学 2021年度、東京アカデミー								
参考資料	サブテキストを配布します。								
授業の評価方法・基準	出席率に加え、授業態度を考慮します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	行政学の基礎から学んでいきますが、1、2年での政治、現代社会等の科目をきっちり理解していることが必要となります。また、日ごろから時事問題にもアンテナを張っておく必要があります。政治経済関連のニュースに目を通しましょう。いま、特に若い世代が読まなくなっている新聞を継続して読むことをおすすめします(これホント！)。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	選択必修	科目名	ビジネス英語 I	担当者	比嘉 二衣菜	授業時数	30	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	日本国内外での通訳の経験を活かして、実用的な英語の学習を促進したいと思います。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(2)、(3)に関連								
授業の到達目標	グローバル化が進む社会やIT時代に必要なビジネス英語の表現を習得し、企業で日常的に使用するビジネス文書の作成および海外取引に関する実務能力を育成する。日商ビジネス英語検定試験3級合格を目標にする。								
授業概要	日本語と英語を併用して授業を進めていきます。英文構造に関する解説をした後にビジネス英語表現をしていきます。グループワークやペアワークを取り入れ、お互いに学びあいながらビジネス英語表現を使えるようにします。また、グループワークやペアワークを通して、自分から発信する力を育てます。教科書の内容に関して解説を行った後、学生自身が英文レターや英文ビジネスEメールの作成を行います。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1	授業内容についてのオリエンテーション	17	海外取引の基礎(2)(p124)					
	2	品詞	18	海外取引の基礎まとめ、小テスト					
	3	英文を構成する要素	19	英文レターライティングの基礎(p16)					
	4	第1文型(主語+動詞)、第2文型(主語+動詞+補)	20	海外取引のレターサンプル(1)(p139)					
	5	第3文型(主語+動詞+目的語)、第4文型(主語+動詞+目的語)	21	海外取引のレターサンプル(2)(p146)					
	6	第5文型(主語+動詞+目的語+補語)	22	海外取引のレターサンプル(3)(p154)					
	7	文構造まとめ、小テスト	23	海外取引のレターサンプル(4)(p158)					
	8	英文ビジネスEメールサンプル(1)(p68)	24	海外取引のレターサンプル(5)(p160)					
	9	英文ビジネスEメールサンプル(2)(p70)	25	海外取引のレターサンプルテスト					
	10	英文ビジネスEメールサンプル(3)(p76)	26	検定試験の出題のポイント解説					
	11	英文ビジネスEメールテスト	27	模擬問題演習(1)					
	12	ビジネス英会話2-2(p85),2-3(P88)	28	模擬問題演習(2)					
	13	ビジネス英会話2-4(p92),2-5(p96)	29	模擬問題演習(3)					
	14	ビジネス英会話2-6(p99),2-7(p102)	30	まとめ、レポート作成					
	15	ビジネス英会話2-8(p105)							
	16	海外取引の基礎(1)(p110)							
テキスト	日本商工会議所『改訂版 日商 ビジネス英語検定 3級公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター 2012年初版、日本商工会議所『改訂版 日商ビジネス英語検定2・3級公式模擬問題集』日本能率協会マネジメントセンター 2014年初版、自作テキスト								
参考資料	デイビッド・セイン『これなら続けられる！丸覚えでOK!ビジネス英語超入門コース聞き流し学習テキスト』TAC株式会社 2019年第1版								
授業の評価 方法・基準	出席率、小テスト、課題の内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度								
資格試験	日商ビジネス英語検定試験3級								
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	国際化が進む社会の中で、職場で英語を使う機会が多くなってきています。同時に、ビジネス英語を使いこなせる人材を求める企業は増えてきています。この授業を通して、ビジネス英語を読み書きするスキルを身につけ、国際社会に貢献できる人材を目指しましょう！								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	選択必修	科目名	ビジネス英語Ⅱ	担当者	比嘉 二衣菜	授業時数	30	配当年次 学期	2年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	日本国内外での通訳の経験を活かして、実用的な英語の学習を促進したいと思います。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(2)、(3)に関連								
授業の 到達目標	グローバル化が進む社会やIT時代に必要なビジネス英語の表現を習得し、企業で日常的に使用するビジネス文書の作成および海外取引に関する実務能力を育成する。日商ビジネス英語検定試験3級合格を目標にする。								
授業概要	日本語と英語を併用して授業を進めていきます。英文構造に関する解説をした後にビジネス英語表現をしていきます。グループワークやペアワークを取り入れ、お互いに学びあいながらビジネス英語表現を使えるようにします。また、グループワークやペアワークを通して、自分から発信する力を育てます。教科書の内容に関して解説を行った後、学生自身が英文レターや英文ビジネスEメールの作成を行います。								
授業計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )	1	授業内容についてのオリエンテーション	17	海外取引の基礎(2)(p124)					
	2	品詞	18	海外取引の基礎まとめ、小テスト					
	3	英文を構成する要素	19	英文レターライティングの基礎(p16)					
	4	第1文型(主語+動詞)、第2文型(主語+動詞+補	20	海外取引のレターサンプル(1)(p139)					
	5	第3文型(主語+動詞+目的語)、第4文型(主語+動	21	海外取引のレターサンプル(2)(p146)					
	6	第5文型(主語+動詞+目的語+補語)	22	海外取引のレターサンプル(3)(p154)					
	7	文構造まとめ、小テスト	23	海外取引のレターサンプル(4)(p158)					
	8	英文ビジネスEメールサンプル(1)(p68)	24	海外取引のレターサンプル(5)(p160)					
	9	英文ビジネスEメールサンプル(2)(p70)	25	海外取引のレターサンプルテスト					
	10	英文ビジネスEメールサンプル(3)(p76)	26	検定試験の出題のポイント解説					
	11	英文ビジネスEメールテスト	27	模擬問題演習(1)					
	12	ビジネス英会話2-2(p85),2-3(P88)	28	模擬問題演習(2)					
	13	ビジネス英会話2-4(p92),2-5(p96)	29	模擬問題演習(3)					
	14	ビジネス英会話2-6(p99),2-7(p102)	30	まとめ、レポート作成					
	15	ビジネス英会話2-8(p105)							
	16	海外取引の基礎(1)(p110)							
テキスト	日本商工会議所『改訂版 日商 ビジネス英語検定 3級公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター 2012年初版、日本商工会議所『改訂版 日商ビジネス英語検定2・3級公式模擬問題集』日本能率協会マネジメントセンター 2014年初版、自作テキスト								
参考資料	デイビッド・セイン 『これなら続けられる！丸覚えでOK!ビジネス英語超入門コース聞き流し学習テキスト』TAC株式会社 2019年第1版								
授業の評 価 方法・基準	出席率、小テスト、課題の内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度								
資格試験	日商ビジネス英語検定試験3級								
関連科目・ 次のステージ									
受講生への メッセージ	国際化が進む社会の中で、職場で英語を使う機会が多くなってきています。同時に、ビジネス英語を使いこなせる人材を求める企業は増えてきています。この授業を通して、ビジネス英語を読み書きするスキルを身につけ、国際社会に貢献できる人材を目指しましょう！								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	文章理解(英文)IA	担当者	比嘉 二衣菜	授業時数	30	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	翻訳の仕事を通して、英語のニュアンスをくみ取り日本語にする国語力を強化してきました。この経験を活かして、学生の皆さんが、英語力と日本語力の両方を強化できるようサポートします。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	高校1～2年生程度の英語力を身につけ公務員試験初級レベルの英語に対応できるようにする。具体的には、公務員試験に必要な基本的な文法を理解し、単語・熟語・構文を覚える。また、単語・熟語・構文・文法の知識を利用して大まかな和訳ができるようにする。								
授業概要	公務員初級試験レベルの英文を読むのに必要な文法・構文を解説した後、小テストを繰り返し知識の定着を図る。その後、公務員初級試験レベルの英文を読み、重要な英文法・構文・単語・熟語などを確認・復習し、英語の基礎力を養成する。また、長文読解 内容把握がすばやく効率的に解けるようフレーズ訳の練習をしていく。毎回の授業の中で復習時間を設けて、覚えた熟語や構文をノートにまとめ、それらの知識を強化していく。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1	授業内容についてのオリエンテーション	16	that・if節					
	2	品詞	17	形式主語・形式目的語					
	3	be動詞・一般動詞	18	間接疑問					
	4	文構造(1)	19	イディオム(1)					
	5	文構造(2)	20	イディオム(2)					
	6	時制(1)	21	国語・文章理解テキスト 文章理解 内容把握(1)					
	7	時制(2)	22	国語・文章理解テキスト 文章理解 内容把握(2)					
	8	接続詞	23	国語・文章理解テキスト 文章理解 空欄補充(1)					
	9	助動詞	24	国語・文章理解テキスト 文章理解 空欄補充(2)					
	10	不定詞・動名詞	25	実践問題演習 文章理解 内容把握(1)					
	11	受動態	26	実践問題演習 文章理解 内容把握(2)					
	12	分詞	27	実践問題演習 文章理解 内容把握(3)					
	13	使役動詞・知覚動詞	28	実践問題演習 文章理解 空欄補充(1)					
	14	比較	29	実践問題演習 文章理解 空欄補充(2)					
	15	関係詞	30	実践問題演習 文章理解 空欄補充(3)					
テキスト	公務員試験 地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 国語・文章理解 第2版、自作テキスト、必要があればプリントを渡す。								
参考資料	公務員試験 地方初級・国家一般職(高卒者)問題集 国語・文章理解 第2版								
授業の評価方法・基準	出席率、単元テスト、課題の内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度								
資格試験	特になし								
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	英文の構造をしっかりと理解し、単語・熟語を覚えていくと、公務員試験の英語の問題に対応できる英語力が身につきます。英語の学習を楽しみ続けられるよう授業を工夫しますので、一緒にがんばりましょう！								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	文章理解(英文)IB	担当者	比嘉 二衣菜	授業時数	90	配当年次 学期	1年・後期																														
実務教員	○	実務教員の紹介	翻訳の仕事を通して、英語のニュアンスをくみ取り日本語にする国語力を強化してきました。この経験を活かして、学生の皆さんが、英語力と日本語力の両方を強化できるようサポートします。																																				
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連																																						
授業の到達目標	英語を読む力を強化し、Reading問題を解くとき速読ができるようになり、英文で書かれていることをすばやく理解できるようにする。聞く力を強化し、話し手が伝えたいことを理解できるようにする。TOEIC500点突破を目標にする。																																						
授業概要	TOEIC問題形式を解説後、TOEIC実践問題演習・解説と進めていきます。表現力強化のためにe-learningやpowerpoint、YouTubeの映画のワンシーン・スピーチなど視覚教材を取り入れます。また、グループワークやペアワークを取り入れ学習効果を高めたいと思いますので、授業への積極的な参加を重視します。																																						
授業計画及び時間外学習(時間)	<table border="0"> <tr> <td>1 授業内容についてのオリエンテーション</td> <td>16 短文穴埋め問題(2)</td> </tr> <tr> <td>2 写真描写問題(1)</td> <td>17 短文穴埋め問題(3)</td> </tr> <tr> <td>3 写真描写問題(2)</td> <td>18 短文穴埋め問題(4)</td> </tr> <tr> <td>4 確認テスト(1)</td> <td>19 短文穴埋め問題(5)</td> </tr> <tr> <td>5 応答問題(1)</td> <td>20 短文穴埋め問題(6)</td> </tr> <tr> <td>6 応答問題(2)</td> <td>21 短文穴埋め問題(7)</td> </tr> <tr> <td>7 応答問題(3)</td> <td>22 確認テスト(5)</td> </tr> <tr> <td>8 確認テスト(2)</td> <td>23 長文穴埋め問題(1)</td> </tr> <tr> <td>9 会話問題(1)</td> <td>24 長文穴埋め問題(2)</td> </tr> <tr> <td>10 会話問題(2)</td> <td>25 確認テスト(6)</td> </tr> <tr> <td>11 確認テスト(3)</td> <td>26 読解問題(1)</td> </tr> <tr> <td>12 説明文問題(1)</td> <td>27 読解問題(2)</td> </tr> <tr> <td>13 説明文問題(2)</td> <td>28 確認テスト(7)</td> </tr> <tr> <td>14 確認テスト(4)</td> <td>29 実践問題(1)</td> </tr> <tr> <td>15 短文穴埋め問題(1)</td> <td>30 実践問題(2)</td> </tr> </table>									1 授業内容についてのオリエンテーション	16 短文穴埋め問題(2)	2 写真描写問題(1)	17 短文穴埋め問題(3)	3 写真描写問題(2)	18 短文穴埋め問題(4)	4 確認テスト(1)	19 短文穴埋め問題(5)	5 応答問題(1)	20 短文穴埋め問題(6)	6 応答問題(2)	21 短文穴埋め問題(7)	7 応答問題(3)	22 確認テスト(5)	8 確認テスト(2)	23 長文穴埋め問題(1)	9 会話問題(1)	24 長文穴埋め問題(2)	10 会話問題(2)	25 確認テスト(6)	11 確認テスト(3)	26 読解問題(1)	12 説明文問題(1)	27 読解問題(2)	13 説明文問題(2)	28 確認テスト(7)	14 確認テスト(4)	29 実践問題(1)	15 短文穴埋め問題(1)	30 実践問題(2)
1 授業内容についてのオリエンテーション	16 短文穴埋め問題(2)																																						
2 写真描写問題(1)	17 短文穴埋め問題(3)																																						
3 写真描写問題(2)	18 短文穴埋め問題(4)																																						
4 確認テスト(1)	19 短文穴埋め問題(5)																																						
5 応答問題(1)	20 短文穴埋め問題(6)																																						
6 応答問題(2)	21 短文穴埋め問題(7)																																						
7 応答問題(3)	22 確認テスト(5)																																						
8 確認テスト(2)	23 長文穴埋め問題(1)																																						
9 会話問題(1)	24 長文穴埋め問題(2)																																						
10 会話問題(2)	25 確認テスト(6)																																						
11 確認テスト(3)	26 読解問題(1)																																						
12 説明文問題(1)	27 読解問題(2)																																						
13 説明文問題(2)	28 確認テスト(7)																																						
14 確認テスト(4)	29 実践問題(1)																																						
15 短文穴埋め問題(1)	30 実践問題(2)																																						
テキスト	TOEIC L&R TEST対策 500点コース FOR BIZテキスト、自作テキスト																																						
参考資料	デイビッド・セイン『これなら続けられる！丸覚えでOK!ビジネス英語超入門コース聞き流し学習テキスト』TAC株式会社 2019年第1版																																						
授業の評価方法・基準	出席率、小テスト、課題の内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度																																						
資格試験																																							
関連科目・次のステージ																																							
受講生へのメッセージ	国際化が進む社会の中で、職場で英語を使う機会が多くなってきています。同時に、ビジネス英語を使いこなせる人材を求めている企業は増えてきています。この授業を通して、ビジネス英語を読んだり聞いたりするスキルを身につけ、国際社会に貢献できる人材を目指しましょう！																																						

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	文章理解(英文)ⅡA	担当者	比嘉 二衣菜	授業時数	30	配当年次 学期	2年・前期																														
実務教員	○	実務教員の紹介	翻訳の仕事を通して、英語のニュアンスをくみ取り日本語にする国語力を強化してきました。この経験を活かして、学生の皆さんが、英語力と日本語力の両方を強化できるようサポートします。																																				
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連																																						
授業の到達目標	高校卒業程度の英語力を身につけ公務員試験初級・中級レベルの英語に対応できるようにする。具体的には、公務員試験に必要な基本的な文法を理解し、単語・熟語・構文を覚える。また、単語・熟語・構文・文法の知識を利用して大まかな和訳ができるようにする。																																						
授業概要	公務員初級・中級試験レベルの英文を読むのに必要な文法・構文を解説した後、小テストを繰り返し知識の定着を図る。その後、公務員初級・中級試験レベルの英文を読み、重要な英文法・構文・単語・熟語などを確認・復習し、英語の基礎力を養成する。また、長文読解 内容把握がすばやく効率的に解けるようフレーズ訳の練習をしていく。毎回の授業の中で復習時間を設けて、覚えた熟語や構文をノートにまとめ、それらの知識を強化していく。																																						
授業計画及び時間外学習(時間)	<table border="0"> <tr> <td>1 授業内容についてのオリエンテーション</td> <td>16 that・if節</td> </tr> <tr> <td>2 品詞</td> <td>17 形式主語・形式目的語</td> </tr> <tr> <td>3 be動詞・一般動詞</td> <td>18 間接疑問</td> </tr> <tr> <td>4 文構造(1)</td> <td>19 イディオム(1)</td> </tr> <tr> <td>5 文構造(2)</td> <td>20 イディオム(2)</td> </tr> <tr> <td>6 時制(1)</td> <td>21 国語・文章理解テキスト 文章理解 内容把握(1)</td> </tr> <tr> <td>7 時制(2)</td> <td>22 国語・文章理解テキスト 文章理解 内容把握(2)</td> </tr> <tr> <td>8 接続詞</td> <td>23 国語・文章理解テキスト 文章理解 空欄補充(1)</td> </tr> <tr> <td>9 助動詞</td> <td>24 国語・文章理解テキスト 文章理解 空欄補充(2)</td> </tr> <tr> <td>10 不定詞・動名詞</td> <td>25 実践問題演習 文章理解 内容把握(1)</td> </tr> <tr> <td>11 受動態</td> <td>26 実践問題演習 文章理解 内容把握(2)</td> </tr> <tr> <td>12 分詞</td> <td>27 実践問題演習 文章理解 内容把握(3)</td> </tr> <tr> <td>13 使役動詞・知覚動詞</td> <td>28 実践問題演習 文章理解 空欄補充(1)</td> </tr> <tr> <td>14 比較</td> <td>29 実践問題演習 文章理解 空欄補充(2)</td> </tr> <tr> <td>15 関係詞</td> <td>30 実践問題演習 文章理解 空欄補充(3)</td> </tr> </table>									1 授業内容についてのオリエンテーション	16 that・if節	2 品詞	17 形式主語・形式目的語	3 be動詞・一般動詞	18 間接疑問	4 文構造(1)	19 イディオム(1)	5 文構造(2)	20 イディオム(2)	6 時制(1)	21 国語・文章理解テキスト 文章理解 内容把握(1)	7 時制(2)	22 国語・文章理解テキスト 文章理解 内容把握(2)	8 接続詞	23 国語・文章理解テキスト 文章理解 空欄補充(1)	9 助動詞	24 国語・文章理解テキスト 文章理解 空欄補充(2)	10 不定詞・動名詞	25 実践問題演習 文章理解 内容把握(1)	11 受動態	26 実践問題演習 文章理解 内容把握(2)	12 分詞	27 実践問題演習 文章理解 内容把握(3)	13 使役動詞・知覚動詞	28 実践問題演習 文章理解 空欄補充(1)	14 比較	29 実践問題演習 文章理解 空欄補充(2)	15 関係詞	30 実践問題演習 文章理解 空欄補充(3)
1 授業内容についてのオリエンテーション	16 that・if節																																						
2 品詞	17 形式主語・形式目的語																																						
3 be動詞・一般動詞	18 間接疑問																																						
4 文構造(1)	19 イディオム(1)																																						
5 文構造(2)	20 イディオム(2)																																						
6 時制(1)	21 国語・文章理解テキスト 文章理解 内容把握(1)																																						
7 時制(2)	22 国語・文章理解テキスト 文章理解 内容把握(2)																																						
8 接続詞	23 国語・文章理解テキスト 文章理解 空欄補充(1)																																						
9 助動詞	24 国語・文章理解テキスト 文章理解 空欄補充(2)																																						
10 不定詞・動名詞	25 実践問題演習 文章理解 内容把握(1)																																						
11 受動態	26 実践問題演習 文章理解 内容把握(2)																																						
12 分詞	27 実践問題演習 文章理解 内容把握(3)																																						
13 使役動詞・知覚動詞	28 実践問題演習 文章理解 空欄補充(1)																																						
14 比較	29 実践問題演習 文章理解 空欄補充(2)																																						
15 関係詞	30 実践問題演習 文章理解 空欄補充(3)																																						
テキスト	公務員試験 地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 国語・文章理解 第2版、自作テキスト、必要があればプリントを渡す。																																						
参考資料	公務員試験 地方初級・国家一般職(高卒者)問題集 国語・文章理解 第2版																																						
授業の評価方法・基準	出席率、単元テスト、課題の内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度																																						
資格試験	特になし																																						
関連科目・次のステージ																																							
受講生へのメッセージ	英文の構造をしっかりと理解し、単語・熟語を覚えていくと、公務員試験の英語の問題に対応できる英語力が身につきます。英語の学習を楽しく続けられるよう授業を工夫しますので、一緒にがんばりましょう！																																						

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	文章理解(英文)ⅡB	担当者	比嘉 二衣菜	授業時数	45	配当年次 学期	2年・後期	
実務教員	○	実務教員の紹介	翻訳の仕事を通して、英語のニュアンスをくみ取り日本語にする国語力を強化してきました。この経験を活かして、学生の皆さんが、英語力と日本語力の両方を強化できるようサポートします。							
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連									
授業の到達目標	英語を読む力を強化し、Reading問題を解くとき速読ができるようになり、英文で書かれていることをすばやく理解できるようにする。聞く力を強化し、話し手が伝えたいことを理解できるようにする。TOEIC500点突破を目標にする。									
授業概要	TOEIC問題形式を解説後、TOEIC実践問題演習・解説と進めていきます。表現力強化のためにe-learningやpowerpoint、YouTubeの映画のワンシーン・スピーチなど視覚教材を取り入れます。また、グループワークやペアワークを取り入れ学習効果を高めたいと思いますので、授業への積極的な参加を重視します。									
授業計画及び時間外学習(時間)	1 授業内容についてのオリエンテーション		16 短文穴埋め問題(2)		2 写真描写問題(1)		17 短文穴埋め問題(3)		3 写真描写問題(2)	18 短文穴埋め問題(4)
	4 確認テスト(1)		19 短文穴埋め問題(5)		5 応答問題(1)		20 短文穴埋め問題(6)		6 応答問題(2)	21 短文穴埋め問題(7)
	7 応答問題(3)		22 確認テスト(5)		8 確認テスト(2)		23 長文穴埋め問題(1)		9 会話問題(1)	24 長文穴埋め問題(2)
	10 会話問題(2)		25 確認テスト(6)		11 確認テスト(3)		26 読解問題(1)		12 説明文問題(1)	27 読解問題(2)
	13 説明文問題(2)		28 確認テスト(7)		14 確認テスト(4)		29 実践問題(1)		15 短文穴埋め問題(1)	30 実践問題(2)
テキスト	TOEIC L&R TEST対策 500点コース FOR BIZテキスト、自作テキスト									
参考資料	デイビッド・セイン『これなら続けられる！丸覚えでOK!ビジネス英語超入門コース聞き流し学習テキスト』TAC株式会社 2019年第1版									
授業の評価 方法・基準	出席率、小テスト、課題の内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度									
資格試験										
関連科目・次のステージ										
受講生へのメッセージ	国際化が進む社会の中で、職場で英語を使う機会が多くなってきています。同時に、ビジネス英語を使いこなせる人材を求め企業は増えてきています。この授業を通して、ビジネス英語を読んだり聞いたりするスキルを身につけ、国際社会に貢献できる人材を目指しましょう！									

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	選択必修	科目名	マナー・プロトコール検定	担当者	松園 あかね	授業時数	30	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	インドネシアやベトナムのホテルでゲストリレーションマネージャーとして5年間勤務実績に加え、国家資格キャリアコンサルタント登録後は1,000人以上のキャリアコンサルティングを実施してきました。その経験を活かして、今年度入学してきた学生にグローバル社会に通用する働く意義、働く上でのマナーを指導していきます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(2)に関連								
授業の到達目標	日本人として社会人として必須のマナーやプロトコール(国際儀礼)に関わる知識と技能を認定する資格取得を目指し、国際ビジネス、サービス産業、教育業界をはじめ、就職、ビジネスの第一線で活かすことを目標とする。								
授業概要	自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識および、基本的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人としての適応するための知識を身につけておく。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 キャリアと仕事へのアプローチ                      働く意義、仕事への取組み方、会社の基本ルールを学ぶ</li> <li>2 マナーの意味や解釈、歴史的な成り立ちや変遷などについて</li> <li>3 冠婚葬祭のしきたり                                      (年中行事／結婚式・披露宴のマナー／葬儀・告別式のマナー／賀寿などの通過儀礼)</li> <li>4 テーブルマナー    (テーブルマナーの歴史／和食・洋食・その他の料理のいただき方／お酒のたしなみ方、パーティのマナーなど)</li> <li>5 ビジネスマナー    (社会人意識、顧客満足、訪問・来客・電話対応、ビジネス文書、コミュニケーションスキルなど)</li> <li>6 暮らしのマナー    (贈答のマナー、和室の作法、公共のマナー、近所付き合い、手紙のマナーなど)</li> <li>6 服装のマナー    (服装の変遷、ドレスコード、フォーマルウェアの基準、冠婚葬祭時の服装など)</li> <li>7 国際人として必要な主なプロトコール      (国旗の扱い、席次、握手、レディファースト、宗教上の配慮など)</li> <li>8 その他マナー&amp;プロトコールに関するもの</li> </ul>								
テキスト	「マナー・プロトコール検定3級公式テキスト」、日本マナー・プロトコール協会 「マナー・プロトコール検定3級公式試験問題集」、日本マナー・プロトコール協会								
参考資料									
授業の評価 方法・基準	検定試験結果50%、出席率・授業態度50%								
資格試験	マナー・プロトコール検定3級								
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	検定試験合格目指して頑張りましょう！！								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	PowerPoint(初級)	担当者	比嘉 二衣菜	授業時数	30	配当年次 学期	1年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	これまで予備校、専門学校で指導してきた英語や地理の授業において、PowerPointで作成した教材を使用し学生たちの学習をサポートしてきました。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(2)、(3)に関連								
授業の 到達目標	ビジネスの現場で必要とされる、プレゼン能力の向上を図ることを目的にする。PowerPointの効果的な使用方法を学び、								
授業概要	入力・表・グラフ・図解・イラストなどPowerPointの基本操作について解説した後、サンプルを使って基本操作を練習する。目的に応じたプレゼン用資料を作成する。								
授業 計画 及び 時間 外 学習 ( 時間 )	1 PowerPoint基本操作(テキスト・表・グラフ)(1)			9 プレゼン資料作成基礎(3)					
	2 PowerPoint基本操作(テキスト・表・グラフ)(2)			10 プレゼン資料作成基礎(4)					
	3 PowerPoint基本操作(図解・イラスト)(1)			11 プレゼン資料作成応用(1)					
	4 PowerPoint基本操作(図解・イラスト)(2)			12 プレゼン資料作成応用(2)					
	5 PowerPoint基本操作(目的にあわせた図解の作成)(1)			13 プレゼン資料作成応用(3)					
	6 PowerPoint基本操作(目的にあわせた図解の作成)(2)			14 プレゼン資料作成応用(4)					
	7 プレゼン資料作成基礎(1)			15 プレゼン最終課題作成					
	8 プレゼン資料作成基礎(2)								
テキスト	PowerPointマスター演習問題集								
参考資料									
授業の評価 方法・基準	出席率、授業態度、課題の内容、課題の提出期限が守られているか								
資格試験									
関連科目・ 次のステー ジ									
受講生へ の メッセージ	効果的にプレゼンするスキルは多くの職場で役に立ちます。この授業を通して、PowerPointの基本的な操作をマスターし、さらに工夫を加えた資料、見る側が見やすく、見る側の関心を引きつけるような資料を作成できるようになってほしいと思います。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	選択	科目名	公務員試験対策 (英語)Ⅲ	担当者	比嘉 二衣菜	授業時数	30	配当年次 学期	3年・後期																																													
実務教員	○	実務教員の紹介	日本国内外での通訳の経験を活かして、実用的な英語の学習を促進したいと思います。																																																			
卒業要件との関連性																																																						
授業の到達目標	大学程度の英語力を身につけ公務員試験上級レベルの英語に対応できるようにする。具体的には、公務員試験に必要な基本的な文法・構文を理解し、上級試験の英文を読むのに必要な単語・熟語を覚える。また、文法・構文・単語・熟語の知識を利用して大まかな和訳をすばやくできるようにする。わからない単語が出てきても焦ることなく、意味を類推する習慣をつける。																																																					
授業概要	問題演習中心。公務員上級試験レベルの英文を読み、かぎとなる文法・構文を簡単に解説する。覚えてほしい単語・熟語・フレーズなどは小テストを繰り返し知識の定着を図る。また、長文読解 内容把握の問題が解きやすくなるようにフレーズ訳の練習をする。																																																					
授業計画及び時間外学習(時間)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 60%;">内容合致 基礎編(1)</td> <td style="width: 35%; text-align: right;">16 趣旨把握 基礎編(10)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>内容合致 基礎編(2)</td> <td style="text-align: right;">17 趣旨把握 基礎編 テスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>内容合致 基礎編(3)</td> <td style="text-align: right;">18 空欄補充・下線部把握・和文英訳 基礎編</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>内容合致 基礎編(4)</td> <td style="text-align: right;">19 文法 基礎編</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>内容合致 基礎編(5)</td> <td style="text-align: right;">20 内容合致 実践編(1)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>内容合致 基礎編 テスト</td> <td style="text-align: right;">21 内容合致 実践編(2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td>趣旨把握 基礎編(1)</td> <td style="text-align: right;">22 内容合致 実践編(3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td>趣旨把握 基礎編(2)</td> <td style="text-align: right;">23 内容合致 実践編 テスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td>趣旨把握 基礎編(3)</td> <td style="text-align: right;">24 趣旨把握 実践編(1)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td>趣旨把握 基礎編(4)</td> <td style="text-align: right;">25 趣旨把握 実践編(2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11</td> <td>趣旨把握 基礎編(5)</td> <td style="text-align: right;">26 趣旨把握 実践編(3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12</td> <td>趣旨把握 基礎編(6)</td> <td style="text-align: right;">27 趣旨把握 実践編 テスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td>趣旨把握 基礎編(7)</td> <td style="text-align: right;">28 文章整序 実践編(1)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">14</td> <td>趣旨把握 基礎編(8)</td> <td style="text-align: right;">29 文章整序 実践編(2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15</td> <td>趣旨把握 基礎編(9)</td> <td style="text-align: right;">30 文章整序 実践編 テスト</td> </tr> </table>									1	内容合致 基礎編(1)	16 趣旨把握 基礎編(10)	2	内容合致 基礎編(2)	17 趣旨把握 基礎編 テスト	3	内容合致 基礎編(3)	18 空欄補充・下線部把握・和文英訳 基礎編	4	内容合致 基礎編(4)	19 文法 基礎編	5	内容合致 基礎編(5)	20 内容合致 実践編(1)	6	内容合致 基礎編 テスト	21 内容合致 実践編(2)	7	趣旨把握 基礎編(1)	22 内容合致 実践編(3)	8	趣旨把握 基礎編(2)	23 内容合致 実践編 テスト	9	趣旨把握 基礎編(3)	24 趣旨把握 実践編(1)	10	趣旨把握 基礎編(4)	25 趣旨把握 実践編(2)	11	趣旨把握 基礎編(5)	26 趣旨把握 実践編(3)	12	趣旨把握 基礎編(6)	27 趣旨把握 実践編 テスト	13	趣旨把握 基礎編(7)	28 文章整序 実践編(1)	14	趣旨把握 基礎編(8)	29 文章整序 実践編(2)	15	趣旨把握 基礎編(9)	30 文章整序 実践編 テスト
1	内容合致 基礎編(1)	16 趣旨把握 基礎編(10)																																																				
2	内容合致 基礎編(2)	17 趣旨把握 基礎編 テスト																																																				
3	内容合致 基礎編(3)	18 空欄補充・下線部把握・和文英訳 基礎編																																																				
4	内容合致 基礎編(4)	19 文法 基礎編																																																				
5	内容合致 基礎編(5)	20 内容合致 実践編(1)																																																				
6	内容合致 基礎編 テスト	21 内容合致 実践編(2)																																																				
7	趣旨把握 基礎編(1)	22 内容合致 実践編(3)																																																				
8	趣旨把握 基礎編(2)	23 内容合致 実践編 テスト																																																				
9	趣旨把握 基礎編(3)	24 趣旨把握 実践編(1)																																																				
10	趣旨把握 基礎編(4)	25 趣旨把握 実践編(2)																																																				
11	趣旨把握 基礎編(5)	26 趣旨把握 実践編(3)																																																				
12	趣旨把握 基礎編(6)	27 趣旨把握 実践編 テスト																																																				
13	趣旨把握 基礎編(7)	28 文章整序 実践編(1)																																																				
14	趣旨把握 基礎編(8)	29 文章整序 実践編(2)																																																				
15	趣旨把握 基礎編(9)	30 文章整序 実践編 テスト																																																				
テキスト	『2021年度 過去問精選問題集 出たDATA問 ⑤文章理解 基礎編』『2021年度 過去問精選問題集 出たDATA問 ⑩文章理解 実践編』																																																					
参考資料																																																						
授業の評価方法・基準	出席率、単元テスト、課題の内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度																																																					
資格試験																																																						
関連科目・次のステージ																																																						
受講生へのメッセージ	英文の構造をしっかりと理解し単語・熟語を覚えていくと、公務員上級試験の英語の問題に対応できる英語力が身につきます。英語の学習を楽しく続けられるよう授業を工夫しますので、一緒にがんばりましょう！																																																					

文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	数学ⅠA	担当者	仲嶺 美和	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの数学に対応できるレベルの修得を目標とする。								
授業概要	グループ内の「先生役」を中心に、すべての生徒が基本的な数学力を身につけていく。また、疑問や質問を積極的に発言するよう促し、活気ある授業を通じて、応用問題にも挑戦できる環境と精神力を養っていく。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 基礎数学 2回 割合 平均 その他文字式 3回 整数の加法と減法 指数法則 整式の乗法 4回 式の展開 因数分解とその応用 5回 平方根 分母の有理化 6回 数と式 単元テストと解説 7回 連立方程式 8回 2次方程式 9回 1次不等式 10回 2次不等式 11回 方程式と不等式 単元テスト 12回 関数の基礎 一次関数 $y=ax+b$ のグラフ 13回 $y=ax^2$ のグラフ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ 14回 2次関数の最大・最小 15回 関数 単元テストと解説								
テキスト	公務員試験地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト数学・数的推理								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	小テストまたは単元テストの結果で判断する。								
資格試験	特になし								
関連科目・次のステージ	数学ⅠB 数学Ⅱ 数的推理ⅠA、ⅠB、Ⅱ 数的図形・空間把握ⅠA、ⅠB、Ⅱ								
受講生へのメッセージ	数学の基本は関連科目の基本でもあります。まずは基本からマスターし、公務員試験に対応できる数学力を身につけましょう。								

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	数学 I B	担当者	仲嶺 美和	授業時数	15	配当年次 学期	1年・後期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの数学に対応できる基礎力に磨きをかけることを目標とする。								
授業概要	数学 I A で習得した内容の復習を行う。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 三角比基本1 2回 三角比基本2 3回 不等式(一次不等式・連立不等式・二次不等式) 4回 不等式(一次不等式・連立不等式・二次不等式) 5回 数と式 6回 数と式 7回 二次関数のグラフ、最大最小 8回 条件を満たす二次関数を求める問題1 9回 条件を満たす二次関数を求める問題2 10回 3つの点を通る二次関数の決定 11回 平行移動 12回 対称移動 13回 2次方程式 * 二次関数との違いに注意 14回 判別式 15回 二次不等式								
テキスト	オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級④数学・理科								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	小テストの結果で判断する。								
資格試験	特になし								
関連科目・次のステージ	数学 I A、II 数的推理 I A、I B、II 数的図形・空間把握 I A、I B、II								
受講生へのメッセージ	因数分解や平方完成など、練習すれば必ず習得できます。これらの基本的なスキルがあることは、公務員試験の数学の解法へと繋がります。うろ覚えにせず、しっかり身につけていきましょう。								

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	数的推理 I A	担当者	仲嶺 美和	授業時数	30	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの数的推理に対応できるレベルの修得を目標とする。								
授業概要	基礎数学を習得したあと、文章題の練習をしていく。テキストから抜粋した1題に対し、グループ内の全員が完答できるよう教え合うことを目的とする。その後、他の問題に挑戦するか、最初の1題を完璧にするかは自分で決定し、学習を進めていく。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	方程式の導き方と解き方	16回	円順列					
	2回	和と差(平均・過不足)	17回	数珠順列・重複順列					
	3回	割合と比(歩合・百分率・比)	18回	同じものを含む順列					
	4回	損益計算	19回	組合せ					
	5回	食塩水の濃度	20回	組合せの応用					
	6回	単元テスト	21回	単元テスト					
	7回	速さの基本	22回	確率の基本法則と和事象・積事象					
	8回	速さと比	23回	和事象の確率					
	9回	旅人算	24回	排反事象の確率					
	10回	時計算	25回	余事象					
	11回	通過算	26回	独立な試行					
	12回	流水算	27回	独立な試行と排反事象の組合せ					
	13回	単元テスト	28回	反復試行					
	14回	場合の数	29回	単元テスト					
	15回	順列	30回	総合テスト					
テキスト	公務員試験地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト数学・数的推理								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する。								
資格試験	特になし								
関連科目・次のステージ	数学 I A 数学 I B 数学 II 数的推理 I B、II 数的図形・空間把握 I A、I B、II								
受講生へのメッセージ	グループ学習を通じて、公務員試験に対応できる学力を身につけるだけでなく、人間関係の大切さを学んでほしいと思います。								

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	数的推理 I B	担当者	仲嶺 美和	授業時数	30	配当年次 学期	1年・後期																										
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連																																		
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの数的推理に対応できるレベルの修得を目標とする。																																		
授業概要	過去問題からグループで問題を選び解いていきます。 分からない問題は、先生役となる生徒から教わり、教えてもらった問題は他の人に説明できるレベルまで定着させていきます。 出された過去問の類題を用意します。それによって本当に理解できたかを確認しましょう。																																		
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>公務員試験の過去問題の傾向から以下の25項目のうち、選んだ3題の解法を理解する。その上で類題を解いていく。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 四則演算</td> <td style="width: 50%;">14 流水算</td> </tr> <tr> <td>2 方程式</td> <td>15 時計算</td> </tr> <tr> <td>3 不等式</td> <td>16 場合の数</td> </tr> <tr> <td>4 二次方程式</td> <td>17 順列</td> </tr> <tr> <td>5 平均算・年齢算</td> <td>18 組合せ</td> </tr> <tr> <td>6 混合算</td> <td>19 確率</td> </tr> <tr> <td>7 売買算</td> <td>20 整数・約数,倍数,剰余</td> </tr> <tr> <td>8 増減</td> <td>21 約束記号</td> </tr> <tr> <td>9 仕事算</td> <td>22 記数法</td> </tr> <tr> <td>10 ニュートン算</td> <td>23 計算パズル</td> </tr> <tr> <td>11 速さ</td> <td>24 数列</td> </tr> <tr> <td>12 旅人算</td> <td>25 規則性の発見</td> </tr> <tr> <td>13 通過算</td> <td></td> </tr> </table>									1 四則演算	14 流水算	2 方程式	15 時計算	3 不等式	16 場合の数	4 二次方程式	17 順列	5 平均算・年齢算	18 組合せ	6 混合算	19 確率	7 売買算	20 整数・約数,倍数,剰余	8 増減	21 約束記号	9 仕事算	22 記数法	10 ニュートン算	23 計算パズル	11 速さ	24 数列	12 旅人算	25 規則性の発見	13 通過算	
1 四則演算	14 流水算																																		
2 方程式	15 時計算																																		
3 不等式	16 場合の数																																		
4 二次方程式	17 順列																																		
5 平均算・年齢算	18 組合せ																																		
6 混合算	19 確率																																		
7 売買算	20 整数・約数,倍数,剰余																																		
8 増減	21 約束記号																																		
9 仕事算	22 記数法																																		
10 ニュートン算	23 計算パズル																																		
11 速さ	24 数列																																		
12 旅人算	25 規則性の発見																																		
13 通過算																																			
テキスト	出たDATE問⑤数的推理(数的処理)・資料解釈																																		
参考資料	特になし																																		
授業の評価方法・基準	四回の単元テストと総合テストを行い、その結果で判断する。																																		
資格試験	特になし																																		
関連科目・次のステージ	数学 I A、I B、II 数的推理 I A、I B 数的図形・空間把握 I A、I B、II																																		
受講生へのメッセージ	「人に教える」ことが最も有効な学習方法です。全員が「先生役」となれるよう工夫して、理解を深めていきましょう。																																		

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	空間把握 I A	担当者	仲嶺 美和	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの数的図形・空間把に対応できるレベルの修得を目標とする。								
授業概要	この分野の問題は、各単元の基本的な解法を理解したら、あとはたくさん練習することです。直感力が鍵となる問題もいくつか出ますが、それも問題をこなせばパターンが見えてきます。この分野は自分でヒントに気づき解法に導く練習が必要です。はじめは時間が掛かっても、諦めずじっくり考えましょう。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	空間1	平面構成1						
	2回	空間1	小テスト						
	3回	空間2	軌跡1						
	4回	空間2	小テスト						
	5回	空間3	正多面体1						
	6回	空間3	小テスト						
	7回	空間4	立体の構造1						
	8回	空間4	小テスト						
	9回	空間5	平面構成2						
	10回	空間5	小テスト						
	11回	空間6	正多面体2						
	12回	空間6	小テスト						
	13回	空間7	立体の構造2						
	14回	空間7	小テスト						
	15回	総合							
テキスト	公務員試験地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト判断推理・資料解釈								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	小テストの結果で判断する。								
資格試験	特になし								
関連科目・次のステージ	数学 I B 数学 II 数的推理 I A、I B、II 数的図形・空間把握 I B、II								
受講生へのメッセージ	この分野の問題は、各単元の基本的な解法を理解したら、あとはたくさん練習することです。直感力が鍵となる問題もいくつか出ますが、それも問題をこなせばパターンが見えてきます。この分野は自分でヒントに気づき解法に導く練習が必要です。はじめは時間が掛かっても、諦めずじっくり考えましょう。								

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	空間把握 I B	担当者	仲嶺 美和	授業時数	15	配当年次 学期	1年・後期																																								
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連																																																
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの数的図形・空間把握に対応できるレベルの修得を目標とする。																																																
授業概要	過去問題から問題を選び解いていきます。 図形問題は、分からない問題は、先生役となる生徒から教わり、教えてもらった問題は他の人に説明できるレベルまで定着させていきます。空間把握はまずは一人でじっくり考えることで直感を養っていきます。																																																
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>公務員試験の過去問題から以下の20項目のうち、図形問題1題、空間把握4題程度の解法を理解する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>多角形</td> <td>11</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>平面計量(円)</td> <td>12</td> <td>正多面体</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>空間計量</td> <td>13</td> <td>サイコロ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>図形の計量</td> <td>14</td> <td>投影図</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>等積図</td> <td>15</td> <td>陰影</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>パズル</td> <td>16</td> <td>切断</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>隠し絵</td> <td>17</td> <td>回転</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>折り紙</td> <td>18</td> <td>移動</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>軌跡</td> <td>19</td> <td>最短経路</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>多角形</td> <td>20</td> <td>一筆書き</td> </tr> </table>									1	多角形	11	円	2	平面計量(円)	12	正多面体	3	空間計量	13	サイコロ	4	図形の計量	14	投影図	5	等積図	15	陰影	6	パズル	16	切断	7	隠し絵	17	回転	8	折り紙	18	移動	9	軌跡	19	最短経路	10	多角形	20	一筆書き
1	多角形	11	円																																														
2	平面計量(円)	12	正多面体																																														
3	空間計量	13	サイコロ																																														
4	図形の計量	14	投影図																																														
5	等積図	15	陰影																																														
6	パズル	16	切断																																														
7	隠し絵	17	回転																																														
8	折り紙	18	移動																																														
9	軌跡	19	最短経路																																														
10	多角形	20	一筆書き																																														
テキスト	出たDATE問⑥判断推理(課題処理)・空間把握 出たDATE問⑤数的推理(数的処理)・資料解釈																																																
参考資料	特になし																																																
授業の評価方法・基準	数回の小テストの結果で判断する。																																																
資格試験	特になし																																																
関連科目・次のステージ	数学 I A、I B、II 数的推理 I A、I B、II 数的図形・空間把握 I A、II																																																
受講生へのメッセージ	空間把握は解答後すぐに答えを見るのではなく、確かめが大切です。それは実際の試験中でも同じことが言えます。時間があれば必ず答えを導くことができるパズルのような問題なので、授業中に練習してすばやく確実に解答できるようにしていきましょう。																																																

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	数的推理ⅡA	担当者	仲嶺 美和	授業時数	45	配当年次 学期	2年・前期																																																				
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連																																																												
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの数的推理に対応できるレベルの修得を目標とする。																																																												
授業概要	過去問題からグループで問題を選び解いていきます。 分からない問題は、先生役となる生徒から教わり、教えてもらった問題は他の人に説明できるレベルまで定着させていきます。																																																												
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>公務員試験の過去問題の傾向から以下の25項目のうち、1コマ1～4題程度の解法を理解する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>四則演算</td> <td>14</td> <td>流水算</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>方程式</td> <td>15</td> <td>時計算</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>不等式</td> <td>16</td> <td>場合の数</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>二次方程式</td> <td>17</td> <td>順列</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>平均算・年齢算</td> <td>18</td> <td>組合せ</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>混合算</td> <td>19</td> <td>確率</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>売買算</td> <td>20</td> <td>整数・約数,倍数,剰余</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>増減</td> <td>21</td> <td>約束記号</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>仕事算</td> <td>22</td> <td>記数法</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ニュートン算</td> <td>23</td> <td>計算パズル</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>速さ</td> <td>24</td> <td>数列</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>旅人算</td> <td>25</td> <td>規則性の発見</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>通過算</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									1	四則演算	14	流水算	2	方程式	15	時計算	3	不等式	16	場合の数	4	二次方程式	17	順列	5	平均算・年齢算	18	組合せ	6	混合算	19	確率	7	売買算	20	整数・約数,倍数,剰余	8	増減	21	約束記号	9	仕事算	22	記数法	10	ニュートン算	23	計算パズル	11	速さ	24	数列	12	旅人算	25	規則性の発見	13	通過算		
1	四則演算	14	流水算																																																										
2	方程式	15	時計算																																																										
3	不等式	16	場合の数																																																										
4	二次方程式	17	順列																																																										
5	平均算・年齢算	18	組合せ																																																										
6	混合算	19	確率																																																										
7	売買算	20	整数・約数,倍数,剰余																																																										
8	増減	21	約束記号																																																										
9	仕事算	22	記数法																																																										
10	ニュートン算	23	計算パズル																																																										
11	速さ	24	数列																																																										
12	旅人算	25	規則性の発見																																																										
13	通過算																																																												
テキスト	出たDATE問⑤数的推理(数的処理)・資料解釈																																																												
参考資料	特になし																																																												
授業の評価方法・基準	数回の小テストと総合テストを行い、その結果で判断する。																																																												
資格試験	特になし																																																												
関連科目・次のステージ	数学ⅠA、ⅠB、Ⅱ 数的推理ⅠA、ⅠB 数的図形・空間把握ⅠA、ⅠB、Ⅱ																																																												
受講生へのメッセージ	一年時に得た数的推理の解法の総復習として、実際の過去問題を解いていきましょう。																																																												

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	空間把握ⅡA	担当者	仲嶺 美和	授業時数	15	配当年次 学期	2年・前期																																								
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連																																																
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの数的図形・空間把握に対応できるレベルの修得を目標とする。																																																
授業概要	過去問題から問題を選び解いていきます。 図形問題は、分からない問題は、先生役となる生徒から教わり、教えてもらった問題は他の人に説明できるレベルまで定着させていきます。空間把握はまずは一人でじっくり考えることで直感を養っていきます。																																																
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>公務員試験の過去問題の傾向から以下の20項目のうち、1コマ1～4題程度の解法を理解する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>多角形</td> <td>11</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>平面計量(円)</td> <td>12</td> <td>正多面体</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>空間計量</td> <td>13</td> <td>サイコロ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>図形の計量</td> <td>14</td> <td>投影図</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>等積図</td> <td>15</td> <td>陰影</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>パズル</td> <td>16</td> <td>切断</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>隠し絵</td> <td>17</td> <td>回転</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>折り紙</td> <td>18</td> <td>移動</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>軌跡</td> <td>19</td> <td>最短経路</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>多角形</td> <td>20</td> <td>一筆書き</td> </tr> </table>									1	多角形	11	円	2	平面計量(円)	12	正多面体	3	空間計量	13	サイコロ	4	図形の計量	14	投影図	5	等積図	15	陰影	6	パズル	16	切断	7	隠し絵	17	回転	8	折り紙	18	移動	9	軌跡	19	最短経路	10	多角形	20	一筆書き
1	多角形	11	円																																														
2	平面計量(円)	12	正多面体																																														
3	空間計量	13	サイコロ																																														
4	図形の計量	14	投影図																																														
5	等積図	15	陰影																																														
6	パズル	16	切断																																														
7	隠し絵	17	回転																																														
8	折り紙	18	移動																																														
9	軌跡	19	最短経路																																														
10	多角形	20	一筆書き																																														
テキスト	出たDATE問⑥判断推理(課題処理)・空間把握 出たDATE問⑤数的推理(数的処理)・資料解釈																																																
参考資料	特になし																																																
授業の評価方法・基準	数回の小テストと総合テストを行い、その結果で判断する。																																																
資格試験	特になし																																																
関連科目・次のステージ	数学ⅠA、ⅠB、Ⅱ 数的推理ⅠA、ⅠB、Ⅱ 数的図形・空間把握ⅠA、ⅠB																																																
受講生へのメッセージ	一年時に得た空間把握・数的図形の解法の総復習として、実際の過去問題を解いていきましょう。																																																

## 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	物理・化学 I A	担当者	仲嶺 美和	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	高エネルギー加速器研究機構に在籍していた経験を活かして、物理や化学の魅力や最先端の科学の内容やその実用化に向けた動きを伝えていきたいと思ひます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの物理・化学に対応できるレベルの修得を目標とする。								
授業概要	公務員試験に実際に出た問題を題材に、テキストやインターネットからの情報や、講師、仲間からの助言を参考にメモを取り、自らまとめていくことで、物理・化学の知識を深めていく。各単元ごとにまとめを行い知識の定着をはかる。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 力学1 ニュートンの3原則 2回 力学2 等加速度直線運動の加速度と距離 3回 力学3 仕事 4回 力学4 力学的エネルギー 5回 熱とエネルギー 6回 音波・光波 7回 電気と磁気 8回 単体と化合物 9回 原子・分子・イオン 10回 原子量・分子量・物質質量 11回 物質の状態変化 12回 酸と塩基と中和 13回 酸化還元とイオン化傾向 14回 非金属元素 15回 金属元素								
テキスト	出たDATE問④数学・理科 オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級④数学・理科								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	小テストの結果で判断する。								
資格試験	特になし								
関連科目・次のステージ	物理 I B、II 化学 I B、II								
受講生へのメッセージ	近年の初級公務員試験では身近なものを題材として出題されている傾向があります。基礎を学び、過去問題を題材に、身近な物理、化学への考察ができるようにしていきましょう。								

## 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	物理・化学Ⅱ	担当者	仲嶺 美和	授業時数	15	配当年次 学期	2年・前期																								
実務教員	○	実務教員の紹介	高エネルギー加速器研究機構に在籍していた経験を活かして、物理や化学の魅力や最先端の科学の内容やその実用化に向けた動きを伝えていきたいと思ひます。																														
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連																																
授業の到達目標	公務員試験初級レベルの物理・化学に対応できるレベルの修得を目標とする。																																
授業概要	過去問集を中心に演習問題を行う。																																
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>以下の内容の過去問を解答していく。解説やテキストを使って理解を深めていく。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">力学1 ニュートンの3原則</td> <td style="width: 50%;">単体と化合物</td> </tr> <tr> <td>力学2 等速直線運動、等加速度直線運動</td> <td>化学結合</td> </tr> <tr> <td>力学3 等加速度直線運動の加速度と距離</td> <td>原子・分子・イオン</td> </tr> <tr> <td>力学4 仕事</td> <td>原子量・分子量・物質質量</td> </tr> <tr> <td>力学5 力学的エネルギー</td> <td>化学反応式</td> </tr> <tr> <td>熱とエネルギー</td> <td>物質の状態変化</td> </tr> <tr> <td>波動1 光波</td> <td>気体の性質</td> </tr> <tr> <td>波動2 音波</td> <td>酸と塩基と中和</td> </tr> <tr> <td>電気と磁気1 オームの法則と合成抵抗</td> <td>酸化還元とイオン化傾向</td> </tr> <tr> <td>電気と磁気2 電流と地場</td> <td>非金属元素</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金属元素</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機化合物</td> </tr> </table>									力学1 ニュートンの3原則	単体と化合物	力学2 等速直線運動、等加速度直線運動	化学結合	力学3 等加速度直線運動の加速度と距離	原子・分子・イオン	力学4 仕事	原子量・分子量・物質質量	力学5 力学的エネルギー	化学反応式	熱とエネルギー	物質の状態変化	波動1 光波	気体の性質	波動2 音波	酸と塩基と中和	電気と磁気1 オームの法則と合成抵抗	酸化還元とイオン化傾向	電気と磁気2 電流と地場	非金属元素		金属元素		有機化合物
力学1 ニュートンの3原則	単体と化合物																																
力学2 等速直線運動、等加速度直線運動	化学結合																																
力学3 等加速度直線運動の加速度と距離	原子・分子・イオン																																
力学4 仕事	原子量・分子量・物質質量																																
力学5 力学的エネルギー	化学反応式																																
熱とエネルギー	物質の状態変化																																
波動1 光波	気体の性質																																
波動2 音波	酸と塩基と中和																																
電気と磁気1 オームの法則と合成抵抗	酸化還元とイオン化傾向																																
電気と磁気2 電流と地場	非金属元素																																
	金属元素																																
	有機化合物																																
テキスト	出たDATE問④数学・理科 オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級④数学・理科																																
参考資料	特になし																																
授業の評価方法・基準	数回の小テストと総合テストを行い、その結果で判断する。																																
資格試験	特になし																																
関連科目・次のステージ	物理ⅠA,ⅠB 化学ⅠA,ⅠB																																
受講生へのメッセージ	1年次に使用した過去問題集を引き続き解いていきます。全問挑戦しましょう。																																

## 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	Excel(基礎編)	担当者	仲嶺 美和	授業時数	30	配当年次 学期	1年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	塾講師1年、美容系専門学校講師3年、家庭教師2年、公務員系専門学校講師5年、模擬試験の集計・グラフ化、個人成績表、出席率の算出などをExcelを用いて作成を行いました。データを扱う基礎を知り、データから様々な考察できることを知ってほしいです。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(2)、(3)に関連								
授業の 到達目標	Excel表計算処理技能認定試験3級合格								
授業概要	パソコンを使ってテキストの練習問題、模擬問題を進めていきます。 途中でわからない、困ったことがあればすみやかに講師に質問すること。								
授業計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )	<p>以下の1から8の項目を、テキストの練習問題、模擬問題を行いながら習得していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 Excelの基本</li> <li>2 データの編集</li> <li>3 表の編集</li> <li>4 ブックの印刷設定</li> <li>5 グラフと図形の作成</li> <li>6 ブックの利用と管理</li> <li>7 関数</li> <li>8 データベース機能</li> </ol> <p>テキストを一通り終えたあと、本試験と同じ形式で練習問題、模擬問題、サンプル問題を行っていく。</p>								
テキスト	Excel表計算処理技能認定試験 3級問題集(2016対応)								
参考資料	特になし								
授業の評価 方法・基準									
資格試験									
関連科目・ 次のステ ージ	Word(基礎編)								
受講生へ の メ ッ セ ー ジ	表計算は必ず役に立つ技術です。基本的なことは3級で習得できます。学生時代にExcelにふれることにより、社会人になり必要な時に 応用できるようになりましょう。								

## 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	Word(基礎編)	担当者	仲嶺 美和	授業時数	30	配当年次 学期	1年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	塾講師1年、美容系専門学校講師3年、家庭教師2年、公務員系専門学校講師5年、生徒のレベルや習熟度に合わせた学習教材(算数・数学、物理、化学等)をWordで独自に作成し続けて学習効果を上げてきました。その経験を活かして、Wordの機能操作の説明だけでなく、見やすい・わかりやすい文書の作成を指導していきます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(2)、(3)に関連								
授業の到達目標	Word文書処理技能認定試験3級合格								
授業概要	パソコンを使ってテキストの練習問題、模擬問題を進めていきます。 途中でわからない、困ったことがあればすみやかに講師に質問すること。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>以下の1から7の項目を、テキストの練習問題、模擬問題を行いながら習得していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 タイピング練習</li> <li>2 Wordの基本</li> <li>3 文字の編集と基本操作</li> <li>4 文書の編集</li> <li>5 文書の印刷設定</li> <li>6 表を使った文書の作成</li> <li>7 図や画像を使った文書の作成</li> </ol> <p>テキストを一通り終えたあと、本試験と同じ形式で練習問題、模擬問題、サンプル問題を行っていく。</p>								
テキスト	Word文書処理技能認定試験 3級問題集(2016対応)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	出席、課題、検定試験の結果								
資格試験	Word文書処理技能認定試験3級								
関連科目・次のステージ	Excel(基礎編)								
受講生へのメッセージ	講義では重要なところのみ板書しますが、実際にパソコンを使って練習し、わからないところを質問していくことが最も有効な学習方法です。文書の編集自体は簡単ですが、タイピングを苦手と感じる受講生も多いと思います。まずはタイピングの練習からしていきましょう。								

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	模擬試験実践演習 I	担当者	仲嶺 美和	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)(3)に関連								
授業の到達目標	本番を意識し、満点を目指す。最低でも6割以上の点数取得を目指す。								
授業概要	公務員試験対策模擬試験を実施し、実践的問題演習を行う。これまで学習してきた知識の総復習や解法の再確認を行う。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>4月 ①全国模試(50問型) ②九州模試(地方40問スタンダード型)</p> <p>5月 ①全国模試(40問型)</p> <p>6月 ①九州模試(地方40問ロジカル型) ②全国模試(警察・消防型) ③九州模試(国家型) ④九州模試(地方40問スタンダード型)</p> <p>7月 ①全国模試(50問型) ②九州模試(国家型) ③九州模試(地方40問ロジカル型)</p> <p>8月 ①九州模試(国家型) ②九州模試(地方40問スタンダード型) ③九州模試(国家型)</p> <p>9月 ①九州模試(地方40問ロジカル型)</p>								
テキスト	全国模試:東京アカデミー主催 九州模試:公務員ゼミナール主催								
参考資料									
授業の評価方法・基準	模擬試験結果で判断する。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	総合実践演習 I A、総合実践演習 I B、模擬試験実践演習 II								
受講生へのメッセージ	まずは公務員試験になれましょう。								

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	模擬試験実践演習Ⅱ	担当者	仲嶺 美和	授業時数	15	配当年次 学期	2年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)(3)に関連								
授業の到達目標	本番を意識し、満点を目指す。最低でも6割以上の点数取得を目指す。								
授業概要	公務員試験対策模擬試験を実施し、実践的問題演習を行う。これまで学習してきた知識の総復習や解法の再確認を行う。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>4月 ①全国模試(50問型) ②九州模試(地方40問スタンダード型)</p> <p>5月 ①全国模試(40問型)</p> <p>6月 ①九州模試(地方40問ロジカル型) ②全国模試(警察・消防型) ③九州模試(国家型) ④九州模試(地方40問スタンダード型)</p> <p>7月 ①全国模試(50問型) ②九州模試(国家型) ③九州模試(地方40問ロジカル型)</p> <p>8月 ①九州模試(国家型) ②九州模試(地方40問スタンダード型) ③九州模試(国家型)</p> <p>9月 ①九州模試(地方40題ロジカル型)</p>								
テキスト	全国模試:東京アカデミー主催 九州模試:公務員ゼミナール主催								
参考資料									
授業の評価方法・基準	模擬試験結果で判断する。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	総合演習実践Ⅱ								
受講生へのメッセージ	本番の公務員試験を意識して、本番と同じ気持ちで挑んで下さい。								

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	総合実務演習 I A	担当者	仲嶺 美和	授業時数	30	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との関連性		公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)(3)に関連							
授業の到達目標		本番を意識し、満点を目指す。最低でも6割以上の点数取得を目指す。							
授業概要		過去に実施された公務員採用試験問題を用いて本試験同様の問題演習を行い、知識の総復習や解法の最終確認を行うとともに、本試験に向けたシュミレーションを行う。							
授業計画及び時間外学習(時間)		1 2016年度国家一般職(高卒程度)・税務職員採用試験 2 2017年度国家一般職(高卒程度)・税務職員採用試験 3 2018年度国家一般職(高卒程度)・税務職員採用試験 4 2019年度国家一般職(高卒程度)・税務職員採用試験 5 2016年度裁判所一般職(高卒程度)採用試験 6 2017年度裁判所一般職(高卒程度)採用試験 7 2018年度裁判所一般職(高卒程度)採用試験 8 2019年度裁判所一般職(高卒程度)採用試験 9 2016年度刑務官採用試験 10 2017年度刑務官採用試験 11 2018年度刑務官採用試験 12 2019年度刑務官採用試験 13 2016年度海上保安・入国警備官採用試験 14 2017年度海上保安・入国警備官採用試験 15 2018年度海上保安・入国警備官採用試験 16 2019年度海上保安・入国警備官採用試験							
テキスト		公務員試験過去問題							
参考資料									
授業の評価方法・基準		過去問試験結果で判断する。							
資格試験									
関連科目・次のステージ		総合実践演習 I B、総合実践演習 II							
受講生へのメッセージ		演習終了後は、正誤を確認し、自分の苦手と得意を知りましょう。必ず復習しましょう。							

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	総合実務演習 I B	担当者	仲嶺 美和	授業時数	30	配当年次 学期	1年・後期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)(3)に関連								
授業の到達目標	本番を意識し、満点を目指す。最低でも6割以上の点数取得を目指す。								
授業概要	過去に実施された公務員採用試験問題を用いて本試験同様の問題演習を行い、知識の総復習や解法の最終確認を行うとともに、本試験に向けたシュミレーションを行う。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1 2015年度海上保安学校(特別)採用試験 2 2016年度海上保安学校(特別)採用試験 3 2017年度海上保安学校(特別)採用試験 4 2018年度海上保安学校(特別)採用試験 5 2019年度海上保安学校(特別)採用試験 6 地方初級問題 I 7 地方初級問題 II 8 地方初級問題 I 9 地方初級問題 II 10 警視庁過去問題 I 11 警視庁過去問題 II 12 警視庁過去問題 III 13 警視庁過去問題 IV 14 警視庁過去問題 V 15 警視庁過去問題 VI								
テキスト	公務員試験過去問題								
参考資料									
授業の評価方法・基準	過去問試験結果で判断する。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	総合実践演習 I A、総合実践演習 II								
受講生へのメッセージ	演習終了後は、正誤を確認し、自分の苦手と得意を知りましょう。必ず復習しましょう。								

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	総合実務演習ⅡA	担当者	仲嶺 美和	授業時数	30	配当年次 学期	2年・前期
卒業要件との関連性		公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)(3)に関連							
授業の到達目標		本番を意識し、満点を目指す。最低でも6割以上の点数取得を目指す。							
授業概要		過去に実施された公務員採用試験問題を用いて本試験同様の問題演習を行い、知識の総復習や解法の最終確認を行うとともに、本試験に向けたシュミレーションを行う。去年一度解いた問題であるため、高得点を目指す。							
授業計画及び時間外学習(時間)		1 2016年度国家一般職(高卒程度)・税務職員採用試験 2 2017年度国家一般職(高卒程度)・税務職員採用試験 3 2018年度国家一般職(高卒程度)・税務職員採用試験 4 2019年度国家一般職(高卒程度)・税務職員採用試験 5 2016年度裁判所一般職(高卒程度)採用試験 6 2017年度裁判所一般職(高卒程度)採用試験 7 2018年度裁判所一般職(高卒程度)採用試験 8 2019年度裁判所一般職(高卒程度)採用試験 9 2016年度刑務官採用試験 10 2017年度刑務官採用試験 11 2018年度刑務官採用試験 12 2019年度刑務官採用試験 13 2016年度海上保安・入国警備官採用試験 14 2017年度海上保安・入国警備官採用試験 15 2018年度海上保安・入国警備官採用試験 16 2019年度海上保安・入国警備官採用試験							
テキスト		公務員試験過去問題							
参考資料									
授業の評価方法・基準		過去問試験結果で判断する。							
資格試験									
関連科目・次のステージ		総合実践演習ⅠA、総合実践演習ⅠB							
受講生へのメッセージ		演習終了後は、正誤を確認し、自分の苦手と得意を知りましょう。必ず復習しましょう。							

文化教養専門課程 公務員・教養本科(2年制)、公務員教養専修科 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	総合実務演習ⅡB	担当者	仲嶺 美和	授業時数	30	配当年次 学期	2年・後期
卒業要件との関連性		公務員・教養本科(2年制・4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)(3)に関連							
授業の到達目標		本番を意識し、満点を目指す。最低でも6割以上の点数取得を目指す。							
授業概要		過去に実施された公務員採用試験問題を用いて本試験同様の問題演習を行い、知識の総復習や解法の最終確認を行うとともに、本試験に向けたシュミレーションを行う。去年一度解いた問題であるため、高得点を目指す。							
授業計画及び時間外学習(時間)		1 2015年度海上保安学校(特別)採用試験 2 2016年度海上保安学校(特別)採用試験 3 2017年度海上保安学校(特別)採用試験 4 2018年度海上保安学校(特別)採用試験 5 2019年度海上保安学校(特別)採用試験 6 地方初級問題Ⅰ 7 地方初級問題Ⅱ 8 地方初級問題Ⅰ 9 地方初級問題Ⅱ 10 警視庁過去問題Ⅰ 11 警視庁過去問題Ⅱ 12 警視庁過去問題Ⅲ 13 警視庁過去問題Ⅳ 14 警視庁過去問題Ⅴ 15 警視庁過去問題Ⅵ							
テキスト		公務員試験過去問題							
参考資料									
授業の評価方法・基準		過去問試験結果で判断する。							
資格試験									
関連科目・次のステージ		総合実践演習ⅠA、総合実践演習Ⅱ							
受講生へのメッセージ		演習終了後は、正誤を確認し、自分の苦手と得意を知りましょう。必ず復習しましょう。							

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	判断推理 I A	担当者	新川 涼子	授業時数	30時間	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	音感教育アプリをC++を使ってプログラミングしていました。現在は、小学校教員養成コースの学生にプログラミングを授業で活用してもらうための手法を研究しています。その経験を、公務員試験受験希望の学生の論理的思考力の養成に活かしていきます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級基準1の(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	判断推理(課題処理)を含む、一般知能は公務員試験特有の問題です。しかし、小学校・中学校で学んだ算数・数学の基本知識を使って解けるような問題が大半です。テキストや、問題集を解きながら解法のパターンを覚えていきましょう。また、公務員試験では、限られた時間内に解かなければならないので、効率的な解法は積極的に吸収しよう。								
授業概要	TACテキストを中心に判断推理の出題範囲についてまんべんなく解法のパターンを学習します。図や表を描きながら考えたり、具体例をいくつか作ったりしながら練習するよう心掛けよう。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	命題・論理 例題、基本問題							
	2回	命題・論理 基本問題、演習問題							
	3回	対応関係 勝敗 例題、基本問題							
	4回	対応関係 勝敗 演習問題							
	5回	対応関係 類推 例題、基本問題							
	6回	対応関係 類推 演習問題							
	7回	対応関係 嘘つき問題 例題、基本問題							
	8回	対応関係 嘘つき問題 演習問題							
	9回	順位(序列・大小) 例題 基本問題							
	10回	順位(序列・大小) 例題 演習問題							
	11回	順位(追い越し・親族関係) 例題、基本問題							
	12回	順位(追い越し・親族関係) 演習問題							
	13回	位置・方位 例題、基本問題							
	14回	位置・方位 演習問題							
	15回	総復習							
テキスト	TACテキスト 判断推理・資料解釈 出たDATA問6(東京アカデミー)								
参考資料	畑中敦子の初級 The Best+(PLIS) 判断推理, 畑中敦子, エクシア出版, 1500円+税								
授業の評価方法・基準	出席、授業中の課題、单元ごとのミニテスト								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	少し難しいクイズを解くような気持ちで、ややこしさを楽しんでみてください。問題を解けるようになると達成感がありますよ。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	判断推理ⅡA	担当者	新川 涼子	授業時数	30時間	配当年次 学期	2年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	音感教育アプリをC++を使ってプログラミングしていました。現在は、小学校教員養成コースの学生にプログラミングを授業で活用してもらうための手法を研究しています。その経験を、公務員試験受験希望の学生の論理的思考力の養成に活かしていきます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級・卒業基準1の(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	判断推理(課題処理)公務員試験の中でも出題数が多い分野です。問題集を解きながら解法のパターンを確認しましょう。また、限られた時間内に解けるよう、できるだけ短い時間で解けるよう、自分なりの工夫をできるようにしよう。								
授業概要	出題範囲についてまんばなくTACテキストを復習し、東京アカデミーの出たDATA問題集を解きましょう。頻出分野(順序関係、対応関係、位置関係、論理)に苦手分野を残さないようにしっかり学習してもらいます。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	順位 序列・大小 例題の復習、出たDATA問題集の実践問題							
	2回	順位 数値 例題の復習、出たDATA問題集の実践問題							
	3回	対応関係 二集合対応 出たDATA問題集の実践問題							
	4回	対応関係 多集合対応 出たDATA問題集の実践問題							
	5回	対応関係 類推 出たDATA問題集の実践問題							
	6回	論理 論理と集合、三段論法と対偶 出たDATA問題集の実践問題							
	7回	試合 リーグ戦 出たDATA問題集の実践問題							
	8回	試合 トーナメント戦 出たDATA問題集の実践問題							
	9回	証言 出たDATA問題集の実践問題							
	10回	数量(時計のずれ) 出たDATA問題集の実践問題							
	11回	位置・方位 出たDATA問題集の実践問題							
	12回	位置・方位 出たDATA問題集の実践問題							
	13回	集合 出たDATA問題集の実践問題							
	14回	道順・手順 出たDATA問題集の実践問題							
	15回	その他 出たDATA問題集の実践問題							
テキスト	TACテキスト 判断推理・資料解釈 出たDATA問6(東京アカデミー)								
参考資料	畑中敦子の初級 The Best+(PLIS) 判断推理, 畑中敦子, エクシア出版, 1500円+税								
授業の評価方法・基準	出席、授業中の課題、2、3單元ごとのミニテスト								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	少し難しいクイズを解くような気持ちで、ややこしさを楽しんでみてください。問題を解けるようになると達成感がありますよ。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	資料解釈 I A	担当者	新川 涼子	授業時数	15時間	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	音感教育アプリをC++を使ってプログラミングしていました。現在は、小学校教員養成コースの学生にプログラミングを授業で活用してもらうための手法を研究しています。その経験を、公務員試験受験希望の学生の論理的思考力の養成に活かしていきます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級基準1の(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	公務員試験における資料解釈は、数表やグラフによる与えられた資料を正確に分析すれば必ず答えをだせる問題です。問題を多く解いて、数表や、グラフの正確な分析力を身につけましょう。また、限られた時間内で解かなければならないので、おおむね大小関係が把握できる省略算を用いるテクニック(大まかにあたりをつける)を習得しましょう。								
授業概要	資料解釈の問題を解くにあたって、基本的な割合などの計算の確認。資料解釈の基礎、構成比、増減率、指数、特殊なグラフについて数表やグラフからの読み取りの練習をします。また、電卓を使わずに、ミスせず大まかな計算であたりをつける練習をします。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	資料解釈の基礎 割合の計算							
	2回	資料解釈の基礎 例題1, 2							
	3回	資料解釈の基礎 例題3、基本問題							
	4回	資料解釈の基礎 演習問題							
	5回	資料解釈の基礎 演習問題							
	6回	構成比 例題、演習問題							
	7回	構成比 演習問題							
	8回	構成比 演習問題							
	9回	増減率 例題1, 2							
	10回	増減率 演習問題							
	11回	増減率 演習問題							
	12回	増減率 演習問題							
	13回	指数 例題1, 2							
	14回	指数 例題3、演習問題							
	15回	指数 演習問題							
テキスト	TACテキスト 判断推理・資料解釈 出たDATA問5(東京アカデミー)								
参考資料	畑中敦子の初級 The Best+(PLIS) 数的推理/資料解釈, 畑中敦子, エクシア出版, 1500円+税								
授業の評価方法・基準	出席、授業中の課題、單元ごとのミニテスト								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	資料解釈では、多くの計算が出てきます。ミスしないようコツコツ練習しましょう。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	資料解釈ⅡA	担当者	新川 涼子	授業時数	15時間	配当年次 学期	2年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	音感教育アプリをC++を使ってプログラミングしていました。現在は、小学校教員養成コースの学生にプログラミングを授業で活用してもらうための手法を研究しています。その経験を、公務員試験受験希望の学生の論理的思考力の養成に活かしていきます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級・卒業基準1の(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	公務員試験における資料解釈は、数表やグラフによる与えられた資料を正確に分析すれば必ず答えをだせる問題です。1年生の時に学習したテクニックを復習し、問題集の問題を多く解いて、数表や、グラフの正確な分析力を身につけましょう。また、限られた時間内で解かなければならないので、短時間で解くための自分なりの工夫をできるようにしましょう。								
授業概要	資料解釈の問題を解くにあたって、基本的な割合などの計算の確認。構成比、増減率、指数、特殊なグラフについて数表やグラフからの読み取りの復習、東京アカデミーの出たDATA問題集を解きます。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	TAC 特殊なグラフ、演習問題							
	2回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	3回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	4回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	5回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	6回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	7回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	8回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	9回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	10回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	11回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	12回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	13回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	14回	期末試験							
	15回	総復習							
テキスト	TACテキスト 判断推理・資料解釈 出たDATA問5(東京アカデミー)								
参考資料	畑中敦子の初級 The Best+(PLIS) 数的推理/資料解釈, 畑中敦子, エクシア出版, 1500円+税								
授業の評価方法・基準	出席、授業中の課題、期末試験								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	資料解釈では、多くの計算が出てきます。ミスしないようコツコツ練習しましょう。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	判断推理 I B	担当者	新川 涼子	授業時数	15時間	配当年次 学期	1年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	音感教育アプリをC++を使ってプログラミングしていました。現在は、小学校教員養成コースの学生にプログラミングを授業で活用してもらうための手法を研究しています。その経験を、公務員試験受験希望の学生の論理的思考力の養成に活かしていきます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級基準1の(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	判断推理(課題処理)公務員試験の中でも出題数が多い分野です。問題集を解きながら解法のパターンを確認しましょう。また、限られた時間内に解けるよう、できるだけ短い時間で解けるよう、自分なりの工夫をできるようにしよう。								
授業概要	頻出分野(順序関係、対応関係、位置関係、論理)を中心に前期で学習したことを復習し、出たDATA問題集で実践問題を短い時間で溶けるよう練習を重ねます。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	位置 復習 出たDATA問題集の実践問題							
	2回	集合 例題、基本問題							
	3回	集合 基本問題、演習問題							
	4回	集合 演習問題、出たDATA問題集の実践問題							
	5回	手順 例題、基本問題							
	6回	手順 基本問題、演習問題							
	7回	手順 演習問題、出たDATA問題集の実践問題							
	8回	道順 例題、基本問題							
	9回	道順 基本問題、演習問題							
	10回	道順 演習問題 出たDATA問題集の実践問題							
	11回	魔法陣 例題、基本問題、							
	12回	魔法陣 基本問題、演習問題							
	13回	その他の問題 例題、基本問題、演習問題							
	14回	その他の問題 演習問題							
	15回	その他の問題 出たDATA問題集の実践問題							
テキスト	TACテキスト 判断推理・資料解釈 出たDATA問5(東京アカデミー)								
参考資料	畑中敦子の初級 The Best+(PLIS) 判断推理, 畑中敦子, エクシア出版, 1500円+税								
授業の評価方法・基準	出席、授業中の課題、單元ごとのミニテスト								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	少し難しいクイズを解くような気持ちで、ややこしさを楽しんでみてください。問題を解けるようになると達成感がありますよ。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	資料解釈 I B	担当者	新川 涼子	授業時数	15時間	配当年次 学期	1年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	音感教育アプリをC++を使ってプログラミングしていました。現在は、小学校教員養成コースの学生にプログラミングを授業で活用してもらうための手法を研究しています。その経験を、公務員試験受験希望の学生の論理的思考力の養成に活かしていきます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級基準1の(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	公務員試験における資料解釈は、数表やグラフによる与えられた資料を正確に分析すれば必ず答えをだせる問題です。前期に学習したテクニックを復習し、問題集の問題を多く解いて、数表や、グラフの正確な分析力を身につけましょう。また、限られた時間内で解かなければならないので、短時間で解くための自分なりの工夫をできるようにしましょう。								
授業概要	資料解釈の問題を解くにあたって、基本的な割合などの計算の確認。資料解釈の基礎、構成比、増減率の復習をします。出たDATA問題集の実践問題を解答しながら、電卓を使わずに、ミスせず大まかな計算であたりをつける練習をします。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	構成比の復習							
	2回	増減率の復習							
	3回	指数の復習							
	4回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	5回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	6回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	7回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	8回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	9回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	10回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	11回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	12回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	13回	出たDATA問題集 表の問題、グラフの問題							
	14回	期末試験							
	15回	総復習							
テキスト	TACテキスト 判断推理・資料解釈 出たDATA問5(東京アカデミー)								
参考資料	畑中敦子の初級 The Best+(PLIS) 数的推理/資料解釈, 畑中敦子, エクシア出版, 1500円+税								
授業の評価方法・基準	出席、授業中の課題、期末試験								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	資料解釈では、多くの計算が出てきます。ミスしないようコツコツ練習しましょう。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	プログラミング	担当者	新川 涼子	授業時数	30時間	配当年次 学期	1年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	音感教育アプリをC++を使ってプログラミングしていました。現在は、小学校教員養成コースの学生にプログラミング(Scratch)を授業で活用してもらうための手法を研究しています。教務においてはExcelVBAを活用し、個別成績票へのデータの転記、グラフ作成の自動化などに用いています。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級・卒業基準1の(1)、(2)、(3)に関連								
授業の到達 目標	公務員試験の判断推理では、与えられた条件から物事を順序だてて考える必要があります。プログラミングを学ぶと、まさにコンピュータにさせたいことを順序だてて、プログラミングしていくことが身につきます。このテクニックは、2次試験で出題される作文にも活かせるでしょう。また、授業でのプログラミングの上達度を測るものとして、ジュニアプログラミング検定に合格できるよう指導します。								
授業概要	Scratchの基本操作、図形描画、おこかけっこゲーム(エントリー級例題)、エントリー級練習問題、犬のマラソンゲーム(ブロンズ級)、ブロンズ級練習問題、物語づくり(例題の物語の続きを考えてプログラミング)、ロケットの足し算(シルバー級)、シルバー級の練習問題、シューティングゲーム(ゴールド級)、物語プログラム作成など。								
授業計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )	1回	Scratchの基本、正三角形の描画、正六角形の描画							
	2回	正六角形の間違い探し課題、繰り返し文で正六角形描画プログラムを改良、円の描画、自由図形描画							
	3回	自由図形描画の完成、エントリー級おこかけっこゲーム作成(1)							
	4回	エントリー級おこかけっこゲーム作成(2)、エントリー級練習問題							
	5回	エントリー級練習問題完成、ブロンズ級犬のマラソンゲーム作成(1)							
	6回	ブロンズ級犬のマラソンゲーム作成(2)、ブロンズ級練習問題							
	7回	ブロンズ級練習問題完成、検定の練習							
	8回	ジュニアプログラミング検定 ブロンズ							
	9回	シルバー級ロケットの足し算(1)							
	10回	シルバー級ロケットの足し算(2)、シルバー級練習問題							
	11回	シルバー級練習問題完成、ゴールド級シューティングゲーム作成(1)							
	12回	検定の練習							
	13回	ジュニアプログラミング検定 シルバー							
	14回	プログラムで物語を作ってみよう 例題							
	15回	グループで例題の後の話を考えてプログラムを作ってみよう							
テキスト	Scratch!で楽しむレッツ!プログラミング(ジュニアプログラミング検定 公式テキスト)								
参考資料	いちばんはじめのプログラミング Scratch3.0対応, たにぐちまこと, マイナビ出版, 1900円+税								
授業の評価 方法・基準	出席、毎回の課題、確認テスト、検定の結果								
資格試験	ジュニアプログラミング検定								
関連科目・ 次のステージ									
受講生への メッセージ	授業で習った方法論を使って自分のオリジナルのゲームを作ってみると楽しいですよ。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	Excel(応用編)	担当者	新川 涼子	授業時数	30	配当年次 学期	2年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	研究では、統計処理に(質問紙調査の分散分析、クロス集計など)にExcelを活用しています。学会発表の際のスライドでは視覚効果の高いグラフをExcelで作成し、説明に用います。教務においては、授業資料の作成、成績処理に利用しています。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級・卒業基準1の(1)、(2)、(3)に関連								
授業の 到達目標	サーティファイ主催のExcel表計算技能認定試験の2級(社会人として求められるレベルの表計算の活用能力)取得を目指します。								
授業概要	Excel表計算技能認定試験3級の復習後、2級出題範囲の関数、グラフ作成、データベース機能などを練習問題、実践問題を作成しながら演習します。また、知識問題についても学習します。								
授業計画及び 時間外学習 (時間)	1回	Excel表計算技能認定試験3級の復習 模擬問題1							
	2回	Excel2016 クイックマスター 応用編 グラフ機能(複合グラフ)、データベース機能							
	3回	Excel2016 クイックマスター 応用編 文字列操作関数、日付関数							
	4回	Excel2016 クイックマスター 応用編 データベース関数(DSUM、DAVERAGE、DMAX、DMIN、DCOUNT)							
	5回	Excel2016 クイックマスター 応用編 検索関数(VLOOKUP、HLOOKUP、CHOOSE、INDEX)							
	6回	Excel2016 クイックマスター 応用編 条件付き書式、印刷の設定の復習							
	7回	Excel2016 クイックマスター 応用編 ピボットテーブル、マクロ、ゴールシーク							
	8回	Excel表計算技能認定試験2級 実技練習問題1、2							
	9回	Excel表計算技能認定試験2級 実技練習問題3、4							
	10回	Excel表計算技能認定試験2級 知識練習問題1・2・3							
	11回	Excel表計算技能認定試験2級 知識練習問題4・5・6・7							
	12回	Excel表計算技能認定試験2級 知識・技能 模擬問題1							
	13回	Excel表計算技能認定試験2級 知識・技能 模擬問題2							
	14回	Excel表計算技能認定試験2級 知識・技能 模擬問題3							
	15回	Excel表計算技能認定試験2級							
テキスト	① Excel2016クイックマスター(応用編)、発行:ウイネット、価格:2,000円+税 ②Excel®表計算処理技能認定試験 1・2級問題集(2016対応)、編著:サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会 発行:サーティファイ、価格:2,900円+税								
参考資料	Excel表計算技能認定試験 3級問題集								
授業の評価 方法・基準	出席、課題、検定試験の結果								
資格試験	Excel表計算技能認定試験2級								
関連科目・ 次のステージ									
受講生への メッセージ	Excelの活用技能は社会人として求められるスキルです。検定取得を目指して学習することでしっかり身につくはずですよ。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	生物・地学 I A	担当者	新川 涼子	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級基準1の(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	理系が苦手な人でも、ほとんどが暗記で対応できるため取り組みやすい科目です。生物は、広く浅く幅広い知識を身に着けるようにしましょう。 地学は、出題分野が限られており、なおかつ日常生活に関連した分野も多いので確実に頻出範囲を解けるようにしましょう。								
授業概要	生物は、出題頻度の高い細胞、代謝とエネルギー代謝、ヒトに関連する分野では、ホルモンと内分泌腺のはたらきなど頻出の分野を特にしっかり学習してもらいます。 地学は、地球の内部構造・地震、火山。気象現象、太陽系の惑星などについてテキストで学習し、出たDATA問題集で実践問題を数多く解答し地学の問題を得意分野にできるよう学習する。								
	1回	生物:細胞構造、植物の調節作用、							
	2回	地学:地球の構造							
	3回	生物:同化と異化							
	4回	地学:気圧と風							
	5回	生物:動物の恒常性調節							
	6回	地学:岩石							
	7回	中間試験							
	8回	生物:神経系の発達							
	9回	地学:地殻変動・地震							
	10回	生物:遺伝の仕組み本体							
	11回	地学:地球と星の運動							
	12回	生物:生殖と発生							
	13回	生物:生物の進化、生態系と環境問題							
	14回	期末試験							
	15回	総復習							
テキスト	オープンセサミンシリーズ4 数学・理科 出たDATA問題集4 数学・理科								
参考資料	公務員試験 新・初級 スーパー過去問ゼミ 自然科学, 資格試験研究会(編), 実務教育出版, 1400円+税								
授業の評価方法・基準	出席、授業中の課題、期末試験								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	理系が苦手な人でも、ほとんどが暗記で対応できるため取り組みやすい科目です、コツコツ頑張りましょう。 高校で履修していなくても、出題範囲が限られているので心配ありません。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	生物・地学Ⅱ	担当者	新川 涼子	授業時数	15	配当年次 学期	2年・前期
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科(2年制・4年制)の進級基準1の(1)、(3)に関連								
授業の 到達目標	理系が苦手な人でも、ほとんどが暗記で対応できるため取り組みやすい科目です。生物は、広く浅く幅広い知識を身に付けるようにしましょう。地学は、出題分野が限られており、なおかつ日常生活に関連した分野も多いので確実に頻出範囲を解けるようにしましょう。								
授業概要	生物は、1年で学習したことを踏まえて、出題頻度の高い細胞、代謝とエネルギー代謝、ヒトに関連する分野では、ホルモンと内分泌腺のはたらきなど頻出の分野を特にしっかり学習してもらいます。 地学は、地球の内部構造・地震、火山。気象現象、太陽系の惑星などについてテキストで学習し、出たDATA問題集で実践問題を数多く解答し地学の問題を得意分野にできるよう学習する。								
	1回	生物:細胞							
	2回	地学:大気圏							
	3回	生物:発生・生殖							
	4回	地学:気象							
	5回	生物:遺伝							
	6回	地学:地球内部の構造、火成岩							
	7回	生物・地学 中間試験							
	8回	生物:同化・異化							
	9回	地学:地震とエネルギー							
	10回	生物:恒常性							
	11回	地学:示準化石と示相化石、造山運動							
	12回	生物:生物の集団							
	13回	地学:地球の自転と公転							
	14回	生物・地学 期末試験							
	15回	総復習							
参考資料	公務員試験 新・初級 スーパー過去問ゼミ 自然科学, 資格試験研究会(編), 実務教育出版, 1400円+税								
授業の評価 方法・基準	出席、授業中の課題、中間試験、期末試験								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ									
受講生への メッセージ	理系が苦手な人でも、ほとんどが暗記で対応できるため取り組みやすい科目です、コツコツ頑張りましょう。高校で履修していなくても、出題範囲が限られているので心配ありません。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	PowerPoint	担当者	新川 涼子	授業時数	60	配当年次 学期	2年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	研究では、実験結果を統計処理に(質問紙調査の分散分析、クロス集計など)によって解析します。その結果を、学会で発表する際のスライドでは視覚効果の高いグラフや、スマートアートグラフィック駆使してを説明を行います。教務においては、授業資料の作成に利用しています。						
卒業要件との関連性		公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(2)、(3)に関連							
授業の到達目標		サーティファイ主催のPowerPointRプレゼンテーション技能認定試験初級の取得を目標とします。演習をとおしてMicrosoft PowerPointに関する基礎的な技能を有し、ビジネスシーンを想定した仕様に従った標準的なプレゼンテーションを作成することができるように演習を行います。							
授業概要		PowerPointRプレゼンテーション技能認定試験初級の出題範囲を基本から演習し、練習問題、模擬問題を時間内に仕上げられるようにします。							
授業計画及び時間外学習(時間)	1回	PowerPointの基本、デザインの設定、文字列の入力、スライドの追加、テキストファイルの利用、デザインの変更、文字列の書式設定、段落の書式設定、スライドの編集、プレゼンテーションの保存							
	2回	基本スライドの復習、図形の描画、編集、ワードアートの挿入、画像ファイルの挿入、画面切り替え効果、アニメーション効果、表の挿入、表の編集、画面切り替え効果、アニメーション効果、スライドショー実行中の操作							
	3回	初級練習問題1、初級練習問題2							
	4回	初級練習問題3、初級模擬問題1							
	5回	初級模擬問題2、初級模擬問題3							
	6回	初級模擬問題4、初級模擬問題5							
	7回	PowerPointRプレゼンテーション技能認定試験 初級							
	8回	各自でテーマを設定して統計資料から得られる情報をまとめてスライド作成1							
	9回	各自でテーマを設定して統計資料から得られる情報をまとめてスライド作成2、発表準備							
	10回	各自でまとめたデータを発表する(プレゼンテーションの実践)							
	11回	スライドマスターの設定・編集、リボンのユーザー設定、クイックアクセスツールバーのカスタマイズ、オートコレクト、入力オートフォーマット							
	12回	段組み、文字列の方向、文字の配置、SmartArtの挿入、変換、オンラインプレゼンテーション、目的別スライドショー、リハーサル、スライドショーの記録、ビデオの挿入、オーディオの挿入							
	13回	総合問題							
	14回	上級練習問題1、テーマ別知識練習問題1、2、3							
	15回	上級練習問題2、テーマ別知識練習問題4、5、6							
	16回	上級練習問題3、テーマ別知識練習問題7、8							
	17回	上級練習問題1							
	18回	上級練習問題2、上級練習問題3							
	19回	上級練習問題4							
	20回	PowerPointRプレゼンテーション技能認定試験 上級							
テキスト		①PowerPoint2016クイックマスター、編著：サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会 発行：サーティファイ、価格：2,400円＋税 ②PowerPoint®プレゼンテーション技能認定試験問題集(2016対応)、編著：サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会、発行：サーティファイ、価格：2,400円＋税							
参考資料									
授業の評価方法・基準		出席、課題、発表(スライド、発表態度)、検定試験の結果							
資格試験		PowerPointRプレゼンテーション技能認定試験初級、上級							
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ		ビジネスの場で、社内外に関わらず、プレゼンテーションをする機会が多くあります。新たな企画や提案を通すためには、プレゼンテーションを成功させなくてはなりません。公務員の仕事においても同じことが言えます。そのためには、情報を取捨選択し、伝えたいことが確実に伝わるスライドを作成することが不可欠です。この演習では、スライド作成の基本から応用までを学習しますので、意欲的に取り組んでください。検定の取得も目指しましょう。							

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	地理 I A	担当者	儀武 玄秀	授業時数	30	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	ビジュアル(地図・図解)を活用し、各国ごとの気候・文化・歴史・産業構造・輸出入品などを総合的に理解する。								
授業概要	まず、基礎知識を学んだうえ、世界諸地域と日本の特徴について学ぶ。最後に、まとめとして知識の整理する。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 地図情報 2回 人間(人口・宗教) 3回 環境(気候、土壌、海流) 4回 生活と産業(農林業、水産業) 5回 生活と産業(工業、エネルギー資源、鉱山資源) 6回 世界の諸地域(アジア) 7回 世界の諸地域(アフリカ) 8回 世界の諸地域(ヨーロッパ) 9回 世界の諸地域(ロシア) 10回 世界の諸地域(アメリカ) 11回 世界の諸地域(オセアニア) 12回 日本の地理 13回 日本の産業構造 14回 日本の貿易、資源 15回 まとめ1 16回 まとめ2								
テキスト	TACテキスト(人文科学)								
参考資料									
授業の評価方法・基準	課題提出70% 科目試験30%								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	まずは、地理の基本的知識を身に付けましょう。これが、今後の学習の土台となります。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	地理 I B	担当者	儀武 玄秀	授業時数	15	配当年次 学期	1年・後期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	地理 I Aで学んだ各国ごとの気候・文化・歴史・産業構造・輸出入品について復習し、理解度を高める。								
授業概要	地理 I Aの復習として、生活環境を中心に世界各国とのつながり等を地理的視点から学び、日本及び世界諸地域の特徴と産業をみていく。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 地図情報 2回 人間(人口・宗教) 3回 環境(気候、土壌、海流) 4回 生活と産業(農林業、水産業) 5回 生活と産業(工業、エネルギー資源、鉱山資源) 6回 世界の諸地域(アジア) 7回 世界の諸地域(アフリカ) 8回 世界の諸地域(ヨーロッパ) 9回 世界の諸地域(ロシア) 10回 世界の諸地域(アメリカ) 11回 世界の諸地域(オセアニア) 12回 日本の地理 13回 日本の産業構造 14回 日本の貿易、資源 15回 まとめ1 16回 まとめ2								
テキスト	TACテキスト(人文科学)								
参考資料									
授業の評価方法・基準	課題提出70% 科目試験30%								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	地理 I Aで学んだ基礎知識を振り返り、確かなものにしましょう。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	地理Ⅱ	担当者	儀武 玄秀	授業時数	30	配当年次 学期	2年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	地理Ⅰで習得した基礎知識を踏まえて、世界史・日本史との関係を学び、総合的学習により発展的知識を習得する。								
授業概要	1回～5回は、基礎知識の整理。6回～11回は、世界諸地域の特徴について世界史と関連づけて整理。12回～14回は、日本の特徴について日本史と関連づけて整理。15回～16回は、まとめとして知識の整理する。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 地図情報 2回 人間(人口・宗教) 3回 環境(気候、土壌、海流) 4回 生活と産業(農林業、水産業) 5回 生活と産業(工業、エネルギー資源、鉱山資源) 6回 世界の諸地域(アジア)と世界史 7回 世界の諸地域(アフリカ)と世界史 8回 世界の諸地域(ヨーロッパ)と世界史 9回 世界の諸地域(ロシア)と世界史 10回 世界の諸地域(アメリカ)と世界史 11回 世界の諸地域(オセアニア)と世界史 12回 日本の地理と日本史 13回 日本の産業構造と日本史 14回 日本の貿易、資源と日本史 15回 まとめ1 16回 まとめ2								
テキスト	東京アカデミーテキスト(人文科学)								
参考資料									
授業の評価方法・基準	課題提出70% 科目試験30%								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	地理を公務員試験対策として学ぶのみではなく、地理の学問としての魅力を知ってもらいたい。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	日本史 I A	担当者	儀武 玄秀	授業時数	30	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	この授業では、飛鳥奈良時代から昭和までの時代変遷を、前後関係から学び、各時代社における社会制度(政治・法・税制度・土地制度)を中心に講義する。								
授業概要	1回～9回で時代の変遷を一通り講義する。10回～12回は諸制度の歴史の変遷を学び、13回・14回は各時代における文化史も併せて学習する。学習内容はレポートにまとめ発表してもらう。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 飛鳥・奈良時代 2回 平安時代 3回 鎌倉時代 4回 室町時代 5回 安土桃山・江戸時代前期 6回 江戸時代中期・末期 7回 明治時代 8回 大正・昭和時代 9回 土地制度 10回 税制度 11回 法制度 12回 政治制度 13回 文化・芸術(1) 14回 文化・芸術(2) 15回 まとめ I 16回 まとめ II								
テキスト	TACテキスト(人文科学)								
参考資料									
授業の評価方法・基準	課題提出70% 科目試験30%								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	日本史の基礎知識を習得し、歴史の変遷から各時代ごとの特徴を学び、公務員試験対策の為の学習ではなく、学問としての発展へつなげて欲しい。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	日本史 I B	担当者	儀武 玄秀	授業時数	15	配当年次 学期	1年・後期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	この授業では、日本史 I Aで学んだ飛鳥奈良時代から昭和までの時代変遷と各時代社における社会制度(政治・法・税制度・土地制度)を振り返り習熟度を高める。								
授業概要	日本史 I Aの振り返り、1回～9回で時代の変遷を一通り講義する。10回～12回は諸制度の歴史の変遷を学び、13回・14回は各時代における文化史も併せて学習する。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 飛鳥・奈良時代 2回 平安時代 3回 鎌倉時代 4回 室町時代 5回 安土桃山・江戸時代前期 6回 江戸時代中期・末期 7回 明治時代 8回 大正・昭和時代 9回 土地制度 10回 税制度 11回 法制度 12回 政治制度 13回 文化・芸術(1) 14回 文化・芸術(2) 15回 まとめ I 16回 まとめ II								
テキスト	TACテキスト(人文科学)								
参考資料									
授業の評価方法・基準	課題提出70% 科目試験30%								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	日本史 I Aで習得した基礎知識を復習し、習熟度を高め学問としての応用へ発展を目指す。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	日本史Ⅱ	担当者	儀武 玄秀	授業時数	30	配当年次 学期	2年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	この授業では、日本史ⅠA・Bで習得した飛鳥奈良時代から昭和までの時代変遷と各時代社における社会制度(政治・法・税制度・土地制度)を踏まえて、世界史及び政治経済の科目とリンク(貿易・外交、法制度、経済史など)させながら日本史を複合的に学んでいくことを目標とする。								
授業概要	1回～9回で時代の変遷を一通り講義する。10回～12回は諸制度の歴史の変遷と世界史・中国史との関係を学び、13回・14回は各時代における文化史も併せて学習する。学習内容はレポートにまとめ発表してもらう。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 飛鳥・奈良時代 2回 平安時代 3回 鎌倉時代 4回 室町時代 5回 安土桃山・江戸時代前期 6回 江戸時代中期・末期 7回 明治時代－政治経済 8回 大正・昭和時代－政治経済 9回 土地制度－中国史 10回 税制度－政治経済 11回 法制度－政治経済 12回 政治制度－政治経済 13回 外交史－世界史・中国史 14回 文化・芸術(1) 15回 文化・芸術(2) 16回 まとめⅡ								
テキスト	東京アカデミーテキスト(人文科学)								
参考資料									
授業の評価方法・基準	課題提出70% 科目試験30%								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	日本史の基礎知識を習得し、歴史の変遷から各時代ごとの特徴を学び、公務員試験対策の為の学習ではなく、世界史・政治経済との関係を総合的に学習し、学問としての発展へつなげて欲しい。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	世界史 I A	担当者	儀武 玄秀	授業時数	30	配当年次 学期	1年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	この授業では、古代から現代までの時代変遷を、前後関係から学び、時代ごとの社会の仕組みを中心に講義する。また、中国史、東洋史の変遷と西洋史との関係を総合的に学んでいくことを目標とする。								
授業概要	1回～7回では西洋史を中心に古代から現代までの歴史の流れを見ていく。8回～14回は中国史を中心に東洋史を近現代中心に見ていく。そして、各時代背景をレポートにまとめ発表する。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 古代－四大文明、古代ギリシャ、古代ローマ 2回 中世－フランク王国、皇帝と教皇の関係 3回 中世－十字軍、ルネサンス、宗教改革、大航海時代 4回 近代－絶対王政への流れ、市民革命、産業革命、帝国主義政策 5回 現代－第1次世界大戦と国際連盟 6回 現代－世界恐慌、第2次世界大戦と国際連合 7回 現代－冷戦体制とその後、国際紛争 8回 中国史－秦～後漢の制度・政策 9回 中国史－隋・唐・宋・元・明の制度・政策 10回 中国史－清の制度・政策 11回 中国史－中華民国とヨーロッパ列強国、第2次大戦以後の中華人民共和国 12回 東洋史－西アジア史、インド史 13回 近代アジア史(1) 14回 現代アジア史(2) 15回 まとめ I 16回 まとめ II								
テキスト	TACテキスト(人文科学)								
参考資料	サブテキスト(世界史重要事項集)								
授業の評価方法・基準	課題提出70% 科目試験30%								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	世界史の基礎知識を習得し、古代・中世・近代・現代の特徴を学び、各国の歴史の流れを総合的に学習する。公務員試験対策の為の学習ではなく、学問としての発展へつなげて欲しい。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	世界史 I B	担当者	儀武 玄秀	授業時数	15	配当年次 学期	1年・後期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	この授業では、世界史 I Aで習得した古代から現代までの時代変遷を、前後関係から学び、時代ごとの社会の仕組みと中国史、東洋史の変遷と西洋史との関係を振り返り総合的に習熟度を高める。								
授業概要	世界史 I Aの復習として1回～7回では西洋史を中心に古代から現代までの歴史の流れを確認し、8回～14回は中国史を中心に東洋史を近現代中心に知識の整理を行う。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 古代－四大文明、古代ギリシャ、古代ローマ 2回 中世－フランク王国、皇帝と教皇の関係 3回 中世－十字軍、ルネサンス、宗教改革、大航海時代 4回 近代－絶対王政への流れ、市民革命、産業革命、帝国主義政策 5回 現代－第1次世界大戦と国際連盟 6回 現代－世界恐慌、第2次世界大戦と国際連合 7回 現代－冷戦体制とその後、国際紛争 8回 中国史－秦～後漢の制度・政策 9回 中国史－隋・唐・宋・元・明の制度・政策 10回 中国史－清の制度・政策 11回 中国史－中華民国とヨーロッパ列強国、第2次大戦以後の中華人民共和国 12回 東洋史－西アジア史、インド史 13回 近代アジア史(1) 14回 現代アジア史(2) 15回 まとめ I 16回 まとめ II								
テキスト	TACテキスト(人文科学)								
参考資料	サブテキスト(世界史重要事項集)								
授業の評価方法・基準	課題提出70% 科目試験30%								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	世界史 I Aで習得した基礎知識を復習し、習熟度を高め学問としての応用へ発展を目指す。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	世界史Ⅱ	担当者	儀武 玄秀	授業時数	30	配当年次 学期	2年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の到達目標	この授業では、世界史ⅠA・Bで習得した古代から現代までの時代変遷を、前後関係から学び、時代ごとの社会の仕組みと中国史、東洋史の変遷と西洋史との関係を振り返り、政治制度・経済・金融史を政治経済と交えて学習する。								
授業概要	世界史ⅠA・Bで学習してきたことを踏まえ、1回～7回では西洋史を中心に古代から現代までの歴史の流れを確認し、8回～14回は中国史を中心に東洋史を近現代中心に知識の整理を行い、政治経済・日本史と総合的に知識の整理を行う。								
授業計画及び時間外学習(時間)	1回 古代－四大文明、古代ギリシャ、古代ローマ 2回 中世－フランク王国、皇帝と教皇の関係 3回 中世－十字軍、ルネサンス、宗教改革、大航海時代 4回 近代－絶対王政への流れ、市民革命、産業革命、帝国主義政策－政治経済 5回 現代－第1次世界大戦と国際連盟－政治経済・日本史 6回 現代－世界恐慌、第2次世界大戦と国際連合－政治経済・日本史 7回 現代－冷戦体制とその後、国際紛争－政治経済・日本史 8回 中国史－秦～後漢の制度・政策 9回 中国史－隋・唐・宋・元・明の制度・政策－日本史 10回 中国史－清の制度・政策－日本史 11回 中国史－中華民国とヨーロッパ列強国、第2次大戦以後の中華人民共和国－日本史 12回 東洋史－西アジア史、インド史 13回 近代アジア史(1) 14回 現代アジア史(2) 15回 まとめⅠ 16回 まとめⅡ								
テキスト	東京アカデミーテキスト(人文科学)								
参考資料	サブテキスト(世界史重要事項集)								
授業の評価方法・基準	課題提出70% 科目試験30%								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	世界史ⅠA・Bで習得した基礎知識を踏まえて、政治経済・日本史と総合的に知識をまとめ、学問としての発展へつなげて欲しい。								

## 文化教養専門課程 公務員・教養本科（4年制） 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	実践中国語	担当者	林 方龍	授業時数	135時間	配当年次 学期	1年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	2008年に勉学の為、中国より沖縄県に来ました。1年目は、専門学校で日本語を学び、沖縄国際大学経済学部で4年間、経済学を中心とした勉学に励む。大学卒業後、沖縄県を拠点とした貿易企業に入社し、主に通訳と翻訳、貿易実務を担当。2016年に「沖縄県と中国の架け橋となる役割を担いたい」という想いで起業しました。これまでの経験を活かして現場で使える中国語を教えます。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科（2年制・4年制）科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の（1）と（2）に関連								
授業の到達目標	HSKレベルの中国語会話ができ、「話して通じる」「聞いてわかる」「中国語の漢字を書ける」自然な応答ができる。								
授業概要	基本的な文法の復習を行い、再度発音の確認を行います。それから、レベルを上げて一年次に勉強した基本文型に加えて、込んだ分を作り、読解することができるようにする。								
授業計画及び時間外学習（時間）	<p>第1週 イントロダクション、準4級試験の復習、1年次の総復習</p> <p>第2週 第21課 招く「在」（動作の進行形）、第22課① 期間を表す名詞、動態助詞「了」</p> <p>第3週 第22課② 期間を表す名詞、動態助詞「了」、第23課① 招く「好」（結果補語）、副詞「就」「才」、方向補語</p> <p>第4週 第23課② 招く「好」（結果補語）、副詞「就」「才」、方向補語、第24課① 残念「让」兼語文、「是不是」</p> <p>第5週 第24課② 残念「让」兼語文、「是不是」、第25課① 称赞 文型「又…又…」、複文「要是…就」</p> <p>第6週 第25課② 称赞 文型「又…又…」、複文「要是…就」、復習（五）</p> <p>第7週 第26課 祝贺 結果補語「开」「下」、可能補語、第27課① 忠告 「有点儿」、存現文</p> <p>第8週 第27課② 忠告 「有点儿」、存現文、第28課① 比較 「比」比較文、数量補語、「多」概数</p> <p>第9週 第28課② 比較 「比」比較文、数量補語、「多」概数、第29課① 趣味 「有」「没有」比較文、時量補語、「把」</p> <p>第10週 第29課② 趣味 「有」「没有」比較文、時量補語、「把」、第30課① 言葉 時量補語、「除了…以外」</p> <p>第11週 第30課② 言葉 時量補語、「除了…以外」、復習（六）</p> <p>第12週 中間試験、第31課 旅行（1）方向補語、「不是…吗？」反語文</p> <p>第13週 第32課 旅行（2）動作の持続、結果補語「见」、第33課① 旅行（3）形容詞の重ね型、可能補語</p> <p>第14週 第34課 診察を受ける 「吧」文、「一…就…」、第35課① お見舞い 受動文</p> <p>第15週 第35課② お見舞い 受動文、復習（七）</p> <p>第16週 第36課 時量補語、「有的…有的…」、第37課① 送別会 「虽然…但是…」、「把」文②</p> <p>第17週 第37課② 送別会 「虽然…但是…」、「把」文②、第38課① 託送 「不但…而且…」可能補語「动」</p> <p>第18週 第38課② 託送 「不但…而且…」可能補語「动」、第39課① 送別（1）動作の持続と進行</p> <p>第19週 第39課② 送別（1）「不如」比較文、第40課① 送別（2）「把」文③、「…了…就…」</p> <p>第20週 第40課② 送別（2）「把」文③、「…了…就…」、期末試験</p>								
テキスト	中国語会話301上（語文研究社）+ HSKテキスト2級								
参考資料	中国語検定HSK3級過去問集(SPRIX)、必ず話せる中国語入門（主婦の友社）								
授業の評価方法・基準	中間試験、期末試験：60%、発音試験（40%）								
資格試験	中国語検定HSK2級、中国語検定HSK3級								
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	中国語検定HSK3級合格のための基礎力堅めを行うので、学習意欲をしっかりと持ち授業に挑んでほしいです。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	判断推理ⅡB	担当者	美里 勉	授業時数	15	配当年次 学期	2年・後期
卒業要件との関連性		公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連							
授業の到達目標		算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問の攻略を目指す。							
授業概要		一斉・集団・板書・応答形式							
授業計画及び時間外学習(時間)		<ul style="list-style-type: none"> <li>1 順序</li> <li>2 対応</li> <li>3 集合</li> <li>4 論理</li> <li>5 位置</li> <li>6 試合</li> <li>7 証言</li> <li>8 暗号</li> <li>9 数量</li> <li>10 日暦</li> <li>11 手順</li> <li>12 道順</li> </ul>							
テキスト		公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)							
参考資料		特になし							
授業の評価方法・基準		単元テストと総合テストの結果で判断する							
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	空間把握ⅡB	担当者	美里 勉	授業時数	15	配当年次 学期	2年・後期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問の攻略を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書・応答形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平面図形</li> <li>2 立体構成</li> <li>3 回転</li> <li>4 移動</li> <li>5 展開図</li> </ol>								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	数的推理ⅡB	担当者	美里 勉	授業時数	30	配当年次 学期	2年・後期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問の攻略を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書・応答形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 数と式の計算</li> <li>2 方程式</li> <li>3 不等式</li> <li>4 割合と比(濃度)</li> <li>5 割合と比(増加・減少率)</li> <li>6 割合と比(仕事算)</li> <li>7 割合と比(売買算)</li> <li>8 割合と比(ニュートン算)</li> <li>9 速さ(旅人算)</li> <li>10 (流水算)</li> <li>11 (通過算)</li> <li>12 (ダイヤグラム)</li> <li>13 場合の数</li> <li>14 確率</li> <li>15 平面図形</li> <li>16 立体図形</li> </ol>								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	あとひとつふんばり！得意分野をさらに伸ばし弱点は克服！								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	資料解釈ⅡB	担当者	美里 勉	授業時数	15	配当年次 学期	2年・後期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問を攻略し、公務員試験の科目得点8割を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書応答・形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 分数の大小判別法</li> <li>2 増加・減少率の求め方</li> <li>3 選択肢の切り方</li> <li>4 数表</li> <li>5 グラフ</li> </ol>								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	判断推理Ⅲ	担当者	美里 勉	授業時数	60	配当年次 学期	3年・通年
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問を攻略し、公務員試験の科目得点8割を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書応答・形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	1 順序 2 対応 3 集合 4 論理 5 位置 6 試合 7 証言 8 暗号 9 数量 10 日暦 11 手順 12 道順								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	空間把握Ⅲ	担当者	美里 勉	授業時数	30	配当年次 学期	3年・通年
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問を攻略し、公務員試験の科目得点8割を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書・応答形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平面図形</li> <li>2 折り紙</li> <li>3 軌跡</li> <li>4 立体構成</li> <li>5 展開図</li> <li>6 投影</li> <li>7 切断</li> <li>8 回転</li> <li>9 移動</li> <li>10 経路</li> </ol>								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	数的推理Ⅲ	担当者	美里 勉	授業時数	60	配当年次 学期	3年・通年
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問を攻略し、公務員試験の科目得点8割を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書・応答形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 数と式の計算</li> <li>2 方程式</li> <li>3 不等式</li> <li>4 割合と比(濃度)</li> <li>5 割合と比(増加・減少率)</li> <li>6 割合と比(仕事算)</li> <li>7 割合と比(売買算)</li> <li>8 割合と比(ニュートン算)</li> <li>9 速さ(旅人算)</li> <li>10 速さ(流水算)</li> <li>11 速さ(通過算)</li> <li>12 速さ(ダイヤグラム)</li> <li>13 場合の数</li> <li>14 確率</li> <li>15 平面図形</li> <li>16 立体図形</li> </ol>								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	問題への新たな切り込みを学ぼう。SPIIにも生かせる技だ!								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	資料解釈Ⅲ	担当者	美里 勉	授業時数	30	配当年次 学期	3年・通年
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問を攻略し、公務員試験の科目得点8割を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書・応答形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 分数の大小判別法</li> <li>2 増加・減少率の求め方</li> <li>3 選択肢の切り方</li> <li>4 数表</li> <li>5 グラフ</li> </ol>								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	判断推理IV	担当者	美里 勉	授業時数	45	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問を攻略し、公務員試験の科目得点8割を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書・応答形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	1 順序 2 対応 3 集合 4 論理 5 位置 6 試合 7 証言 8 暗号 9 数量 10 日暦 11 手順 12 道順								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	あとひとふんばり！得意分野をさらに伸ばし弱点は克服！								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	空間把握Ⅳ	担当者	美里 勉	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問を攻略し、公務員試験の科目得点8割を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書・応答形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平面図形</li> <li>2 折り紙</li> <li>3 軌跡</li> <li>4 立体構成</li> <li>5 展開図</li> <li>6 投影</li> <li>7 切断</li> <li>8 回転</li> <li>9 移動</li> <li>10 経路</li> </ol>								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	数的推理IV	担当者	美里 勉	授業時数	45	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問を攻略し、公務員試験の科目得点8割を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書・応答形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 数と式の計算</li> <li>2 方程式</li> <li>3 不等式</li> <li>4 割合と比(濃度)</li> <li>5 割合と比(増加・減少率)</li> <li>6 割合と比(仕事算)</li> <li>7 割合と比(売買算)</li> <li>8 割合と比(ニュートン算)</li> <li>9 速さ(旅人算)</li> <li>10 速さ(流水算)</li> <li>11 速さ(通過算)</li> <li>12 速さ(ダイヤグラム)</li> <li>13 場合の数</li> <li>14 確率</li> <li>15 平面図形</li> <li>16 立体図形</li> </ol>								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	あとひとふんばり！得意分野をさらに伸ばし弱点は克服！								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	資料解釈Ⅳ	担当者	美里 勉	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との関連性	公務員・教養本科(4年制)科目履修・進級・卒業についての注意事項の5条1項の(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	算数・数学的解法に講師独特の解法を加え、テキストの問題と過去問を攻略し、公務員試験の科目得点8割を目指す。								
授業概要	一斉・集団・板書応答・形式								
授業計画及び時間外学習(時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 分数の大小判別法</li> <li>2 増加・減少率の求め方</li> <li>3 選択肢の切り方</li> <li>4 数表</li> <li>5 グラフ</li> </ol>								
テキスト	公務員試験準拠テキスト(東京アカデミー編)								
参考資料	特になし								
授業の評価方法・基準	単元テストと総合テストの結果で判断する								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	文章理解(現代文) I	担当者	津覇 実明	授業時数	30	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	中央大学法学部法律学科卒業。文字・活字文化大賞審査委員長。数多くの作文・意見文の審査経験を活かして「好ましい」文章の作成方法と高く評価されるポイントを指導して行きたい。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の 到達目標	公務員試験合格の実力養成ならびに実社会での対応能力養成。								
授業概要	基本テキストを活用した質疑応答の形式による授業。問題にたいする答えが当たっていても理由を問いただしマグレではなく確実な理解力の定着と説明責任を果たすことの重要性を意識化した授業。								
授業 計画 及び 時間 外学 習 (時間)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 漢字</li> <li>2 四字熟語</li> <li>3 ことわざ</li> <li>4 重要語句</li> <li>5 空欄補充</li> <li>6 文章整序</li> <li>7 内容把握</li> <li>8 内容把握</li> <li>9 内容把握</li> <li>10 空欄補充</li> <li>11 空欄補充</li> <li>12 文章整序</li> <li>13 文章整序</li> <li>14 漢字</li> <li>15 四字熟語</li> <li>16 ことわざ</li> </ol>								
テキスト	国語・文章読解								
参考資料	補助プリント								
授業の評価 方法・基準	理解力・「関心・意欲・態度」・「思考力・判断力・表現力」・集中力								
資格試験	日本語文章能力検定等								
関連科目・ 次のステージ	応用力を身につけ対人コミュニケーションでも活かせる知識・技能の確実な習得。								
受講生への メッセージ	授業は真剣勝負。公僕としての自覚をもって授業で向き合えることを期待しています。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	漢字・語句・作文 I	担当者	津覇 実明	授業時数	15	配当年次 学期	1年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	中央大学法学部法律学科卒業。文字・活字文化大賞審査委員長。数多くの作文・意見文の審査経験を活かして「好ましい」文章の作成方法と高く評価されるポイントを指導して行きたい。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の 到達目標	公務員試験合格の実力養成ならびに実社会での対応能力養成。								
授業概要	基本テキストを活用した質疑応答の形式による授業。問題にたいする答えが当たっていても理由を問いただしマグレではなく確実な理解力の定着と説明責任を果たすことの重要性を意識化した授業。								
授業 計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 内容合致</li> <li>2 要旨把握</li> <li>3 下線部把握</li> <li>4 空欄補充</li> <li>5 文章整序</li> <li>6 漢字</li> <li>7 四字熟語</li> <li>8 ことわざ</li> <li>9 慣用句</li> <li>10 故事成語</li> <li>11 敬語</li> <li>12 品詞</li> <li>13 文学史</li> <li>14 作文</li> <li>15 作文</li> <li>16 作文</li> </ol>								
テキスト	出た DATA問 過去問精選問題集								
参考資料	補助プリント								
授業の評価 方法・基準	理解力・「関心・意欲・態度」・「思考力・判断力・表現力」・集中力								
資格試験	日本語文章能力検定等								
関連科目・ 次のステージ	応用力を身につけ対人コミュニケーションでも活かせる知識・技能の確実な習得。								
受講生への メッセージ	授業は真剣勝負。公僕としての自覚をもって授業で向き合えることを期待しています。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	文章理解(現代文)Ⅱ	担当者	津覇 実明	授業時数	15	配当年次 学期	2年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	中央大学法学部法律学科卒業。文字・活字文化大賞審査委員長。数多くの作文・意見文の審査経験を活かして「好ましい」文章の作成方法と高く評価されるポイントを指導して行きたい。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の 到達目標	公務員試験合格の実力養成ならびに実社会での対応能力養成。								
授業概要	基本テキストを活用した質疑応答の形式による授業。問題にたいする答えが当たっていても理由を問いただしマグレではなく確実な理解力の定着と説明責任を果たすことの重要性を意識化した授業。								
授業計画 及び時間 外学習 (時間)	1 漢字 2 四字熟語 3 ことわざ 4 重要語句 5 空欄補充 6 文章整序 7 内容把握 8 内容把握 9 内容把握 10 空欄補充 11 空欄補充 12 文章整序 13 文章整序 14 漢字 15 四字熟語 16 ことわざ								
テキスト	国語・文章読解								
参考資料	補助プリント								
授業の評価 方法・基準	理解力・「関心・意欲・態度」・「思考力・判断力・表現力」・集中力								
資格試験	日本語文章能力検定等								
関連科目・ 次のステージ	応用力を身につけ対人コミュニケーションでも活かせる知識・技能の確実な習得。								
受講生への メッセージ	授業は真剣勝負。公僕としての自覚をもって授業で向き合えることを期待しています。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	必修	科目名	小論文	担当者	津覇 実明	授業時数	30	配当年次 学期	2年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	中央大学法学部法律学科卒業。文字・活字文化大賞審査委員長。数多くの作文・意見文の審査経験を活かして「好ましい」文章の作成方法と高く評価されるポイントを指導して行きたい。						
卒業要件との 関連性	公務員・教養本科の進級・卒業基準(1)、(3)に関連								
授業の 到達目標	様々な課題を自分事としてとらえ論理的に考察し相手に伝わるような文章の作成。								
授業概要	課題に対して自分の考えをまとめたうえで発言する。そして他者に伝える工夫を通して構成する力の要請。								
授業 計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )	第1回 小論文のルール 第2回 時事問題 第3回 経済問題 第4回 政治問題 第5回 沖縄問題その1 第6回 沖縄問題その2 第7回 沖縄問題その3 第8回 過去問演習 第9回 過去問演習 第10回 過去問演習 第11回 予想問題 第12回 予想問題 第13回 予想問題 第14回 行政問題 第15回 行政問題 第16回 自己アピール文								
テキスト	指定教科書								
参考資料	講師がその都度プリントで配布する。								
授業の評価 方法・基準	小論文に取り組む態度並びに提出された小論文の内容。								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ									
受講生への メッセージ	真剣勝負。自己の発言・言葉に責任を持ち他者と向き合う。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	選択	科目名	公務員試験対策 (小論文)Ⅲ	担当者	津覇 実明	授業時数	30	配当年次 学期	3年・後期
実務教員	○	実務教員の紹介	中央大学法学部法律学科卒業。文字・活字文化大賞審査委員長。数多くの作文・意見文の審査経験を活かして「好ましい」文章の作成方法と高く評価されるポイントを指導して行きたい。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	大学生と同等の考察力並びに説得力のある文章力の育成。								
授業概要	課題に対して各自の見解を披歴してもらい対話的に授業を構成する。論点が明確になった時点で小論文の作成に着手し、その後再び提出された小論文を素材に議論する。								
授業計画及び時間外学習(時間)	第1回 小論文のルール 第2回 時事問題 第3回 経済問題 第4回 政治問題 第5回 沖縄問題その1 第6回 沖縄問題その2 第7回 沖縄問題その3 第8回 過去問演習 第9回 過去問演習 第10回 過去問演習 第11回 予想問題 第12回 予想問題 第13回 予想問題 第14回 行政問題 第15回 行政問題 第16回 自己アピール文								
テキスト	指定教科書								
参考資料	補助プリント								
授業の評価方法・基準	授業に参加する態度＝読む・話す・聞く・書く等の活動を通して総合的に評価する。								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	自分の考えをまじめに表明してきびしく評価しあうことをくりかえします。クリティカルシンキングを育成します。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	選択	科目名	公務員試験対策 (小論文) IV	担当者	津覇 実明	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
実務教員	○	実務教員の紹介	中央大学法学部法律学科卒業。文字・活字文化大賞審査委員長。数多くの作文・意見文の審査経験を活かして「好ましい」文章の作成方法と高く評価されるポイントを指導して行きたい。						
卒業要件との関連性	公務員・教養本科の卒業基準(1)と(3)に関連								
授業の到達目標	大学生と同等の考察力並びに説得力のある文章力の育成。								
授業概要	課題に対して各自の見解を披歴してもらい対話的に授業を構成する。論点が明確になった時点で小論文の作成に着手し、その後再び提出小論文を素材に議論する。								
授業計画及び時間外学習(時間)	第1回 小論文のルール 第2回 時事問題 第3回 経済問題 第4回 政治問題 第5回 沖縄問題その1 第6回 沖縄問題その2 第7回 沖縄問題その3 第8回 過去問演習 第9回 過去問演習 第10回 過去問演習 第11回 予想問題 第12回 予想問題 第13回 予想問題 第14回 行政問題 第15回 行政問題 第16回 自己アピール文								
テキスト	指定教科書								
参考資料	補助プリント								
授業の評価方法・基準	授業に参加する態度＝読む・話す・聞く・書く等の活動を通して総合的に評価する。								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ	自分の考えをまじめに表明してきびしく評価しあうことをくりかえします。クリティカルシンキングを育成します。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	憲法	担当者 (サポート)	吉田 直正 (儀武 玄秀)	授業時数 (時間)	60	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学通信教育学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	国のしくみとしての憲法を理解することを第一の目標にする。本来西洋諸国で成立した概念であることから、西洋近代の歴史を踏まえた上で、わが国の憲法(日本国憲法はその重要な部分)の全体像を把握すること。日々の憲法関連報道に対する各自の判断基盤を確立すること。こうしたことを通じて、法的思考力の涵養を到達目標とする。								
授業概要	憲法とは、明治維新前後に我が国にもたらされたConstitutionの訳語として明治10年代半ば以降定着することになる言葉で、その本来の意味は、「国のしくみ」である。この授業は、そうした国のしくみを理解するためのものである。								
授業計画及び時間外学習(時間)	教科書をよく読み、基本的な知識を整理し理解することは必要最少限のことであるが、それ以外に、日々報じられる憲法関連のニュースに興味をもち、何が問題であるのかを考えることが必要である。そうするとおのずから様々な情報や資料を参照することに繋がり、また今日では、ネットを通じて容易にそれが可能になっている。								
テキスト	通信授業科目用テキスト 『憲法』								
参考資料	『日本国憲法入門』 小林幸夫・吉田直正編著 玉川大学出版部								
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	民法総則①	担当者 (サポート)	尾崎 三芳 (仲嶺 望)	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	1. 総則中に登場する基本概念を理解すること 2. 総則に規定されている諸制度の要件・効果を把握すること								
授業概要	民法第1編(1条～174条の2)の民法総則と呼ばれる分野を学習します。六法を手元に置いて、概説書や判例集を読み進めるといふ地道な作業が必要になります。そのうえで、レポートを提出し、科目終末試験に合格すれば単位が認定されます。								
授業計画及び時間外学習(時間)	最新の六法を参照しながら教科書等を読み、意義・要件・効果に留意してノートを作成すること。判例・学説が対立している問題については、まず判例の考え方を十分に理解したうえで、学説との違いを明らかにすること。								
テキスト	通信授業科目用テキスト『民法総則』								
参考資料	『民法総則 第7版(民法講義I)』(近江幸治, 成文堂 : 2018) 『民法の基礎I 総則 第4版』(佐久間 毅, 有斐閣 : 2018) 『民法総則 <第9版> (法律学講座双書)』(四宮 和夫, 弘文堂 : 2018) 『民法判例百選I 総則・物権 第8版(別冊ジュリスト237号)』(有斐閣 : 2018)								
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	私法入門 I (財産法)、物権法、債権法総論、債権法各論								
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	民法総則②	担当者 (サポート)	武田 宗久	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(面接授業科目)(近畿大学本校スクーリング)								
授業の 到達目標	1)民法総則の基礎的知識の修得 2)修得した知識をもとに具体的な事例を処理する能力の修得								
授業概要	<p>この授業では、現代の市民が社会生活をおくる中で最も基本となる法律である民法のうち、民法総則について取り上げます。それぞれの制度の意義・趣旨などを正確に理解し、具体的な事例に対応できることを意識して講義を進めていきます。なお、民法は令和2年4月1日に債権法を中心に大きく改正されますので、改正後の内容で講義を行うこととします。</p> <p>※ 受講にあたっての留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法改正がなされていますので、最新の六法を必ず講義に持参してください。</li> <li>・講義が始まる前に、条文を確認しつつ、教科書を一読しておいてください。内容を完全には理解できなくてもどのようなことを学ぶのかをイメージしておくだけで、格段に講義の理解度が高まります。</li> <li>・教科書(下記2冊)とノート(ルーズリーフ等も可)を必ず持参してください。</li> </ul>								
授業計画及び時間 外学習 (時間)	<p>第1回 はじめに 民法入門 民法総則を学ぶための基礎知識 予習内容:教科書の第1章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第2回 意思表示・法律行為(1) 法律行為の意義・意思の不存在 予習内容:教科書の第2章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第3回 意思表示・法律行為(2) 瑕疵ある意思表示 予習内容:教科書の第2章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第4回 法律行為の効力 法律行為の効力 予習内容:教科書の第3章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第5回 権利の主体としての人 権利の主体としての人(自然人を中心に) 予習内容:教科書の第4章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第6回 代理(1) 有権代理・無権代理 予習内容:教科書の第5章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第7回 代理(2) 表見代理 予習内容:教科書の第5章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第8回 時効(1) 時効総説・消滅時効 予習内容:教科書の第6章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第9回 時効(2) 取得時効・時効の完成猶予及び更新等 予習内容:教科書の第6章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第10回 法人(1) 法人の意義 予習内容:教科書の第7章を精読する。(60分) 復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第11回 法人(2)</p>								

	<p>法人に関する諸問題  予習内容:教科書の第7章を精読する。(60分)  復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第12回 私権の行使に対する制限  いわゆる一般条項  予習内容:教科書の第8章を精読する。(60分)  復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第13回 民法の基本原則  民法の基本原則  予習内容:教科書の第9章を精読する。(60分)  復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第14回 まとめ(1)  事案分析の方法など  予習内容:これまでの講義の内容を復習する。(90分)  復習内容:授業中に指定する用語の意義をまとめ、演習問題を解く。(90分)</p> <p>第15回 まとめ(2)  全体のまとめ</p>
テキスト	『民法総則[補訂版] NBS (日評ベーシック・シリーズ)』(原田 昌和, 日本評論社 : 2018) 『民法演習サブノート210問』(沖野眞已, 弘文堂:2018)
参考資料	講義で指定する。
授業の評価方法・基準	単位修了試験100%
資格試験	
関連科目・次のステージ	私法入門1(財産法), 私法入門2(家族法), 物権法, 債権法総論, 債権法各論, 親族・相続法など
受講生へのメッセージ	

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	行政法総論	担当者 (サポート)	林 晃大 (儀武 玄秀)	授業時数	60	配当年次 学期	3年・後期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	履修者は、本講義を通じて、①行政活動の行為形式についてその法的性質の相違を説明し、②行政法上の論点について学説・判例に沿って整理し、③公益実現と国民の権利利益の保護のために行政法が果たすべき役割を認識することができるようになる。								
授業概要	現代行政の対象とする領域は、警察、租税に始まり、都市整備、資源エネルギー、医療、福祉、教育、環境など拡大する一方であり、それゆえに今日ではこのような広がりを見せる行政に対応すべく、膨大な量の行政法が制定されている。公益の実現を目的とするこれら多種多様な行政法に共通する法理論を体系化し、行政活動が法によりいかにコントロールされているのかを解明していく。さらに、行政活動により権利利益を侵害された私人を救済するための法システムについても検討していく。								
授業計画及び時間外学習(時間)	テキストのみでは十分に理解できない内容については、参考文献を利用して補完することが求められる。さらに、近年の判例や新規立法については、判例集や法令集にも目を通すように心がけてほしい。								
テキスト	通信授業科目用テキスト 『行政法総論』								
参考資料	『行政法概説I ― 行政法総論 第6版』(宇賀 克也, 有斐閣 : 2017) 『行政法概説II ― 行政救済法 第6版』(宇賀 克也, 有斐閣 : 2018)								
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	民事訴訟法	担当者 (サポート)	渡辺 森児 (新垣・丸野)	授業時数	60	配当年次 学期	3年・後期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の 到達目標	民事訴訟の制度や手続に関する基本的な知識や考え方を習得し、それを確実なものにすることを学習・教育目標とする。そして、この学習・教育目標を達成するために最も重要なのは、「なぜ、そうした制度や手続が設けられているのか」を常に問うことであり、その問いに対する答えを自ら考えることである。こうした態度が身につくことを、この授業の到達目標とする。								
授業概要	授業では、訴えの提起から判決の確定に至るまで、判決手続を概観しながら、手続全般に関する法原則や法理論を学習する。学習方法としては以下のことが重要である。すなわち、教科書の本文を読んで、まず、民事訴訟の制度や手続の「基本事項」について、十分に理解をする必要がある。次に、この理解を確実なものとするため、さらには応用力を涵養するため、教科書に紹介している「重要判例」(簡単な事案と判旨を説明)に目を通しておくことが望まれる。								
授業計画及び 時間外学習 (時間)	面接授業は実施しない。  教科書において紹介されている重要判例は、『民事訴訟法判例百選 第5版』(高橋宏志ほか編、有斐閣)に掲載されている判例の一部である。民事訴訟法について理解を深めるために、これ以外の判例についても、同書を参照しながら学習することが望まれる。								
テキスト	通信授業科目用テキスト 『民事訴訟法』								
参考資料	高橋宏志ほか編『民事訴訟法判例百選 第5版』、有斐閣								
授業の評価 方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ	裁判法、民法総則、商法								
受講生への メッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	国際政治学	担当者 (サポート)	永山 博之 (阿波根 剛史)	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第二類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	変化する国際関係を理解するために、国際政治の基本構造、歴史的変化、戦争、通商、国際機構などの国際関係における道具立てを把握することが必要です。その上で、日常的に接するニュースに登場する国際関係上の事件を、それらの国際政治の仕組みを組み合わせ、分析能力を身に付けることが求められます。基本的な構造と仕組みの理解を、情報摂取と結びつけて、自分の考えを持てるようになってください。								
授業概要	今日の変化の激しい社会において、国際社会の構造がどのようになっており、そこで起こる事件がどのような仕組みの中で起きているのかという問題を理解することはきわめて重要です。この科目を履修することを通じて、国際政治の基本的な仕組みと、そこで起こっている事件を結びつけて理解する能力を持ってほしいと思います。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>まず、新聞を読んでください。基本的に全国紙(朝日、読売、毎日、日経、産経)のすくなくとも一つ、できれば二紙を読むことが望ましいです。テレビニュースはそれほど見る必要はありませんが、CNNやBCCが視聴できる人はそれを見るのが望ましいと思います。</p> <p>日本のニュースであれば、NHKBS1の夜10時からの海外ニュースがよいと思います。世界で何が重要な問題になっているかをまったく知らなければ、国際政治を学んでも、考える材料がありません。継続的にニュースを摂取する習慣をつけてください。</p> <p>また、最新の話は、参考文献で補充してください。授業内容と設題や試験の内容も、これに沿っています。</p> <p>第1回 国際政治とは何か  第2回 国際政治の歴史  第3回 国際政治学の理論  第4回 国内政治と外交政策決定  第5回 国際制度  第6回 国家と非国家主体  第7回 安全保障Ⅰ(伝統的安全保障)  第8回 安全保障Ⅱ(新しい安全保障)  第9回 人権と民主化  第10回 国際政治経済  第11回 国際協力と国際政治  第12回 地域環境と国際政治  第13回 移民・難民問題と国際政治  第14回 国際社会の展望</p>								
テキスト	通信授業科目用テキスト『国際政治学』								
参考資料	永山博之他『国際政治学への扉』(一藝社：2017)								
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	電子計算機概論①	担当者 (サポート)	矢野 芳人 (新川 涼子)	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第二類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の 到達目標	前半では、人間は数をどう認識し、そして計算の必要性が生じ、その能力を高めてきたか。そのための道具/機械がどう発達してきたか。その延長としてのコンピュータをとり上げ、その歴史・原理・機能・特質を理解します。後半では、コンピュータに仕事を行わせるための命令/指示である「プログラム」を学習します。初心者用会話型言語である「BASIC」の習得によって理解を深めます。								
授業概要	コンピュータの利用は企業の生産・物流・販売・会計などの基幹業務のシステム化のみならず、本来人間資質と考えられていた意思決定分野への適用も一般化しつつあります。「産業革命」は人間の筋肉労働を動力機械に置き換えたが、コンピュータは我々の知的労働の一部をも代行しうるものです。その意味で「第二の産業革命」とも言われます。								
授業計画及び 時間外学習 (時間)	テキスト後半のプログラム言語に関してはスクーリング(実習)が重要ですが、その直前(フローチャート)までは特定のプログラム言語に関係なく、コンピュータ処理に共通なものなので、テキストで理解を深めてください。								
テキスト	通信授業科目用テキスト 『電子計算機概論』								
参考資料	『文科系のためのコンピュータ総論』(田中弘、共立出版:2005)								
授業の評価 方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ									
受講生への メッセージ	この分野はまさに日進月歩なので、日ごろから新聞などに掲載されているコンピュータ関連記事に関心を持ってほしい。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	親族・相続法② (メディア授業)	担当者 (サポート)	松久 和彦	授業時数	30	配当年次 学期	3年・後期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第二類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	女性の自立と家族の多様化また科学技術の進歩等により、今日の家族をめぐる状況の変化は著しく、これまで予想されていなかった新たな問題が次々と生じています。また高齢社会とよばれる現在において、相続に関する紛争は増加しています。本講義を受講することにより、受講生は、家族に関する法制度の基本的な知識を得るきっかけを得ることが出来ます。								
授業概要	本講義では、民法典第4編親族・第5編相続を中心に講義を行います。現在の法制度とその基本となる考え方を学習します。講義では、条文や制度がどうなっているのか、なぜそうなっているのかを中心に解説します。家族法の基礎知識、主要な裁判例を知ること、その背景にある考え方を理解することで、現実にかかる問題について、どう解決するのか、どのように解決すべきなのかを学習します。講義には、必ず六法・教科書を持参して、その都度参照するようにしてください。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<b>第1回 家族法総論</b> 講義の注意点、授業の進め方等について説明する。また、家族法の意義、基本的な概念(親族、血族、親等など)について解説する。 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分) 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)								
	<b>第2回 婚姻の成立</b> 婚姻の成立要件について解説する。また、婚姻届の問題点についても触れる。 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分) 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)								
	<b>第3回 婚姻の効力</b> 婚姻の効果について解説する。不貞の相手方の不法行為責任などの事例を素材にして、夫婦間の義務について理解する。また、夫婦別姓の問題にもふれる。日常家事債務の連帯責任などの事例を題材にして、夫婦の財産関係における問題点について理解する。 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分) 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)								
	<b>第4回 離婚の成立</b> 離婚の要件、さらに離婚制度について解説する。有責配偶者からの離婚請求などの事例を題材にして、離婚法の目的や離婚制度の問題点について理解する。 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分) 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)								
	<b>第5回 離婚の効果</b> 財産分与制度、離婚の際の親権者・監護者指定について解説する。子の親権者・監護者指定の基準、面会交流、養育費について、近時の実務や裁判例の展開を理解し、問題点を検討する。 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分) 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)								
	<b>第6回 実親子関係</b> 法律上の実親子関係確定にかかわる諸制度のうち、嫡出推定、嫡出否認について解説する。「推定の及ばない子」や親子関係存在確認の訴えなどの事例を題材にして、実親子関係確定に関する基本的な知識を理解する。さらに、認知、準正について解説する。 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分) 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)								
	<b>第7回 養親子関係</b> 法律上の親子関係を創設する養子制度について、特に普通養子縁組の要件と未成年養子の場合の特例、特別養子縁組の要件と効果に関して解説する。養子制度の現状を理解し、問題点を検討する。 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分) 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)								
	<b>第8回 子どもの保護</b> 親権の内容、親権の喪失等について解説する。親権者の利益相反行為などを題材に、これらの法制度の現状と問題点を理解する。また児童虐待などの問題に対する法的な対応について、法制度の現状と問題点を解説する。 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分) 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)								
	<b>第9回 高齢者への援助</b> 成年後見制度の内容、さらに扶養義務の内容とその発生要件について解説する。高齢社会におけるこれらの制度のあり方について考える。 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分) 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)								
	<b>第10回 相続法の概略</b>								

相続法の意義、基本的な概念(相続人、相続分など)、法定相続の基本原則などについて解説する。  
 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分)  
 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)

第11回 相続財産・相続財産の管理  
 相続財産の種類・範囲、相続財産の管理などについて解説する。  
 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分)  
 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)

第12回 相続分  
 法定相続分、指定相続分、具体的相続分、特別受益、寄与分、特別寄与者について解説する。  
 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分)  
 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)

第13回 遺産分割  
 遺産分割をめぐる法的問題点を解説する。  
 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分)  
 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)

第14回 遺言  
 遺言制度の意義と方式、方式に関する実務の傾向、遺言の撤回、遺言執行者の役割、特定財産承継遺言について解説する。  
 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分)  
 復習内容:教科書の該当頁を読み返して、講義内容を整理し、理解すること(90分)

第15回 遺留分  
 遺留分制度の意義、遺留分の算定方法、遺留分侵害額請求権の法的性質や行使方法などについて解説する。  
 予習内容:教科書の該当頁を読み、受講する上で必要となる知識を確認しておくこと(90分)

テキスト	『ユーリカ民法5 親族・相続』(小川 富之, 法律文化社 : 2019)
参考資料	『家族法 [第5版](新法学ライブラリー)』(二宮 周平, 新世社 : 2019) 『民法判例百選3 親族・相続 [第2版](別冊ジュリストNo.239)』(有斐閣 : 2018)
授業の評価方法・基準	メディア単位修了試験 100% 試験終了後に「試験の要点と解説」を配布します。
資格試験	
関連科目・次のステージ	私法入門、民法総則をはじめとする民事法関連科目
受講生へのメッセージ	

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	労働法② (メディア授業)	担当者 (サポート)	森岡 利行	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第二類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	労働基準法を中心に、労働関係法令の基礎的な内容を理解するとともに、具体的な事例や裁判例を通し、法的な論点整理ができるようになること、さらに、実際の社会の中で企業や労働者に労働法がどのように関わっているのか、また何が問題となっているのかを理解し、論理的思考の育成と法的解決方法を習得することを目指します。								
授業概要	労働基準法を中心とした労働関係法令について、その基礎的な内容の理解を目指します。授業では、テキストを参照しながら、法令等の概要の解説に加え、具体的な事例や裁判例の検討も行い、法的な論点の整理を行います。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>第1回 労働法とは 労働法の全体像と労働法を学ぶ意義について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第2回 労働契約と労働条件(1) 労働契約の特徴と労働契約の当事者である使用者と労働者について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第3回 労働契約と労働条件(2) 内定・採用の法的取り扱い、労働条件の決定に関する法令等について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第4回 就業規則と企業秩序 配転、出向、懲戒などの「人事」に関する規律と、就業規則に関する法令等について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第5回 労働時間、休憩、休日 労働時間、休憩、休日などの基本的な労働条件に関する法令等について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第6回 賃金 賃金の決定方法、割増賃金の計算方法などに関する法令等について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第7回 休暇、休業 年次有給休暇、産前産後休業、育児介護休業などに関する法令等について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第8回 労働安全衛生、労働災害(1) 安全衛生に関する使用者の責務と労働災害についての補償に関する法令等について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第9回 労働安全衛生、労働災害(2) 過重労働、メンタルヘルスに関する法令等、ハラスメント問題について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第10回 均等待遇 性別、年齢、障害、雇用形態などの差別禁止・均等・均衡取扱いに関する法令等について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第11回 契約解消 退職、解雇、雇止めなど、労働契約の解消に関する法令等について解説します。 予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分) 復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p>								
	第12回 非正規雇用								

	<p>派遣、パートタイマー、契約社員などの非正規雇用に関する法令等について解説します。  予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分)  復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第13回 労働組合(1)  労働組合の権利、労働協約、不当労働行為に関する法令等について解説します。  予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分)  復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第14回 労働組合(2)  団体交渉、組合活動、争議行為に関する法令等について解説します。  予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分)  復習内容:教科書と参考文献で、授業で分からなかった事項について確認すること。(60分)</p> <p>第15回 労働紛争・授業総括  労使紛争の解決に関する法令等について解説します。  第1回から第14回までの講義内容についての総復習を行います。  予習内容:教科書の関連箇所を通読すること。(30分)</p>
テキスト	『労働法 第3版(有斐閣ストウディア)』(小畑 史子, 有斐閣 : 2019)
参考資料	『労働法 第12版(プリマ・シリーズ)』(安枝 英紳, 有斐閣 : 2014) 『労働法(法律学講座双書)』(菅野 和夫, 弘文堂 : 2019)
授業の評価方法・基準	メディア単位修了試験 100%
資格試験	
関連科目・次のステージ	
受講生へのメッセージ	

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	刑法各論①	担当者 (サポート)	辻本 典央 (儀武 玄秀)	授業時数	30	配当年次 学期	3年・後期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第二類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標									
授業概要	刑法各論には、通信授業と面接授業があります。通信授業では、教科書を自分で勉強して、設題に対するレポートを提出していただきます。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>刑法各論では、「どのような犯罪(類型)があるか」について勉強することが中心になります。その犯罪類型の主なものとして、次のようなものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生命・身体に対する罪:殺人、傷害、暴行、業務上過失致死傷、墮胎、遺棄</li> <li>② 人格・自由に対する罪:住居侵入、強姦、業務妨害、名誉棄損</li> <li>③ 財産に対する罪:窃盗、強盗、詐欺、恐喝、背任、横領、盗品関与、器物損壊</li> <li>④ 社会の利益に対する罪:放火、文書等偽造、わいせつ物頒布等</li> <li>⑤ 国家の利益に対する罪:職権濫用、贈収賄、証拠隠滅等、偽証成績</li> </ul>								
テキスト	通信授業科目用テキスト 『刑法各論』								
参考資料									
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	刑法各論②								
受講生へのメッセージ	レポートは、設題に対して的確な内容でなければ、合格基準に達しません。設題の趣旨を理解し、内容を十分吟味して執筆してください。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	英語読解	担当者 (サポート)	松田 聡太郎 (比嘉 二衣菜)	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 外国語科目 必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	実用的に英語が読めるレベルに達するには、このテキスト以外にたくさんの英文を読むことが必要です。自分にとって比較的安易だと思える英文を、出来るだけ辞書を引かないで読んでみてください。(辞書を引くのに時間がかかって英語を勉強するのが嫌になることが多いからです。繰り返し出てくる語で、どうしても意味をはっきりさせたい時に初めて辞書で調べましょう。)								
授業概要	<p>テキストは、Part I 中学レベル、Part II 高校レベル、Part III 大学・一般レベルの英語と、三つのレベルに分けてあります。目標は、実用的に英語が読めるということですので、大学・一般レベルに新聞・雑誌・小説・評論の英文を集めています。このレベルの英文が読めるようになればいいということです。それぞれのレベルを読み、どの程度かを確認しながら、最後のレベルに挑戦してください。</p> <p>普通に自分だけ読む時には、大雑把に読み飛ばして大体の内容がわかればすみますが、試験では正確に理解できているかどうか問われますので、テキストの英文については文法的にも内容的にも正確に理解するように心掛けてください。</p>								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>外国語に強くなるには、とにかくたくさんやる以外に方法はありません。読めるようになるにはたくさん読むこと、聞き取れるようになるにはたくさん聞くことです。そのためには労を惜しまず、少しの時間でも毎日かけるしかありません。それが努力というものでしょう。</p> <p>“There is no royal road to learning.”</p>								
テキスト	通信授業科目用テキスト 『英語読解』								
参考資料									
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	英語総合								
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	中国語基礎	担当者 (サポート)	飯塚 君穂 (林 方劉)	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 外国語科目 必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	中国語の学習には、文法の理解は比較的難しくありませんが、初心者にとって発音と声調という高低のアクセント(四声)の理解は決して容易ではありません。したがってテキストを通して、現代中国語および現代中国の事情を理解して、「聞く」「話す」「読む」「書く」のため、正確な発音、基本的な語彙、文法などを身につけることを目標とします。								
授業概要	<p>中国語は世界において使用人口の最も多い言葉であり、日本人にとっても親しみやすい言葉だと思います。中国は日本の26倍の広さを持って、また13億の人口があり、56の民族を有する多民族国家です。もちろん、言葉の種類も非常に多いです。</p> <p>約7つの方言、北方語、呉語(江蘇、浙江)、湘語(湖南)、贛語(江西)、客家語(広東、広西から福建の一部にまたがる)、閩語(福建)、粵語(広東)があります。これらの方言は外国語のようにまったく通じないほど違います。しかし、この7つの方言の中では、全人口の70%の人が北方語を使っていると言われています。</p> <p>この北方語の語彙を基礎とし、北京語の発音を標準音として、また文法は現代口語文で書かれた代表的著作を標準と定めたのが全国共通の「普通話」です。つまり、北京の発音で北方の言葉話すということです。この「普通話」が言わば標準語にあたります。</p> <p>中国語も日本語も漢字を用いて表記されるので、日本人にとって、中国語は他の外国語よりわかりやすいと考えられます。日本人の漢字に対する知識は中国語を学ぶうえで大きな手助けとなることは事実ですが、一方、それが落とし穴になることもあります。</p> <p>つまり、日本語と同じ漢字でも意味が違うものもありますので、中国の歴史、社会、風俗、習慣、衣食住などよく理解し、中国と日本の違いを把握することが中国語学習の基本です。</p> <p>中国語の特徴は大きく分けると、3つあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一つの音節の中に必ず母音があります。また、母音が単独で使うことができます。</li> <li>2. 一つの音節は、一つの漢字で表します。どの音節にも声調符号がついていて、声調が違えば意味も異なります。</li> <li>3. 文法は語順と虚詞(実際上の意味を持たずに、文を構成するために用いられる品詞のこと)とを主要な手段としているため、語の順序を変えると意味が異なります。</li> </ol> <p>中国の文字については、かつて中国では「繁体字」(画数の多い複雑な字体)を使用(台湾・香港はいまも)していましたが、現在では「簡体字」(簡略化した字体)を正式に使用しています。「簡体字」は一部の日本語の略字と同じですが、大いに異なっていますので注意を要します。</p> <p>中国語は面倒な活用を覚えることはありませんので、入門しやすい言葉です。ただ漢字になれているため、音声を軽視しがちになるので、この点に注意しなければなりません。また、中国語は声調が語の意味を決める重要な働きをしていますので、大切なポイントとなります。</p>								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>外国語を学習する上で一番基本となる参考書は、何といても辞書に他なりません。最初から語彙の多い大型辞書を買うよりも、分かりやすい日中・中日辞書から勉強を始めるのがいいでしょう。</p> <p>また、試験やレポートについてはあくまでも自分なりに整理や作成し、他人が書いたものをそのまま写さないよう注意してください。</p>								
テキスト	通信授業科目用テキスト 『中国語基礎』								
参考資料									
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	英語総合 (学外スクーリング授業)	担当者 (サポート)	新田 香織	授業時数	15	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 外国語科目 必修科目(面接授業科目)(学外スクーリング)								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 語彙: 基本的な1,000語を確認。理解だけでなく、使用できるようにする。</li> <li>2. 文法: 基本的な文法を確認し、単文から重文、複文へと発展させる。</li> <li>3. 読解: フレーズ訳の練習を行い、速読速解にチャレンジする。</li> <li>4. 作文: 与えられたトピックについて、15分で100語程度の文章を書けるようにする。</li> <li>5. 聴解: 発音ルールを学び、日常会話レベルは内容を理解できるようにする。</li> <li>6. 会話: 発音ルールを学び、自然な発音で発話、応答できるようにする。</li> <li>7. 態度: 積極的に英語で発言する態度を身につける。</li> </ol>								
授業概要	<p>概要: 明確な目的をもった平易な英文・英会話を用いて、基礎的な英文法・発音ルールを確認・復習し、英語力の基礎を養成する。受信型だけでなく、発信型能力である「スピーキング」「ライティング」の能力向上を目指す。</p> <p>方法: グループワーク、ペアワークを取り入れ、お互いに学び合いながら知識、スキルの定着を図る。</p>								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>第1回 Introduction How many words do you know? How many words can you use? Why is it so difficult to communicate with English-speaking people? What do you want to talk about in English? What do you have to know to use English? 予習内容: 発音ルール1 (30分) 復習内容: 語彙と文法1 (60分)</p> <p>第2回 発音ルール1と日常会話表現1 1. 英語の子音、母音(1) 2. 挨拶表現 予習内容: 語彙と文法2 (30分) 復習内容: 発音ルール1、挨拶表現、語彙と文法2 (60分)</p> <p>第3回 発音ルール2と日常会話表現2 1. 英語の子音、母音(2) 2. あいづち表現 予習内容: 語彙と文法3 (30分) 復習内容: 発音ルール2とあいづち表現 (60分)</p> <p>第4回 発音ルール3と日常会話表現3 1. 英語の子音、母音(3) 2. 音の連結(リエゾン、エリジョン、アシミレーション) 3. 毎日の習慣 予習内容: 尊敬する人物を英語で紹介(60分) 復習内容: 発音ルール3、毎日の習慣(60分)</p> <p>第5回 発音ルール1~3復習と定着 尊敬する人物を紹介しよう! 1. 英語の子音、母音、音の連結の復習 2. 尊敬する人物について話そう! 3. 相手の話にあいづちを打とう。 予習内容: 行ってみたい国について調べよう。(60分) 復習内容: 発音ルール1~3、あいづち、語彙と文法1~3 (60分)</p> <p>第6回 発音ルール4と日常会話表現4 1. リズムと母音の長さ 2. 行ってみたい国はどこ?なぜ? 3. できるだけたくさんの質問をしよう。 予習内容: 行ってみたい国について1分スピーチの準備(60分) 復習内容: 発音ルール4と質問の仕方、語彙と文法4 (60分)</p> <p>第7回 発音ルール5と日常会話表現5 1. ピッチとイントネーション 2. スピーチ 3. 質問と答え方 予習内容: 失敗体験を英語で話そう。(60分) 復習内容: 発音ルール5と質問の仕方、答え方、語彙と文法5 (60分)</p> <p>第8回 発音ルール6と日常会話表現6 1. doitaabooのルール 2. 動詞プラスdoitaabooを使ってみよう。 3. 失敗体験を共有しよう。 予習内容: 失敗体験1分スピーチ準備(60分) 復習内容: 発音ルール4~6、語彙と文法4~6 (60分)</p> <p>第9回 発音ルールの総復習 簡単な語彙と文法でどンドン話そう。理解した理論や覚えた知識を使ってみよう。日本語で言えることを英語でも言えるように! 予習内容: ずっと続けていることについて話してみよう。(60分) 復習内容: 発音ルール、語彙や文法をもう一度確認。(60分)</p> <p>第10回 英語の歌 英語の歌詞の発音をしてみよう。ずっと続けていることについて話してみよう。 予習内容: ずっと続けていることについての1分スピーチ準備(60分) 復習内容: 英語の歌詞を自然な発音で歌う、または音読する練習(30分)</p> <p>第11回 英語のドラマ 英語のドラマのせりふを聞き取ってみよう。1分スピーチと質問 予習内容: 有名人スピーチ1の内容を理解しよう。(60分) 復習内容: ドラマのせりふの練習(30分)</p> <p>第12回 有名人のスピーチ1をまねてみよう。 習得した知識(発音、語彙、文法など)を活用しよう。人を惹きつけるスピーチとは? 予習内容: 有名人スピーチ2の内容を理解しよう。(60分) 復習内容: 歌、せりふ、スピーチの特徴(60分)</p> <p>第13回 有名人のスピーチ2をまねてみよう。 習得した知識(発音、語彙、文法など)を活用しよう。人を惹きつけるスピーチとは? 予習内容: 有名人スピーチ3の内容を理解しよう。(60分) 復習内容: スピーチの語彙や文法(60分)</p> <p>第14回 有名人スピーチ3をまねてみよう。 習得した知識(発音、語彙、文法など)を活用しよう。人を惹きつけるスピーチとは? 予習内容: 1分スピーチ準備(60分) 復習内容: 発音、語彙、文法、スピーチ作成法(60分)</p> <p>第15回 Let's talk about what you are interested in. 1分スピーチと活発な質疑応答にチャレンジ! 予習内容: なし 復習内容: 試験対策(120分)</p>								

	<p>発音ルールの理解と会話・スピーチ表現など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発音ルールに従って、発音できるかどうか。</li> <li>2. 基本的な発音記号を使えるかどうか。</li> <li>3. 自分の言いたいことを表現するのに適切な文法と語彙が使えるかどうか。</li> <li>4. 自然なスピードの英語が聴きとれるかどうか。</li> </ol>
テキスト	プリント配布
参考資料	
授業の評価方法・基準	発表、議論 40% 小テスト、単位修了試験 40% 課題提出 20%
資格試験	
関連科目・次のステージ	英語表現
受講生へのメッセージ	

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	英語総合A (メディア授業)	担当者 (サポート)	大村 吉弘	授業時数	15	配当年次 学期	3年・後期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 外国語科目 必修科目(面接授業科目)(メディア授業)								
授業の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者は、平易な日常会話が理解できる。</li> <li>・受講者は、音声上の規則を理解できる。</li> <li>・受講者は、日常会話において場面に応じた短い表現を使うことができる。</li> <li>・受講者は、比較的平易な英文を一定の速度で読み、概要を理解することができる。</li> <li>・受講者は、初歩的な文法事項を理解し、1500～2000語程度の語彙を理解できる。</li> </ul>								
授業概要	<p>伝達手段としての英語に必要な4技能(読む、書く、聞く、話す)の基礎力の育成を目標とする。リスニングやリーディングを重視し、英語の基礎力を育成する。また基礎的な文法・語彙知識の習得を目指し、比較的読み易いまとまった内容の文章を理解できる英語力を身につける。15回からなるユニットを学習し、毎回リスニング、文法、リーディングに焦点を当てた学習を行う。難易度の高い応用問題や難しいところは、繰り返し学習することが望ましい。また、極端に受講時間の少ない受講生は、単位を認定しない事がある。</p>								
授業 計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )	<p>第1回 UNIT01 Pleased to meet you. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第2回 UNIT02 Do you remember me? 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第3回 UNIT03 I spoke to Ms. Hayashi yesterday. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第4回 UNIT04 When does the meeting start? 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第5回 UNIT05 Can you meet me at the airport? 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第6回 UNIT06 Feel free to ask me anytime. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第7回 UNIT07 I'm thinking about quitting my job. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第8回 UNIT08 I'll give her your message. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第9回 UNIT09 I haven't received the latest figures. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第10回 UNIT10 The cafeteria is closed today. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第11回 UNIT11 We expect higher sales in China. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第12回 UNIT12 I'd like to check in. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第13回 UNIT13 How about going to the theater? 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第14回 UNIT14 I like to travel a lot. 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>第15回 UNIT15 What are your plans for the future? 予習内容: 単語、イディオムの確認、本文のリスニング(45分) 復習内容: 文法事項の復習、本文の音読(60分)</p> <p>メディア単位修了試験</p>								
テキスト 参考文献	『Let's Read Aloud & Learning English!』(角山照彦、成美堂) 高校時代に使用していた文法の参考書が手元があれば、参照してください。								
授業の評価 方法・基準	メディア単位修了試験 100%								
関連科目・ 次のステージ	英語総合B								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	中国語読解A (メディア授業)	担当者 (サポート)	阿部 慎太郎	授業時数	15	配当年次 学期	3年・後期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 外国語科目 必修科目(面接授業科目)(メディア授業)								
授業の到達目標	以下のことができるようになるよう学習します。 ①中国語の基本的な発音ができる。 ②簡単な日常会話が聞いて話すことができる。								
授業概要	中国語の基本的な発音及び簡単な会話表現を学びます。 メディア単位修了試験は日→中訳問題があり、中国語(簡体字)で入力が必要です。事前にPCには中国語(簡体字)のフォントが打てるように設定し、中国語で入力できるように練習しておください。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>第1回 第1課 声調、単母音 中国語の基本発音である「声調」及び「単母音」について                      予習内容:教科書p7-9を読んで、一通り音声を聞く。(20分) 復習内容:教科書p7-9の音声を繰り返し聞いて発音する。(30分)</p> <p>第2回 第2課 子音 中国語の基本発音である「子音」について                      予習内容:教科書p10-12を読んで、一通り音声を聞く。(20分) 復習内容:教科書p10-12の音声を繰り返し聞いて発音する。(30分)</p> <p>第3回 第3課 副母音、鼻母音 第4課 声調変化                      ・中国語の基本発音である「副母音」及び「鼻母音」について ・中国語の基本発音である「声調変化」について                      予習内容:教科書p13-18を読んで、一通り音声を聞く。(20分) 復習内容:教科書p13-18の音声を繰り返し聞いて発音する。(30分)</p> <p>第4回 第5課 自己紹介をする(1) 自己紹介に必要な語彙、ポイントを学ぶ                      予習内容:教科書p19-21を読んで、練習問題を解く。(20分) 復習内容:教科書p19-21のCDを聞いて例文を覚える。(30分)</p> <p>第5回 第5課 自己紹介をする(2) 会話文を使って「自己紹介」の表現を学ぶ。                      予習内容:教科書p22-23を読んで、日本語訳をする。(20分) 復習内容:教科書p22-23の動画を使って練習する。(30分)</p> <p>第6回 第5課 自己紹介をする(3) ・名前や職業を言ったり尋ねたりできる。 ・簡単な自己紹介(名前、学校名、職業など)ができる。                      予習内容:教科書p24を読んで、空欄を埋める。(20分) 復習内容:教科書p24を言えるようにする。(30分)</p> <p>第7回 第6課 約束、予定を決める(1) 「約束、予定を決める」のに必要な語彙、ポイントを学ぶ。                      予習内容:教科書p25-27を読んで、練習問題を解く。(20分) 復習内容:教科書p25-27のCDを聞いて例文を覚える。(30分)</p> <p>第8回 第6課 約束、予定を決める(2) 会話文を使って「約束、予定を決める」表現を学ぶ。                      予習内容:教科書p28-29を読んで、日本語訳をする。(20分) 復習内容:教科書p28-29の動画を使って練習する。(30分)</p> <p>第9回 第6課 約束、予定を決める(3)                      予定を言ったり、尋ねたりできるようになる。 普段の生活行動(いつ、何曜日、何をするか)について話すことができる。                      予習内容:教科書p30を読んで、空欄を埋める。(20分) 復習内容:教科書p30を言えるようにする。(30分)</p> <p>第10回 第7課 電話を掛ける(1) 「電話を掛ける」のに必要な語彙、ポイントを学ぶ。                      予習内容:教科書p31-33を読んで、練習問題を解く。(20分) 復習内容:教科書p31-33のCDを聞いて例文を覚える。(30分)</p> <p>第11回 第7課 電話を掛ける(2) 会話文を使って「電話を掛ける」表現を学ぶ。                      予習内容:教科書p34-35を読んで、日本語訳をする。(20分) 復習内容:教科書p34-35の動画を使って練習する。(30分)</p> <p>第12回 第7課 電話を掛ける(3)                      ・携帯番号を口頭で伝え合うことができる。 ・電話で連絡(どこにいるか、どこで会うかなど)を取り合うことができる。                      予習内容:教科書p36を読んで、空欄を埋める。(20分) 復習内容:教科書p36を言えるようにする。(30分)</p> <p>第13回 第8課 カフェ、レストランで注文する(1) 「カフェ、レストランで注文する」のに必要な語彙、ポイントを学ぶ。                      予習内容:教科書p37-39を読んで、練習問題を解く。(20分) 復習内容:教科書p37-39のCDを聞いて例文を覚える。(30分)</p> <p>第14回 第8課 カフェ、レストランで注文する(2) 会話文を使って「カフェ、レストランで注文する」表現を学ぶ。                      予習内容:教科書p40-41を読んで、日本語訳をする。(20分) 復習内容:教科書p40-41の動画を使って練習する。(30分)</p> <p>第15回 第8課 カフェ、レストランで注文する(3)                      ・飲食店での基本的なやりとり(店員を呼ぶ、注文する、支払う)ができる。                      ・メニューを指差しながら自分の食べたい物、飲みたい物を注文できる。                      予習内容:教科書p42を読んで、空欄を埋める。(20分) 復習内容:教科書p42を言えるようにする。(30分)                      ・第1回～第15回全てを復習する。(60分)</p> <p>メディア単位修了試験</p>								
テキスト	『できる!中国語』 金星堂 飯塚君穂/阿部慎太郎著 2015								
授業の評価方法・基準	メディア単位修了試験 100%								
関連科目・次のステージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	中国語読解B (メディア授業)	担当者 (サポート)	飯塚 君穂	授業時数	15	配当年次 学期	3年・後期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 外国語科目 必修科目(面接授業科目)(メディア授業)								
授業の 到達目標	主に日常会話中心に口頭によるコミュニケーション能力の基礎を完成させることを目指します。簡単な文からやや複雑な文まで、正確に自己表現ができるようにします。								
授業概要	<p>中国語は豊かな表現をもつ言語です。この授業で学習する表現は日常生活の場にも役に立つ、平易な表現ばかりです。授業時間内に系統的かつ能率的に学習することができるように進んでいきたいと考えています。</p> <p>皆さんが楽しみながら、豊かな中国語の表現を身につけ、そして、中国語でコミュニケーションできる喜びを感じさせるような授業を目指します。</p> <p>また、メディア単位修了試験は日一中訳問題があり、中国語(簡体字)で入力が必要です。事前にPCには中国語(簡体字)のフォントが打てるように設定し、中国語で入力できるように練習しておください。</p>								
授業 計画 及び 時間 外 学 習 ( 時 間 )	<p>第1回 第9課 観光地・名産品を紹介する(1) 観光地、名産品を紹介に必要な語彙、ポイントを学ぶ。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第2回 第9課 観光地、名産品を紹介する(2) 会話文を使って「観光地、名産品を紹介」の表現を学ぶ。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第3回 第9課 観光地、名産品を紹介する(3) 相手の行きたい(行ったことのない)場所を聞いて、お薦めの観光地を紹介できる。地元の名産品を簡単な言葉で紹介、説明できる。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第4回 第10課 道案内をする(1) 道案内に必要な語彙、ポイントを学ぶ。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第5回 第10課 道案内をする(2) 会話文を使って、「道案内」の表現を学ぶ。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第6回 第10課 道案内をする(3) 目的地までの道順や所要時間を尋ねたり、簡単に教えたりできる。近くのお薦めのお店を紹介し、そこまでの道順や目印を教えることができる。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第7回 第11課 ショッピングをする(1) ショッピングに必要な語彙、ポイントを学ぶ。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第8回 第11課 ショッピングをする(2) 会話文を使って、「ショッピング」の表現を学ぶ。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第9回 第11課 ショッピングをする(3) 簡単な値段交渉ができる。自分のほしいサイズや色を伝えたり、在庫確認をしたりできる。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第10回 第12課 相手を褒める(1) 相手を褒めるに必要な語彙、ポイントを学ぶ。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第11回 第12課 相手を褒める(2) 会話文を使って、「相手を褒める」の表現を学ぶ。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第12回 第12課 相手を褒める(3) 褒めたり、褒められたりした時の返答ができる。友達を紹介したり、紹介してもらったりできる。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第13回 特別編 メールを送る(1) メールを送るに必要な語彙、ポイントを学ぶ。 予習内容: 次回学習範囲の単語の発音、文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分) 復習内容: 既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p>								

	<p>第14回 特別編 メールを送る(2) 簡単なメール、手紙の文章を読んだり、書いたりすることができる。中国語でメールを打つことができる。</p> <p>予習内容:次回学習範囲の単語の発音文法事項に目を通し、不明な箇所はあらかじめ調べておく。(30分)</p> <p>復習内容:既習の発音や単語、文法事項を読み返し復習する。(30分)</p> <p>第15回その他の重要ポイント 続けて中国語を勉強したい方、検定試験を受験する方はその他の重要ポイントを学ぶ。</p> <p>予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(60分)</p> <p>復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)</p> <p>メディア単位修了試験</p>
テキスト	『できる!中国語』 金星堂 飯塚君穂／阿部慎太郎著 2015
参考文献	『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』(相原茂、同学社) 『デイリーコンサイズ中日・日中辞典第3版』(杉本達夫、三省堂)
授業の評価方法・基準	メディア単位修了試験 100%
関連科目・次のステージ	中国語基礎

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	公法入門 (メディア授業)	担当者 (サポート)	石田 榮仁郎	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 入門科目 必修科目(面接授業科目)(メディア授業)								
授業の到達目標	①各国の民主主義と人権の歴史を学ぶ。 ②わが国の統治機構の仕組みを学ぶ。 ③公法とりわけ憲法及び民主主義の理解に資することとなります。								
授業概要	公法入門の授業は、公法を中心たる憲法、国の基本法であり、最高法規である憲法の講義をします。総論で、わが国を含めた各国の憲法史を、すなわち各国の民主主義と人権の歴史を、また各論の統治機構で、わが国の国会、内閣、裁判所及び地方自治の仕組みについて講義します。								
授業計画及び時間外学習(時間)	第1回 憲法への誘い 第1編 憲法総論 第1章 憲法の内容 憲法とは何かについての基本的な講義をする。 予習内容: 第1回項目の予習(60分) 復習内容: 第1回項目の復習(60分)  第2回 第2章 憲法の歴史 第1節 近代市民憲法の成立と展開 各国憲法の歴史は、とりもなおさず、その国の民主主義の歴史であることについて講義する。 予習内容: 第2回項目の予習(60分) 復習内容: 第2回項目の復習(60分)  第3回 第2節 明治憲法の成立とその特色 わが国の最高法規としての最初の憲法である明治憲法の成立過程とその特色について講義する。 日本国憲法下の天皇との対比で天皇制についてもふれる。 予習内容: 第3回項目の予習(60分) 復習内容: 第3回項目の復習(60分)  第4回 第3節 日本国憲法の成立 現行憲法たる日本国憲法はどのようにして成立したか、その制定過程を考察する。 予習内容: 第4回項目の予習(60分) 復習内容: 第4回項目の復習(60分)  第5回 第4節 日本国憲法の基本原理 国民権・基本的人権の尊重・権力分立・戦争の放棄(国際平和主義)について講義する。 予習内容: 第5回項目の予習(60分) 復習内容: 第5回項目の復習(60分)  第6回 第2編 憲法各論 一統治機構一 第1章 国会 第1節 国会の地位と構成(1) 国会の地位と構成につき、後者については衆議院と参議院の相違点を組織上及び権能上に分けて講義する。 予習内容: 第6回項目の予習(60分) 復習内容: 第6回項目の復習(60分)  第7回 第1節 国会の地位と構成(2) 国会の地位と構成につき、後者については衆議院と参議院の相違点を組織上及び権能上に分けて講義する。 予習内容: 第7回項目の予習(60分) 復習内容: 第7回項目の復習(60分)  第8回 第2節 国会の権能及び議院の権能(1) 国会の権能と議院の権能との違いを明確にしながそれぞれについて講義する。 予習内容: 第8回項目の予習(60分) 復習内容: 第8回項目の復習(60分)  第9回 第2節 国会の権能及び議院の権能(2) 国会の権能と議院の権能との違いを明確にしながそれぞれについて講義する。 予習内容: 第9回項目の予習(60分) 復習内容: 第9回項目の復習(60分)  第10回 第3節 国会の活動 会期と議事を中心に講義する。 予習内容: 第10回項目の予習(60分) 復習内容: 第10回項目の復習(60分)  第11回 第2章 内閣 内閣の地位・構成・権能・責任について概略的に講義する。 予習内容: 第11回項目の予習(60分) 復習内容: 第11回項目の復習(60分)  第12回 第3章 司法(1) 司法権の概念・裁判所の構成と権限・違憲審査権・司法権の独立について概略的に講義する。 予習内容: 第12回項目の予習(60分) 復習内容: 第12回項目の復習(60分)  第13回 第3章 司法(2) 司法権の概念・裁判所の構成と権限・違憲審査権・司法権の独立について概略的に講義する。 予習内容: 第13回項目の予習(60分) 復習内容: 第13回項目の復習(60分)  第14回 第4章 地方自治(1) 地方自治の概念・地方自治の本旨・地方公共団体の機関と権能・地方住民の権利について概略的に講義する。 予習内容: 第14回項目の予習(60分) 復習内容: 第14回項目の復習(60分)  第15回 第4章 地方自治(2) 地方分権・市町村合併など地方自治の新しい動きについて講義する。 予習内容: 第15回項目の予習(60分) 復習内容: 第15回項目の復習(60分)  メディア単位修了試験								

テキスト	通信授業科目用テキスト『憲法』 石田榮仁郎他 近畿大学通信教育部
参考文献	『憲法判例百選1第6版(別冊ジュリストNo.217)』長谷部恭男 有斐閣 『憲法判例百選2第6版(別冊ジュリストNo.218)』長谷部恭男 有斐閣 『図解による法律用語辞典(補訂版)』自由国民社 『各国憲法論(現代政治選書)』西修 学陽書房 『プライバシー権の総合的研究』榎原猛 法律文化社 『情報と社会変動』富田信男 北樹出版
授業の評価方法・基準	単位修了試験 60% 授業中の課題・小論文等 40%
関連科目・次のステージ	法学入門
受講生へのメッセージ	講義を視聴し、そしてノートをとること。大事なことは、毎回のテーマについて各自が問題意識をもって授業に臨むこと。以上の諸点を守って全授業(全時間)に受講したなら、必ず良い結果が出る筈です。

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	私法入門Ⅰ(財産法) (メディア授業)	担当者 (サポート)	福田 健太郎	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 入門科目 必修科目(面接授業科目)(メディア授業)								
授業の到達目標	受講者は、この科目を履修することによって、財産法の全体像を理解するきっかけをつがむことができる。								
授業概要	民法は大きく財産法と家族法とに分けられるが、この授業では、第1編総則から第3編債権(1条～724条の2)までの財産法と呼ばれる領域に規定されている諸制度について概観する。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>第1回 私法入門総論 予習内容: 私法・公法の意義、具体例、一般法・特別法の意義、具体例について予習すること。(60分) 復習内容: 私法、公法の特徴、民法の意義、原理、歴史について復習すること。(120分)</p> <p>第2回 人 予習内容: 権利能力、意思能力、行為能力の意義について予習すること。(60分) 復習内容: 行為能力制度の概要について確認し、民法が想定する人とは何か考えてみること。(120分)</p> <p>第3回 法律行為総論 予習内容: 法律行為の意義について予習すること。(60分) 復習内容: 法律行為の解釈、法律行為の有効要件について復習すること。(120分)</p> <p>第4回 意思表示 予習内容: 意思表示の意義、意思表示に関する民法の規定について予習すること。(60分) 復習内容: 94条21頁類推適用、錯誤の意義、詐欺取消と第三者について復習すること。(120分)</p> <p>第5回 代理 予習内容: 代理制度の意義、機能について予習すること。(60分) 復習内容: 無権代理の場面における相手方の保護方法について復習すること。(120分)</p> <p>第6回 時効 予習内容: 時効制度の概要について予習すること。(60分) 復習内容: 時効制度の意義、取得時効の要件、消滅時効の起算点について復習すること。(120分)</p> <p>第7回 物権総論 予習内容: 物権の意義、種類について予習すること。(60分) 復習内容: 物権変動、即時取得、公示の原則・公信の原則、物権の内容について復習すること。(120分)</p> <p>第8回 担保物権 予習内容: 担保物権の意義と種類について予習すること。(60分) 復習内容: 抵当権の内容について復習すること。(120分)</p> <p>第9回 債権の効力 予習内容: 債権の意義、効力について予習すること。(60分) 復習内容: 債権の内容、債務不履行の場面における債権者の救済手段について復習すること。(120分)</p> <p>第10回 多数当事者の債権債務関係 予習内容: 多数当事者の債権債務関係の意義、種類について予習すること。(60分) 復習内容: 連帯債務と保証について復習すること。(120分)</p> <p>第11回 債権の消滅 予習内容: 債権の消滅原因について予習すること。(60分) 復習内容: 表見受領権者への弁済、相殺について復習すること。(120分)</p> <p>第12回 契約総論 予習内容: 契約の意義種類について予習すること。(60分) 復習内容: 契約の効力と解除について復習すること。(120分)</p> <p>第13回 契約各論1 予習内容: 権利移転型契約について予習すること。(60分) 復習内容: 売買の効力について復習すること。(120分)</p> <p>第14回 契約各論2 予習内容: 貸借型契約、労務型契約について予習すること。(60分) 復習内容: 賃貸借契約(借地借家法の内容も含む)と請負契約について復習すること。(120分)</p> <p>第15回 不法行為 予習内容: 不法行為制度の意義について予習すること。(60分) 復習内容: 不法行為の要件・効果について復習すること。(120分)</p> <p>メディア単位修了試験</p>								

テキスト	教科書は指定しない。各自が読みやすいと思うものを使用すること。六法は小型のもので構わないので用意すること。
参考文献	
授業の評価 方法・基準	メディア単位修了試験 100%
関連科目・ 次のステージ	民法総則をはじめとする民事法関連科目
受講生への メッセージ	

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	私法入門Ⅱ(家族法) (メディア授業)	担当者 (サポート)	花元 彩	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 入門科目 必修科目(面接授業科目)(メディア授業)								
授業の 到達目標	本講義では、婚姻によって生ずる権利義務関係・親子に生ずる権利義務関係、相続制度の現況について、事例を挙げて、親族相続法ではどのような解決がなされるか判断できる能力を養成することを目標とする。なお、この科目の修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー3の達成に關与している。								
授業概要	私法入門に位置づけられる本講義では、親族法・相続法の概略について説明する。婚姻・離婚・親子関係・相続分などをあつかう。								
授業計画及び 時間外学習(時間)	<p>第1回 家族法とは 予習内容: 民法第4編第5編の条文に目を通しておくこと。(60分) 復習内容: 親族の意義・範囲について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第2回 婚約・内縁 予習内容: 教科書を読んで、婚約・内縁の意義について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 婚約・内縁の意義・効果について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第3回 婚姻と離婚 予習内容: 教科書を読んで、婚姻・離婚の意義について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 婚姻・離婚の意義と効果について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第4回 離婚とその効果 予習内容: 教科書を読んで、婚約・内縁の意義について予習しておくこと(60分) 復習内容: 婚約・内縁の意義と効果について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第5回 親子(実子) 予習内容: 教科書を読んで、親子関係にはどのような形態があるか予習しておくこと。(60分) 復習内容: 嫡出子の意義と成立、効果について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第6回 実子(嫡出でない子)・普通養子 予習内容: 教科書を読んで、嫡出でない子・普通養子縁組について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 嫡出でない子の親子関係の成立・普通養子縁組の成立と要件および効果について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第7回 特別養子縁組・親権 予習内容: 教科書を読んで、特別養子縁組の意義について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 特別養子縁組の意義と要件および効果について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第8回 子どもに関するさまざまな法制度 予習内容: 教科書を読んで、胎児に権利能力が認められうるか調べておくこと。また、親権の意義について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 胎児の権利能力、子どもの虐待について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第9回 成年後見・扶養・相続序説 予習内容: 教科書を読んで、成年後見制度・扶養について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 成年後見制度の意義と効果・扶養義務者と扶養権利者について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第10回 相続財産の範囲・法定相続人の範囲① 予習内容: 教科書を読んで、法定相続人の範囲について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 相続財産の範囲・法定相続財産の範囲について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第11回 法定相続人の範囲② 予習内容: 教科書を読んで、配偶者と直系尊属に関する法定相続について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 配偶者と直系相続に関する法定相続・配偶者と兄弟姉妹の法定相続について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第12回 特別受益・寄与分・特別の寄与・配偶者の居住権 予習内容: 教科書を読んで、特別受益・寄与分の意義について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 特別受益・寄与分・特別の寄与によって、どのような相続財産の配分がされるか復習しておくこと。(60分)</p> <p>第13回 相続権の喪失・遺産分割・相続の単純承認 予習内容: 教科書を読んで、相続欠格・廃除の意義について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 相続欠格・廃除の意義と要件および効果について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第14回 限定承認・放棄・遺言① 予習内容: 教科書を読んで、限定承認・放棄の意義について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 限定承認・放棄の意義と要件および効果について復習しておくこと。(60分)</p> <p>第15回 第15回 遺言②・遺贈 予習内容: 教科書を読んで、遺言制度について予習しておくこと。(60分) 復習内容: 遺言制度および遺贈の意義について復習しておくこと。(60分)</p>								

テキスト	『事例で学ぶ家族法』 田山輝明 法学書院 2019
参考文献	
授業の評価 方法・基準	メディア単位修了試験 100%
関連科目・ 次のステージ	民法総則をはじめとする民事法関連科目
受講生への メッセージ	

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	物権法①	担当者 (サポート)	尾崎 三芳 (仲嶺 望)	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(面接授業科目)								
授業の 到達目標	物権法の基礎知識の習得を目指します。条文を読んで、その内容の概略を思い浮かべられるようになることが目標です。								
授業概要									
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>物権法は、財貨帰属秩序(どの物が誰に帰属し、誰のどのような支配に服するか)の秩序に関する法規範を内容としている。物権法総論では、民法第2編物権第1章総則のほか、物権がどんな権利なのか、どんな効力を持つかなどを問題にする。条文は少ないが、重要な内容が含まれている。</p> <p>物権法各論では、占有権ほかの各種の物権が検討されるが、全般的にみると、取得原因、種類、存続期間、効力、消滅原因などが問題となる。</p>								

テキスト	通信授業科目用テキスト「物権法[改訂版]」
参考文献	『民法2 物権 第4版(有斐閣Sシリーズ)』(淡路 剛久, 有斐閣 : 2017) 『民法概論<2>物権』(川井 健, 有斐閣 : 2005) 『民法判例百選I 総則・物権 第8版(別冊ジュリスト237号)』(有斐閣 : 2018) 『新基本民法2 物権編 -- 財産の帰属と変動の法 第2版』(大村 敦志, 有斐閣 : 2019)
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。
関連科目・次のステージ	私法入門 I (財産法)、民法総則、債権法総論、債権法各論
受講生へのメッセージ	

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	物権法②	担当者 (サポート)	福田 健太郎	授業時数	30	配当年次 学期	3年・前期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(面接授業科目)(近畿大学本校スクーリング)								
授業の 到達目標	受講者は、物権法に規定されている基本制度を理解するきっかけをつかむことができる。								
授業概要	民法第2編物権に規定されている基本的な制度とそれらの制度をめぐる条文解釈上の諸問題について講義する。物権は大きく物権総論と担保物権に分かれるが、同じ物権編の規定であるにも関わらず、前者は理論的色彩が強いものになっており、後者は実践的な色彩が強いものとなっている。また、後者は債権を担保するための制度であるため、債権法と密接に結びついている。総則や債権総論の概説番も参照しながら、学習することが求められる。								
授業計画及び 時間外学習 (時間)	<p>詳細は各回のテーマを参照</p> <p>予習内容:各回のテーマについて、各自の概説書を読んで概要を理解すること。目安:1テーマにつき60分  復習内容:各回の授業内容を確認するとともに、よく分からなかった部分については、概説書を読んで理解を深め、各回の内容をノートにまとめること目安:1テーマにつき90分</p> <p>第1回 物権の意義  第2回 物権的請求権  第3回 177条の第三者  第4回 登記を要する物権変動  第5回 占有権  第6回 所有権  第7回 用益物権  第8回 留置権  第9回 先取特権  第10回 質権  第11回 抵当権総論  第12回 抵当権の効力  第13回 根抵当  第14回 譲渡担保  第15回 その他の非典型担保</p>								
テキスト	指定しないが、概説書なしで理解するのは困難であるため、自分が読みやすいと感じる本を1冊は購入すること教科密と。また、六法は小型のもので構わないので毎回必ず持参すること。								
参考資料	『民法判例百選I 総則・物権 第8版(別冊ジュリストNo.237)』(有斐閣:2018) 『民法の基礎2 物権 第2版』(佐久間 毅, 有斐閣:2019) 『担保物権法 -- 現代民法3 第4版』(道垣内 弘人, 有斐閣:2017)								
授業の評価 方法・基準	単位修了試験100%								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ	私法入門 I (財産法)を始めとする民事法関連科目								
受講生への メッセージ	私語や途中退室は厳禁。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	債権法総論①	担当者 (サポート)	福田 健太郎 (平得 永太郎)	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の 到達目標	1. 債権総論領域で登場する基本概念を理解できるようになること 2. 債権総論領域に規定されている諸制度の要件・効果を理解できるようになること								
授業概要	民法第3編第1章(399条～520条の20)の債権総論と呼ばれる分野を学習します。六法を手元に置いて、概説書や判例集を読み進めるという地道な作業が必要になります。そのうえで、レポートを提出し、科目修了試験に合格すれば単位が認定されます。								
授業計画及び 時間外学習 (時間)	<p>科目の性質上、予習・復習という形に分けることはできないが、複数の概説書を読んで、制度内容・制度趣旨・背後にある原理などを理解するようにしてもらいたい。</p> <p>第1回 債権の意義 第2回 債権の目的 第3回 債権の基本的効力 第4回 債務不履行 第5回 損害賠償 第6回 第三者による債権侵害 第7回 債権者代位権 第8回 詐害行為取消権 第9回 分割債権・分割債務・不可分債権・不可分債務 第10回 連帯債権・連帯債務 第11回 保証 第12回 債権譲渡・債務引受 第13回 弁済 第14回 弁済者代位 第15回 相殺</p>								
テキスト	通信授業科目用テキスト『債権法総論[改訂版]』 ただし、レポート作成の際には、これ以外の文献を読むことが求められます。								
参考資料	『プラクティス民法 債権総論[第5版] (プラクティスシリーズ)』(潮見 佳男, 信山社 : 2018) 『債権総論』(平野 裕之, 日本評論社 : 2017) 『民法判例百選II 債権 第8版 (別冊ジュリスト238号)』(有斐閣 : 2018)								
授業の評価 方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を付して返却します。								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ	私法入門 I (財産法)、民法総則、物権法、債権法各論								
受講生への メッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	債権法総論② (メディア授業)	担当者 (サポート)	尾崎 三芳	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(面接授業科目)(メディア授業)								
授業の到達目標	①基本用語の意味を覚えること。②基本制度の意義・要件・効果を正確に理解すること。 以上により、民法を運用する基礎を身につけることができます。								
授業概要	債権法総論の基礎知識の習得を目的として、判例・通説を中心にその内容を説明します。民法改正法(債権係)が2017年6月2日に公布され、2020年4月1日から施行されます。本年度は、改正前の民法に即して説明します。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>1回 序論、債権の目的(1) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:債権法の内容、物権と債権の違い、債権の目的の要件、特定物債権、種類債権について整理すること。(90分)</p> <p>第2回 債権の目的(2) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:選択債権、任意債権、金銭債権、利息債権、利息制限法の特則について整理すること。(90分)</p> <p>第3回 債権の消滅(1) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:弁済の意義、弁済の提供、弁済者、弁済による代位の意義・要件・効果について整理すること。(90分)</p> <p>第4回 債権の消滅(2) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:弁済受領者、弁済の充当、弁済の証明、代物弁済、供託について整理すること。(90分)</p> <p>第5回 債権の消滅(3) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:相殺、更改、免除、混同について整理すること。(90分)</p> <p>第6回 債権の効力(1) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:債務と責任、第三者による債権侵害、債権の強制履行について整理すること。(90分)</p> <p>第7回 債権の効力(2) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:履行遅滞、履行不能、不完全履行の意義・要件・効果、安全配慮義務と説明義務について整理すること。(90分)</p> <p>第8回 債権の効力(3) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:損害の認定、損害の種類、損害賠償の方法、損害賠償の範囲、損害賠償額の算定、賠償者の代位、受領遅滞について整理すること。(90分)</p> <p>第9回 責任財産の保全(1) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:責任財産の保全の意義、債権者代位権の意義・要件・客体、債権者代位権の行使とその効果、債権者代位権の転用について整理すること。(90分)</p> <p>第10回 責任財産の保全(2) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:詐害行為取消権の意義・性質・要件、詐害行為取消権の行使とその効果について整理すること。(90分)</p> <p>第11回 多数当事者の債権関係(1) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:多数当事者の債権関係の諸形態、規制の内容、分割債権関係、不可分債権関係について整理すること。(90分)</p> <p>第12回 多数当事者の債権関係(2) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:連帯債務の意義・性質、連帯債務の成立・効力、不真正連帯債務、連帯債権について整理すること。(90分)</p> <p>第13回 多数当事者の債権関係(3) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:保証債務の意義・性質、保証債務の成立・効力、連帯保証、共同保証、継続的保証について整理すること。(90分)</p> <p>第14回 債権譲渡と債務引受け(1) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:債権譲渡の意義・性質、債権の譲渡性、指名債権譲渡の対抗要件について整理すること。(90分)</p> <p>第15回 債権譲渡と債務引受け(2) 予習内容:講義予定のところに目を通して、疑問点を明らかにすること。(60分) 復習内容:取り立てのためにする指名債権の譲渡、証券的債権の譲渡、免責的債務引受けと併存的債務引受け、履行の引受け、契約上の地位の譲渡について整理すること。(90分)</p> <p>メディア単位修了試験</p>								

テキスト	『民法Ⅲ 一 債権総論 第4版 (有斐閣Sシリーズ)』(野村 豊弘, 有斐閣 : 2018)
参考文献	『新債権総論1(法律学の森)』(潮見 佳男, 信山社 : 2017) 『新債権総論2 (法律学の森)』(潮見 佳男, 信山社 : 2017) 『民法Ⅲ 第4版: 債権総論・担保物権』(内田 貴, 東京大学出版会 : 2020) 『民法判例百選Ⅱ 債権 第8版 (別冊ジュリスト238号)』(有斐閣 : 2018)
授業の評価 方法・基準	メディア単位修了試験 100%
関連科目・ 次のステージ	民法総則、物権法、債権法各論
受講生への メッセージ	

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	社会政策② (夏期スクーリング)	担当者 (サポート)	藤野 ゆき	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(面接授業科目)(近畿大学本校スクーリング)								
授業の到達目標	職場における①メンタルヘルスの実態を把握し、②それに関連する社会政策を理解し、③社会政策のあり方について考える力を養う。								
授業概要	社会政策の中でも注目されている職場のメンタルヘルスについて講義する。職場メンタルヘルスの実情、精神障害の労災認定、メンタルヘルス不全からの職場復帰の実態などを通して今後の職場のあり方を検討する。また、メンタルヘルスに関わる労働判例などを紹介しながら、実態について考えていく。受講生からの質問疑問について可能な限り答えていく。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>職場のメンタルヘルスにかかわる社会政策について講義していく。            予習内容:職場のメンタルヘルスにかかわる新聞報道などに目を通し関心を高める(90分)            復習内容:スクーリングで実施した内容について読み直し自分なりの考えをまとめる。(90分)</p> <p>第1回 社会政策とメンタルヘルス 本スクーリングにおいて行う内容についてのガイダンスを行う</p> <p>第2回 社会政策とは 社会政策とは何かについて講義する</p> <p>第3回 社会政策におけるメンタルヘルスの位置づけ 社会政策でメンタルヘルスを行う意義について講義する</p> <p>第4回 職場のメンタルヘルスを学ぶにあたって 職場のメンタルヘルスを学ぶにあたって、メンタルヘルスの基礎について学ぶ</p> <p>第5回 メンタルヘルスの変遷① 職場のメンタルヘルスの変遷を振り返る</p> <p>第6回 メンタルヘルスの変遷② 職場のメンタルヘルスの変遷を振り返り、現代的な課題について考える</p> <p>第7回 統計・調査からみるメンタルヘルス① 統計、調査からメンタルヘルスの実態について考える</p> <p>第8回 統計・調査からみるメンタルヘルス② 統計、調査からメンタルヘルスの実態について考える</p> <p>第9回 裁判例からみるメンタルヘルス 精神疾患、過労自殺などの判例からメンタルヘルスを考える</p> <p>第10回 精神障害の労災の実情と問題点① 精神障害の労災の認定基準の実態について学ぶ</p> <p>第11回 精神障害の労災の実情と問題点② 精神障害の労災の認定の実情について学ぶ</p> <p>第12回 職場復帰の制度と現状① 精神障害からの職場復帰の制度や通達について学ぶ</p> <p>第13回 職場復帰の制度と現状② 精神障害からの職場復帰の実態について学ぶ</p> <p>第14回 職場のメンタルヘルスをめぐる政策の動向 職場のメンタルヘルスに関してだされている通達等を学ぶ</p> <p>第15回 まとめ 全体のまとめを行う</p>								
テキスト	プリント配布予定								
参考資料									
授業の評価方法・基準	単位修了試験 60% 講義内に求める小レポート 40%								
資格試験									

関連科目・ 次のステージ	社会政策① 労働法①②
受講生への メッセージ	

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	行政法各論	担当者 (サポート)	安保 克也 (儀武 玄秀)	授業時数	60	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第二類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	多分野にわたるため、まず、教科書の内容の把握が基本である。その後、各章末の「研究課題」で問われている事柄をもう一度教科書に戻り読み直し自分なりにまとめることができること。特殊な用語を正確に把握し説明することができること。以上を到達目標とする。								
授業概要	行政法各論は行政組織法と行政作用法からなるが、総論と異なり十分に体系化されていない。この授業では、行政組織法として国家行政組織法、地方自治法、公務員法を扱い、行政作用法として警察法、防衛法、財政法、公共施設法、公用負担法、土地・都市計画・開発に関する法、環境法、情報法、教育法、社会保障法、経済法を扱う。								
授業計画及び時間外学習(時間)	行政法各論で扱われることは、じつは我々の身近に数多く存在する。そうしたことに興味を持ち、それを法的に考えるよう努めること。								
テキスト	通信授業科目用テキスト 『行政法各論』								
参考資料	『新・応用行政法』(村上武則, 有信堂高文社 : 2017)								
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・次のステージ	行政法総論								
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	西洋政治史	担当者 (サポート)	井口 吉男 (阿波根 剛史)	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との 関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第二類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の 到達目標	この科目の目標は、世界史上文化的・政治的・科学的多くの面において、伝統的な主導的な地位を占めてきた西欧の政治的変遷と意義を体系的に理解し、(西欧)を理解することにある。教科書はもちろんのこと、本科目に関する適切な多くの文献・資料を参考にしながら学習に努めることを望む。								
授業概要	<p>古代ギリシャ、ローマ文明の構築から発する伝統的西欧社会の文明は、現代文明や現代科学技術のいかなる恵味においても源流に立つものであり、われわれの知性・理性の進化の源泉に位置する。かつては、16世紀、ルネサンス時代の西欧社会の人々は、西洋文化に陶醉し、その栄光と繁栄を誇った。産業革命以後、西欧資本主義体制が確立されてゆき、西欧社会は全世界の王座を占めたが、19世紀初期、すでに、(西欧の没落)が予言され、第2次大戦後の世界政治構造の変容に伴い、伝統的西欧社会は、次第に没落してゆく。</p> <p>世界史上、伝統的西欧社会の政治・経済の発展は、知性・理性の進化のもとで、近代化の道を先進してきたのであるが、しかし、西欧社会の歴史的過程は、封建制・絶対王政による圧政・ファシズム・ナチズムの全体主義思想の蔓延のもとでの支配者層による被治者の財物の略奪、被治者の身体・生命・自由への不当な侵害、植民地支配の歴史でもあった。伝統的西欧社会のかつての先進的近代社会の確立—近代化は、近代市民革命によってその素地が形成されるのであり、近代化は、非西欧諸国の政治的経済的発展の目標でもあったし、そこにおいては近代化＝西欧化の図式が正当とされていた。しかし、戦後の世界政治構造の変容にともなう西欧社会の漸次的没落により必ずしもこの図式は、非西欧諸国の政治的・経済的発展目標において正当とされなくなった。</p> <p>しかし、西欧の没落が認識されてはいるが、現今、いうまでもなく、近代市民革命を起点とした近代的精神の確立の基礎である、幾多の偉大な西欧政治思想や原理・概念・理論は、社会諸科学の学習研究の不朽の古典として輝いている。西洋政治史は、これらの幾多の偉大な政治思想や原理・概念・理論の背後にある経済的・政治的・社会的な数多くの歴史的諸事象を、体系的に年代的に講述してゆく科目である。</p>								
授業計画及び 時間外学習 (時間)	科目終末試験では、テキストやこの科目の内容の参考文献を何回も熟読し、自分なりに整理・把握してゆくことが必要。出題に対する自己の考え方を加えることも大切。								
テキスト	通信授業科目用テキスト 『西洋政治史』								
参考資料									
授業の評価 方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。								
資格試験									
関連科目・ 次のステージ									
受講生への メッセージ	まず、テキストを十分に読み、ノートを作成して重要項目の十分な把握が望まれる。レポートは、学習した内容について自分の言葉でまとめ、テキストや参考文献をそのまま引き写したりしないように。テキストや参考文献から引用する場合は、必ず引用符「」をつけること。								

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	プログラミング論①	担当者 (サポート)	黒田 正治郎 (新川 涼子)	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第二類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標	<p>本科目では、プログラミングを修得するために、身近にある問題を例題とし、簡単なものから徐々に高度なものまで応用範囲を広げていきます。正しい論理性を構築しながら、</p> <p>① プログラミングの骨格となるアルゴリズムの考え方。                  ② 処理内容の整理とその処理方法を明瞭にするためのフローチャートの組み立て方。                  ③ 論理性を確認しながらBASICによるプログラミング。                  を修得します。</p>								
授業概要	<p>一般にプログラミングは難解で理解しにくいものとして捉えがちです。しかし、プログラミングは正しい論理の積み重ねであるため、実は非常に明瞭なものなのです。特に、本授業で使用するBASICは短期間で修得できる優れたプログラミング言語でありながら、物事の処理手順を直接反映することができ、十分にマスターできる優れた言語です。このBASICによるプログラミングを通じて、物事の正しい処理手順や論理性を学修します。</p>								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>論理性を確実なものにし、コンピュータによる多くの情報処理を確実なものにするためにも、BASICによりプログラミングを修得することは重要です。十分にテキストを読み、問題や例題を必ず自分の力で解いてください。正しい論理性を身につけることができれば、自作したプログラミングにより、簡単にコンピュータを制御することができます。</p> <p><b>第1回 コンピュータの基本構造</b>                  コンピュータの基本構造と各装置の機能を解説します。                  ・演算装置、記憶装置、入力装置、出力装置、制御装置など                  予習内容: コンピュータ全般に関して予習をしておいてください。(90分)                  復習内容: コンピュータの基本構造と各装置の機能の関連性を理解してください(90分)</p> <p><b>第2回 周辺機器とOS</b>                  コンピュータの周辺機器とOSに関して解説します。                  ・Windows                  ・Printer ・Mouse ・USB ・LCDなど                  予習内容: Windowsの基本操作に関して予習をしておいてください。(60分)                  復習内容: コンピュータの機能を理解してください。(120分)</p> <p><b>第3回 コンピュータの基本操作 I</b>                  Windowsの基本操作と各種Utilityの活用法を解説します。                  予習内容: キー配置を確認しておいて下さい。(30分)                  復習内容: PCにおける基本操作を修得してください。(150分)</p> <p><b>第4回 キーボードトレーニング</b>                  文字入力に不可欠なキー入力の練習を行います。                  予習内容: 論理構造に関して予習をしておいてください。(60分)                  復習内容: 自在に文字入力ができるように、練習してください。(120分)</p> <p><b>第5回 プログラミングと論理構造</b>                  論理構造を表現するフローチャートの書き方を解説します。                  予習内容: プログラミングに関して予習をしておいてください。(90分)                  復習内容: フローチャートの意味を覚えてください。(90分)</p> <p><b>第6回 プログラミング環境</b>                  プログラミングを行うためのPC環境の設定法を解説します。                  予習内容: インターネットが使えるように予習をしておいてください。(30分)                  復習内容: 自在に設定できるようになってください。(150分)</p> <p><b>第7回 プログラミング言語の導入</b>                  ネットワークから、ファイルのダウンロードとインストールの方法を解説します。                  予習内容: プログラミングの命令に関して予習をしておいてください。(60分)                  復習内容: 自在にダウンロードができるように、練習してください。(120分)</p> <p><b>第8回 プログラミング1</b>                  プログラミングに必要な基本を解説します。                  ・文法、命令、関数                  ・表示命令                  ・入力命令など                  予習内容: プログラミングの命令に関して予習をしておいてください。(90分)                  復習内容: プログラミングにおける基本命令を理解してください。(90分)</p> <p><b>第9回 簡単な例題による演習</b>                  やや複雑なプログラミングができるように解説します。                  ・プログラミングの基礎                  ・繰り返し処理                  予習内容: プログラミングの命令に関して予習をしておいてください。(90分)                  復習内容: プログラミングにおける基本命令を理解してください。(90分)</p> <p><b>第10回 プログラミング2</b>                  やや複雑なプログラミングができるように解説します。                  ・やや高度なプログラミング                  ・判断処理                  予習内容: 演習問題の予習を、事前にしておいてください。(90分)</p>								

	<p>予習内容: 演習問題をよく読み、考えしおいて下さい。(30分)  復習内容: プログラミングにおける命令を理解してください。(150分)</p> <p>第11回 やや高度なプログラミング  解説を行った命令によるプログラミングを行います。  ・総合的な課題  予習内容: 新しい命令を予習しておいて下さい。(30分)  復習内容: 基本命令を用いたプログラミングができるようになってください。(150分)</p> <p>第12回 プログラミング応用  総合的で、やや高度なプログラミングの手法を解説します。  予習内容: CGIに関する命令を予習しておいて下さい。(30分)  復習内容: 講義で取り上げた処理方法を修得してください。(150分)</p> <p>第13回 やや高度な例題による演習  総合的で、やや高度なプログラミングの演習を行います。  予習内容: 理解した命令を整理しておいて下さい。(30分)  復習内容: 自力でプログラムの流れがイメージできるようになってください。(150分)</p> <p>第14回 高度な例題による演習  総合的で、やや高度なプログラミングの演習を行います。  予習内容: CG命令、一般命令、プログラムの流れなど整理しておいて下さい。(60分)  復習内容: 自力でプログラムが作成できるようになってください。(120分)</p> <p>第15回 まとめと課題作成  課題を通じて、プログラミングの総括を行います。  予習内容: なし</p>
テキスト	通信授業科目用テキスト「プログラミング論」
参考資料	Open The Windows F(T-Byte)
授業の評価方法・基準	レポートと科目終末試験の合格 100% レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。
資格試験	
関連科目・次のステージ	プログラミング論②、情報処理論①、情報処理論②
受講生へのメッセージ	



# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	卒業ゼミナール	担当者 (サポート)	丹羽 功	授業時数	30	配当年次 学期	4年・前期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(面接授業科目)(近畿大学宿泊スクーリング)								
授業の到達目標	この科目を履修することを通じて、現代政治の状況と、日本の政治学の研究動向についての知識を身につける。								
授業概要	政治学の中の政治過程・行政・比較政治・政治思想の4つのテーマを扱った著作を分担して報告・討論することを通じて、現代の政治および現在の日本の政治学の研究動向について学習する。								
授業計画及び時間外学習(時間)	<p>この科目の履修と授業は、以下のような手順で行われる。</p> <p>(1)この科目を履修しようとする者は、卒業ゼミナールの開始前に教科書として挙げた4冊の新書のうちから、1冊を選んで読むとともに内容についての2000字程度のレポートを作成する。  (2)卒業ゼミナールの最初には、授業の概要と予備知識について担当者・丹羽が簡単な講義を行う。  (3)同じ本を選んだ受講者どうしで4つのグループを作る。  (4)それぞれのグループは、卒業ゼミナール2日目夜・3日目に本の内容をグループ単位で発表できるように、授業時間を使用して(2日目午後くらいまで)準備する。  (5)2日目夜以降に各グループ単位で選択した本について報告する。報告と質疑応答を含めて1グループあたり60分を目安とする。  (6)3日目の午前中に全てのグループの発表が終わった後に、担当者・丹羽からそれぞれの本の解説と発表の講評を行う。  (7)卒業ゼミナール参加前に作成してもらったレポートを、終了時に提出してもらう。</p> <p>なお、発表の準備と発表の際にPCがグループごとに1台はあった方が都合がよいので、PCを持参できる受講者は持ってくるようお願いしたい。  予習内容:自分が選んだ本を読み、レポートを作成する。(960分)  復習内容:授業の内容、グループでの発表の仕方についてふりかえる。(60分)</p>								
テキスト	以下の4冊のうちどれか。 『自民党―「一強」の実像(中公新書)』(中北 浩爾, 中央公論新社: 2017) 『欧州ポピュリズム(ちくま新書)』(庄司 克宏, 筑摩書房: 2018) 『日本の地方政府-1700自治体の実態と課題(中公新書)』(曾我 謙悟, 中央公論新社: 2019) 『保守主義とは何か - 反フランス革命から現代日本まで(中公新書)』(宇野 重規, 中央公論新社: 2016)								
参考文献									
授業の評価方法・基準	授業時間内の討論などへの参加 30% テキストの報告 30% レポートの提出 40%								
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									

# 文化教養専門課程 公務員・教養本科(4年制) 令和2年度 シラバス

分類	大学併修 近畿大学	科目名	卒業論文	担当者 (サポート)	石田 栄次郎 (阿波根 剛史)	授業時数	300	配当年次 学期	4年・後期
卒業要件との関連性	近畿大学法学部法律学科 専門科目 第一類選択必修科目(通信授業科目)								
授業の到達目標									
授業概要	別紙参照								
授業計画及び時間外学習(時間)									
テキスト									
参考文献									
授業の評価方法・基準	卒業論文の審査100%								
関連科目・次のステージ									
受講生へのメッセージ									